

三菱重工

2015ガスヒートポンプエアコン テクニカルマニュアル

記 載 形 式

室内ユニット

GESP804M1B,1404M1B

本テクニカルマニュアルは室内ユニットに関する事項を記載しております。
記載事項以外については、2014年冷熱ハンドブック GHP 編をご覧ください。

4-473-1-D

'15-8 発行

総 目 次

1 概要編の目次

1. 室内ユニット仕様	1-2
1-1 仕様	1-2
1-2 外形図	1-3
1-3 塗装色	1-6
1-4 運転音	1-6
1-5 電気配線図	1-8
1-6 防振設計用参考資料	1-9

2 特性・機能編の目次

1. 機能	2-2
1-1 室内マイコン運転制御機能	2-2
1-2 リモコン機能	2-3

3 故障診断編の目次

1. トラブル項目と診断	3-2
2. リモコンによる異常運転データの確認	3-3

4 据付編の目次

1. 室内ユニットの据付	4-2
2. 電気配線工事	4-14
3. リモコンの取付	4-22
4. リモコンによる機能設定	4-26
5. リモコンによる操作要領	4-52

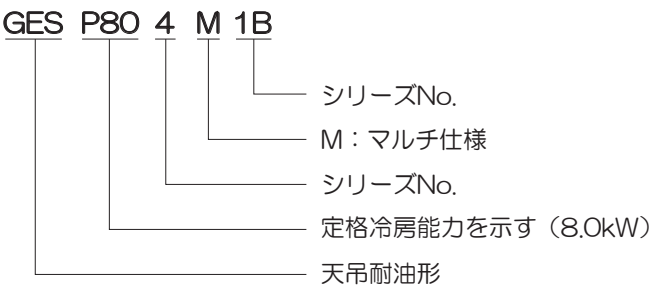
5 別売部品編の目次

1. ワイヤレスキット (RCN-KIT3G)	5-2
2. コンパクトリモコン (RCH-D3)	5-4

1 概要編の目次

1. 室内ユニット仕様	1-2
1-1 仕様	1-2
1-2 外形図	1-3
1-3 塗装色	1-6
1-4 運転音	1-6
1-5 電気配線図	1-8
1-6 防振設計用参考資料	1-9

・形式名称の見方



1. 室内ユニットの仕様

1-1 仕 様

(50/60Hz)

相 当 馬 力			2.8		5.0	
機 種			天吊耐油形			
メ ー カ ー 形 式			GESP804M1B		GESP1404M1B	
定 格 冷 房 能 力(kW)			8.0		14.0	
定格暖房標準能力〔定格暖房低温能力〕(kW)			9.0〔9.0〕		16.0〔16.0〕	
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比			0.85/0.88		0.68/0.71	
電 気 特 性	電 源		単相 200V 50/60Hz			
	消 費 電 力 (kW)	冷 房	0.25/0.28		0.25/0.28	
		暖 房	0.20/0.23		0.20/0.23	
	運 転 電 流 (A)	冷 房	1.25/1.40		1.25/1.40	
		暖 房	1.00/1.25		1.00/1.25	
熱 交 換 器 形 式			アルミフィン&銅チューブ式			
空 気 吸 込 口			下面			
空 気 吹 出 口			正面			
エ ア フ ィ ル タ			アルミ製オイルミストフィルタ			
運 転 音	音圧レベル(dB(A))	冷 房	急：50/54, 弱：47/50		急：49/52, 弱：46/48	
		暖 房	急：51/55, 弱：48/51		急：49/53, 弱：47/49	
	パワーレベル(dB(A))	冷 房	急：65/69, 弱：63/65		急：64/68, 弱：63/65	
		暖 房	急：66/69, 弱：63/66		急：65/69, 弱：63/65	
送 風 機	送 風 機 形 式		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×2			
	風 量 (m³/min)	急	30/35			
		強	—		—	
		弱	27/29			
	機 外 静 圧 (Pa)		0			
	電 動 機 定 格 出 力 (W)		70×2台			
	配 管 関 係					
冷 媒 ガ ス 管 (mm)		Φ15.88 (フレア接続)				
冷 媒 液 管 (mm)		Φ9.52 (フレア接続)				
冷 媒 配 管 位 置		右後側				
ド レ ン 配 管 口 (mm)		VP25 (I.D.25, O.D.32) の排水管接続可能				
オ ー ト ス イ ン グ (有・無)			無			
ド レ ン ア ッ プ	ド レ ン ポ ン プ		—			
	ア ッ プ 高 さ (mm)	ド レ ン 口 よ り	—			
		天 井 面 よ り	—			
外 装 塗 装 色(本体)			— (ステンレス鋼板)			
外 装 塗 装 色(パネル)			—			
外 形 寸 法	高 さ(mm)		295			
	幅 (mm)		1540			
	奥 行 (mm)		695			
パ ネ ル 寸 法	高 さ(mm)		—			
	幅 (mm)		—			
	奥 行 (mm)		—			
本 体 質 量(kg)			66		69	
パ ネ ル 質 量(kg)			—			
リ モ コ ン			ワイヤードリモコン：RC-DX2, RC-D4G			
I P コ ー ド			IP20			

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性は JIS B 8627：2006 条件によります。

(2) 運転音 (パワーレベル) は、JRA4065：2013 規格に基づいた値です。

(3) 運転音 (音圧レベル) は、JIS B 8627：2006 規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

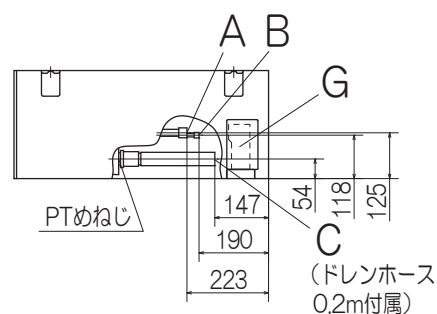
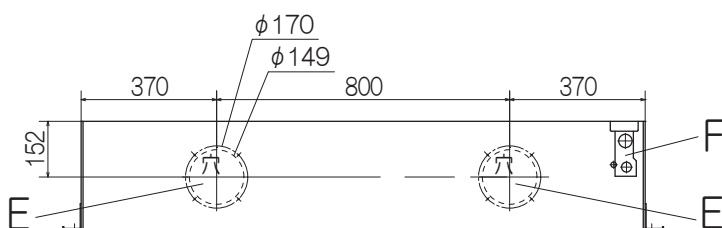
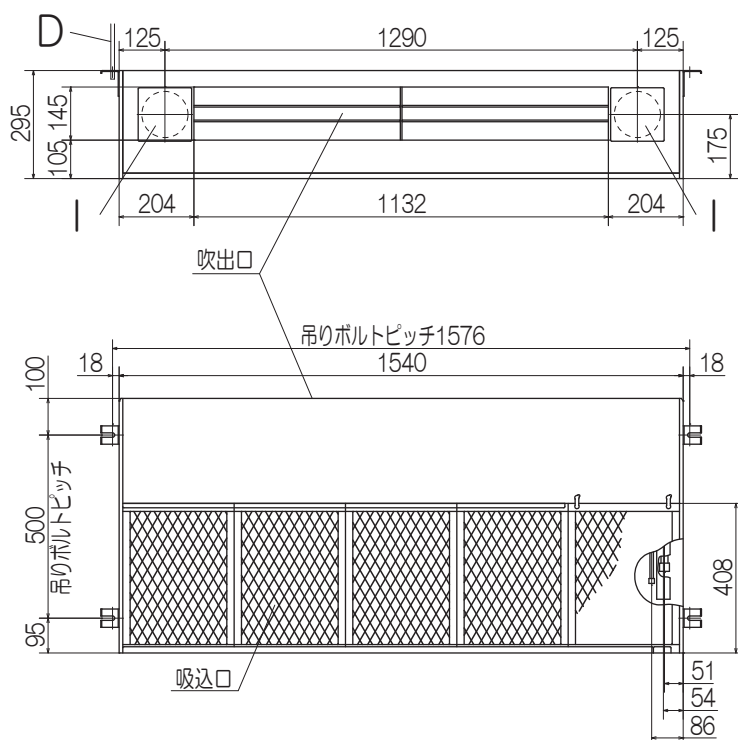
(4) 冷房運転時は下吹きにしないでください。吹出口の表面に露が付き滴下することがあります。

PFS000Z010

1-2 外形図

(1) 室内ユニット

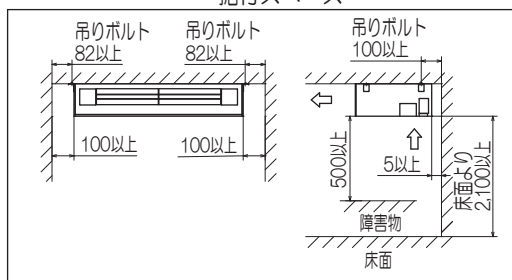
GESP804, 1404M1B



記号	内 容
A	冷媒ガス側配管 $\phi 15.88$ (フレア)
B	冷媒液側配管 $\phi 9.52$ (フレア)
C	ドレン配管接続口 VP25
D	吊りボルト M10
E	OA取入口 $\phi 150$ 用ノックアウト
F	後抜き用穴
G	右抜き用穴
H	上抜き用穴
I	スポットダクト $\phi 125$

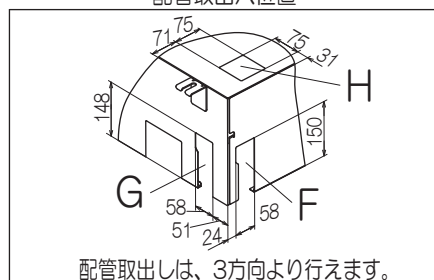
注(1) 装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

据付スペース



隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

配管取出穴位置

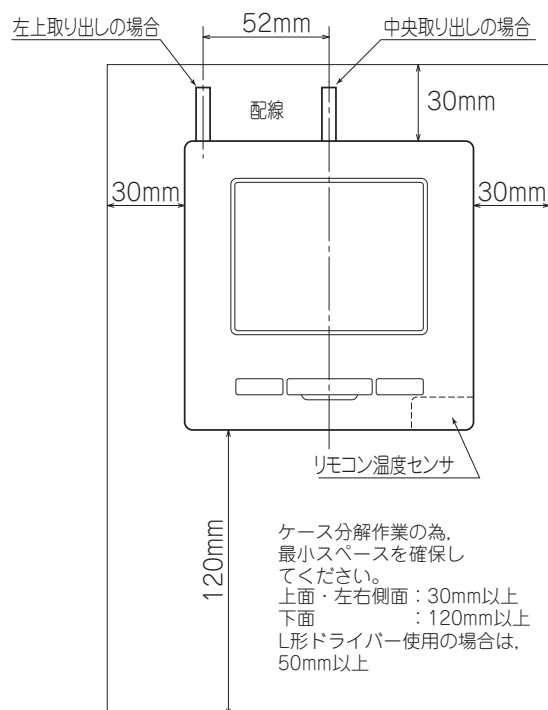


配管取出しは、3方向より行えます。

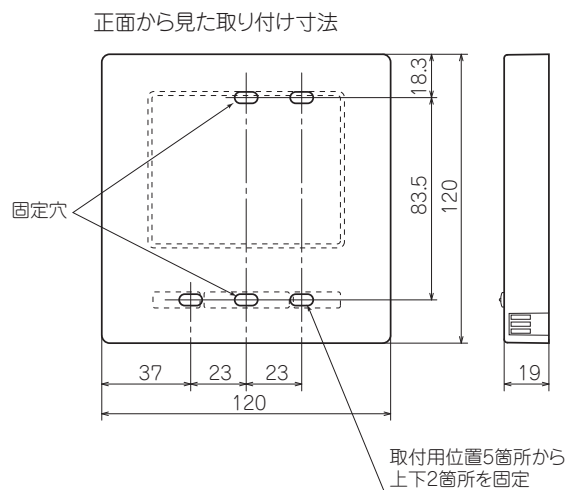
(2) リモートコントローラ（別売品）

(a) RC-DX2

設置スペース



リモコン取付寸法



リモコンコードを延長する場合の注意

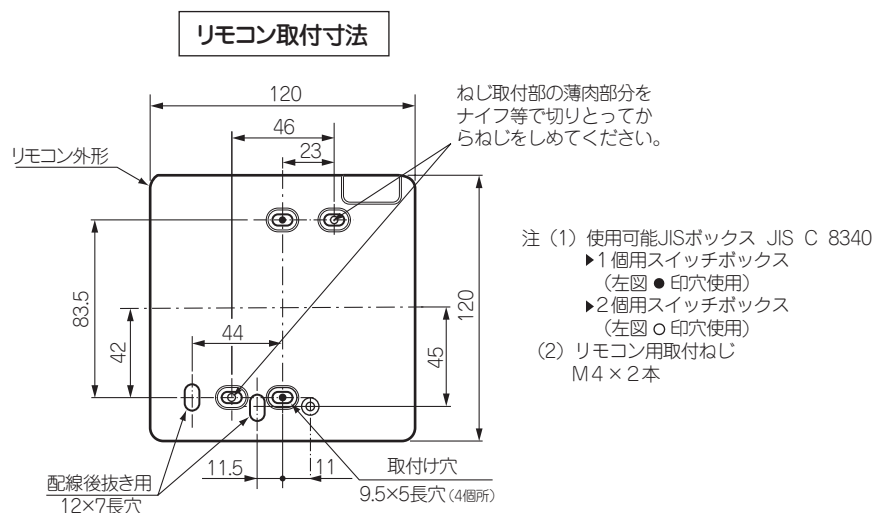
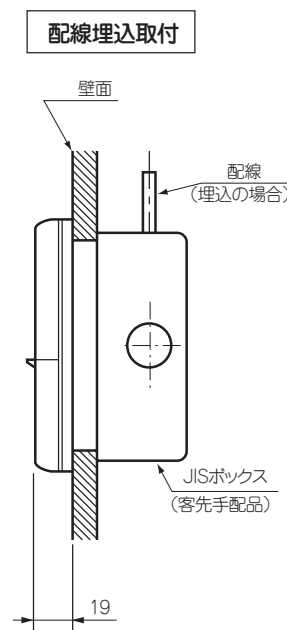
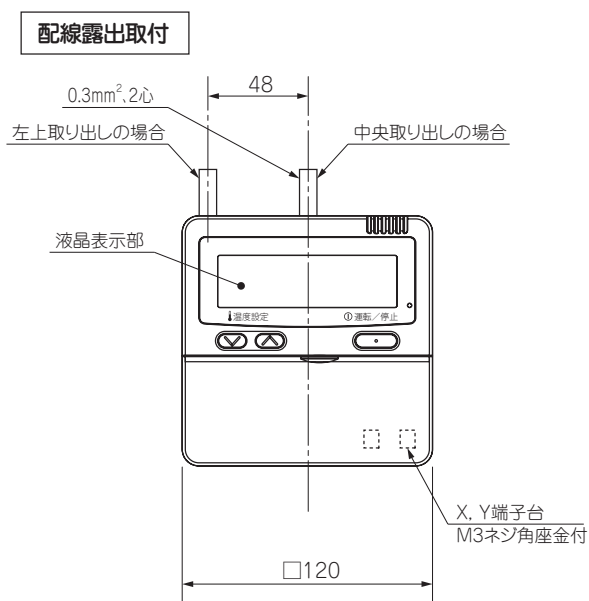
最大総延長600m

●リモコンコードは0.3mm²×2心です。

延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。

- 100～200m以内…0.50mm²×2心
- ～300m以内…0.75mm²×2心
- ～400m以内…1.25mm²×2心
- ～600m以内…2.00mm²×2心

(b) RC-D4G



リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長600m

- リモコンコードは0.3mm²×2心です。
- 延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。
- 100～200m以内…0.50mm²×2心
- ～300m以内…0.75mm²×2心
- ～400m以内…1.25mm²×2心
- ～600m以内…2.00mm²×2心

1-3 塗 装 色

GESP804, 1404M1B

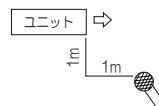
外板一式……ステンレス鋼板

1-4 運 転 音

(1) 音圧レベル

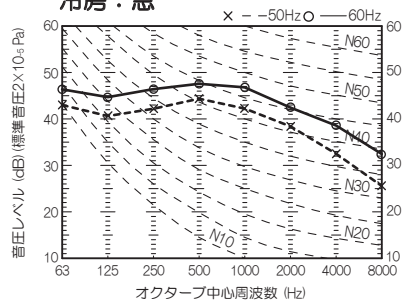
音圧レベルは、JIS B 8616に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。
実際に据付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け、表示値より大きくなるのが普通です。

測定条件：JIS B 8616・冷房 風量：急 測定場所：無響室
マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m

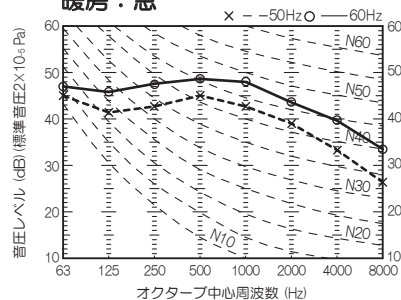


GESP804M1B

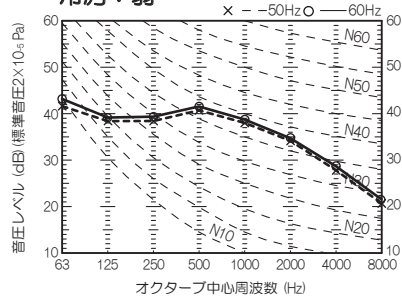
冷房：急



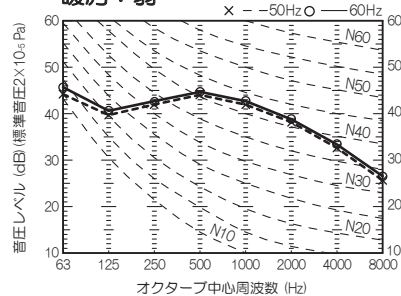
暖房：急



冷房：弱

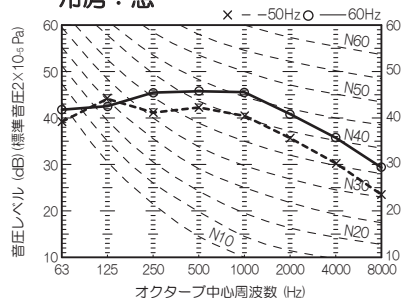


暖房：弱

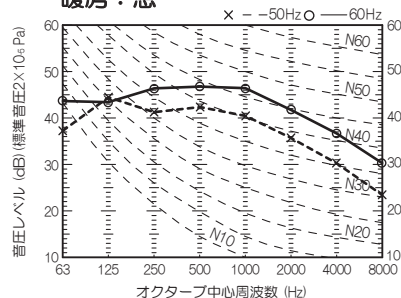


GESP1404M1B

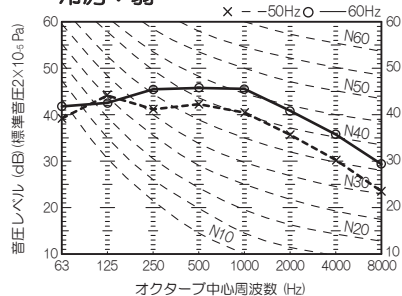
冷房：急



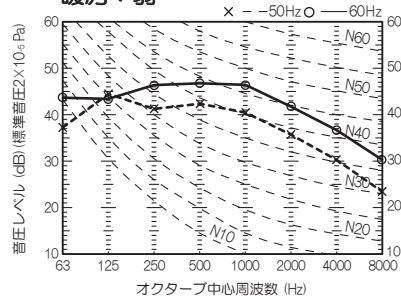
暖房：急



冷房：弱



暖房：弱

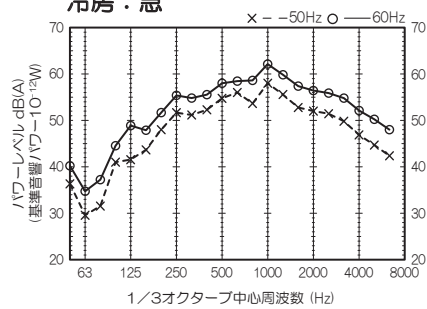


(2) パワーレベル

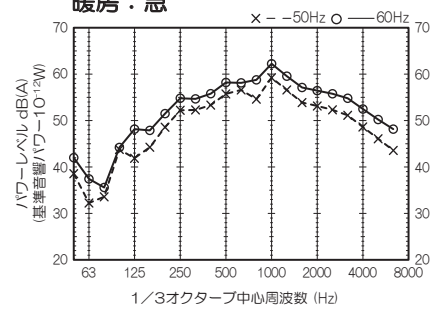
パワーレベルは、一般社団法人日本冷凍空調工業会規格 JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。

GESP804M1B

冷房：急

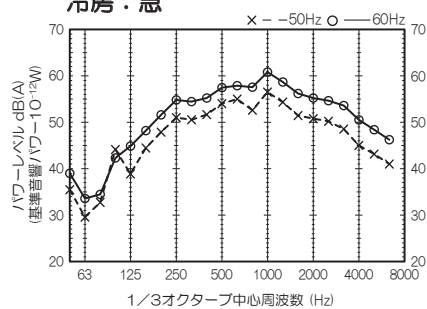


暖房：急

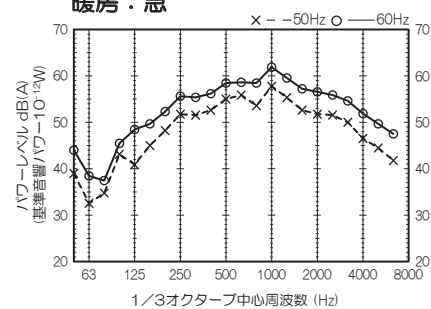


GESP1404M1B

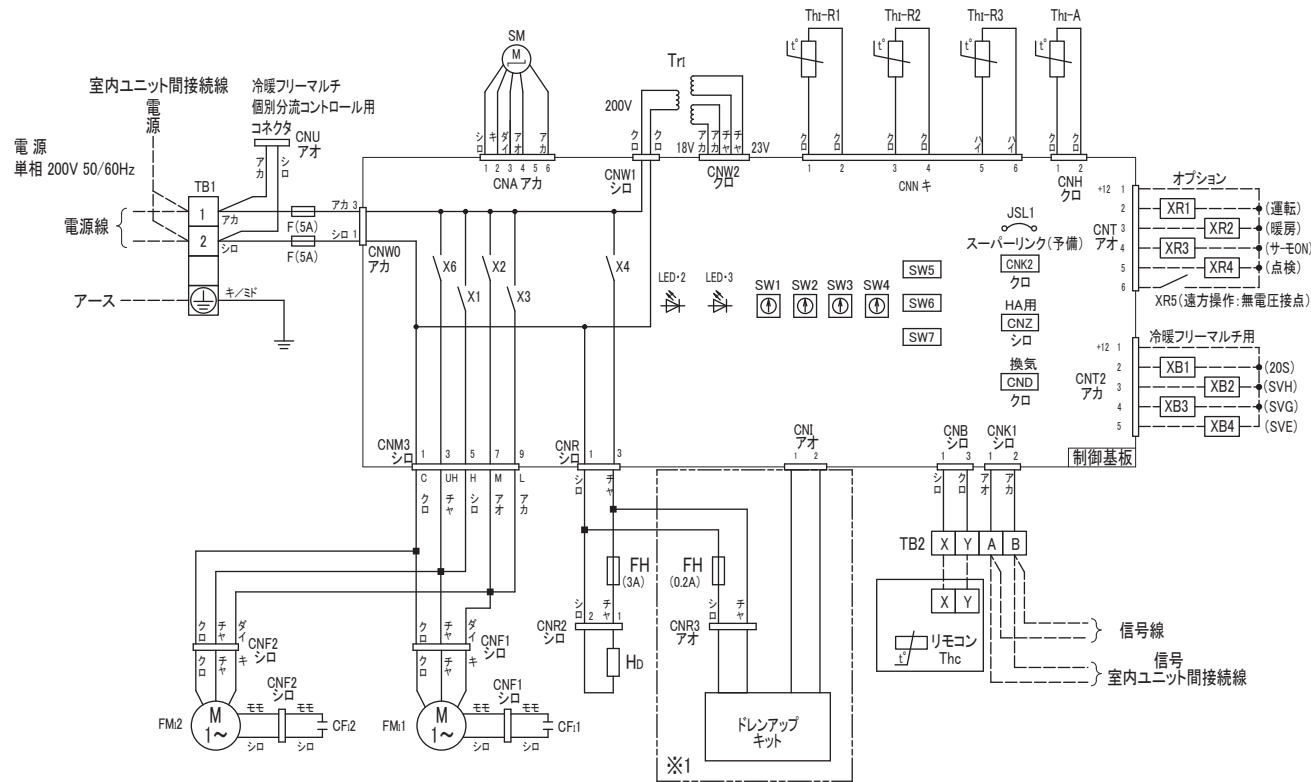
冷房：急



暖房：急



GESP804, 1404M1B



●記号説明

記号	名称
CF1,2	FM用コンデンサ
CNA~Z	コネクタ
F	ヒューズ
FH	電流ヒューズ
FM1,2	ファンモータ(サーモ付)
Hd	結露防止ヒータ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
SM	ステッピングモータ(電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW3	室外アドレスNo.10の位
SW4	室外アドレスNo.1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo.100の位
SW6	機種容量切換
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
TB1	端子台(電源)(口印)
TB2	端子台(通信)(口印)
Thc	リモコン付属サーミスタ
Thi-A	吸込温度センサ
Thi-R1,2,3	熱交温度センサ
Tr1	トランス
X1~3,6	FM用リレー
X4	結露防止ヒータ用リレー
■印	閉端接続子

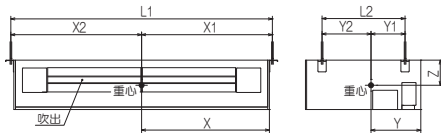
- 記事 1. ---は現地配線を示します。
2. TB1は強電用端子台(電源線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、信号線)です。
3. 室内外接続線(信号線)及び室内ユニット間接続線(信号線)は、
- ・シールド線、太さ0.75mm²を使用する場合は1500mまで
 - ・シールド線、太さ1.25mm²を使用する場合は1000mまで
 - ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm²とし、2000mまで
4. リモコン配線は0.3mm² X2心を使用してください。
5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
6. 2点鎖線内(※1印)の回路はドレンアップキット(オプション)無しの場合、配線されていません。

1-6 防振設計用参考資料

(1) 耐震データ

形 式	製品外形寸法 (1) 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置 (mm)(1)							
			幅方向				奥行方向			
			X	X1	X2	L1	Y	Y1	Y2	L2
GESP804M1B	1540×695×295	66	530	506	516	1022	302	185	105	290
GESP1404M1B		69								

注 (1) L1 (X1, X2) , L2 (Y1, Y2) 寸法は据付ボルトの位置を示します。



(2) 防振データ

(50/60Hz)

形 式	送風機回転数 (min ⁻¹)
GESP804M1B	1355/1560
GESP1404M1B	

注 (1) 急運転時の数値を示します。

2 特性・機能編の目次

1. 機能	2-2
1-1 室内マイコン運転制御機能	2-2
1-2 リモコン機能	2-3

1. 機能

1-1 室内マイコン運転制御機能

下記に記載する事項以外は、2014 年冷熱ハンドブック GHP 編をご覧ください。

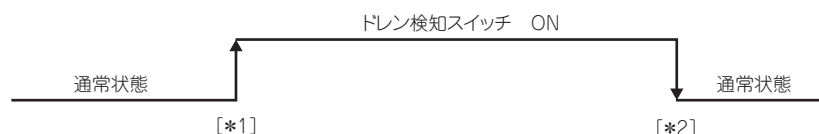
(1) ドレンアップキット（オプション）接続時の制御

(a) ドレンポンプ制御

- (i) 冷房運転、自動の冷房及び除湿運転にてインバータ周波数が0Hz以外の場合に作動します。
- (ii) ドレンポンプがONし(i)項によりOFFの領域となってから、5分間ドレンポンプONを継続し、その後停止します。また異常停止の場合も5分間遅延を継続します。
- (iii) 圧縮機ON→OFF時にドレンポンプを5分間遅延運転させます。
- (iv) 上記以外の状態（暖房、送風、停止、冷房サーモOFF）でもドレン検知によりドレンポンプ制御を行います。
- (v) 油戻し制御の(i)項の冷房時の膨張弁開とする制御において、そのユニットのドレンポンプを油戻し制御時間+5分遅延の間ONします。
- (vi) ワイヤードリモコン室内機能設定により下記設定が可能です。
 - 1) 標準：冷房時ドレンポンプON（出荷時）
 - 2) 暖房：1) +暖房時ドレンポンプON
 - 3) 暖房 送風：1) +暖房時、送風時ドレンポンプON
 - 4) 送風：1) +送風時ドレンポンプON

(b) ドレン異常検知

- (i) フロートスイッチ（FS）とタイマによりドレン検知スイッチをON-OFFします。



〔*1〕 ドレン検知可能区間においてフロートスイッチ「開」を3秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「ON」にします。

〔*2〕 フロートスイッチ「閉」を10秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「OFF」にします。

- ① 電源ON後30秒以降常時検知します。
- ② ドレンポンプOFF後10秒間はドレン異常検出を行ないません。
- ③ ドレン検知スイッチ「ON」により、ドレンポンプを強制ONにします。
- ④ ドレン検知スイッチ「OFF」により、ドレンポンプ強制ONを解除します。

- (ii) 室内ユニットは、各運転状態によりA制御またはB制御を行ないます。

室内ユニットの運転モード					
	停止 ⁽¹⁾	冷房	除湿	送風 ⁽²⁾	暖房
圧縮機ON中		A 制 御			
圧縮機OFF中		B 制 御			

注(1) 冷房、除湿、送風、暖房からの停止、異常停止を含む

(2) 運転モード不一致による「送風」運転を含む

1) A制御

- a) フロートスイッチがドレン異常を検知すると異常停止（E9 表示）しドレンポンプを運転します。異常検知後、ドレンモータ ON を継続します。
- b) フロートスイッチがドレン異常を検知している間は運転します。

2) B制御

フロートスイッチがドレン異常を検知するとドレンモータを5分間ONしドレンモータOFF後10秒の時点でフロートスイッチをチェックし正常ならば通常の停止、異常ならばE9を表示しドレンモータをONします。（ドレン検知中はONのまま。）

1-2 リモコン機能

(I) RC-DX2 リモコンの場合

(1) リモートコントローラの運転モード選択

- (i) TOP画面上より「運転モード」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「運転モード」選択画面が表示されますので、ご希望の運転モードをタッチしてください。
- (iii) 運転モード選択後、TOP画面に戻ります。



注(1) 室内ユニット・室外ユニットの組み合わせにより、選択できない運転モードは表示されません。

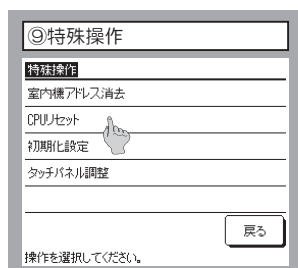
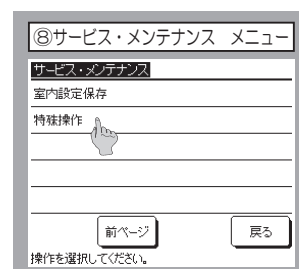
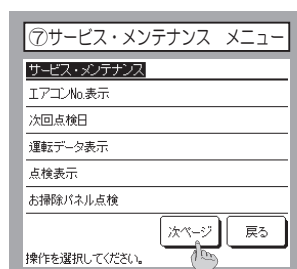
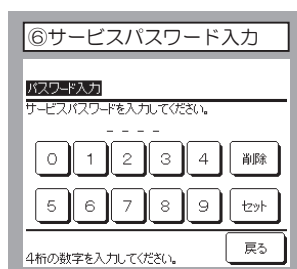
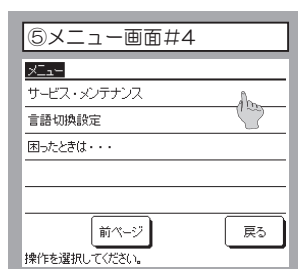
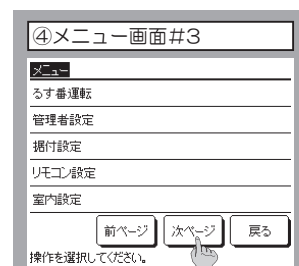
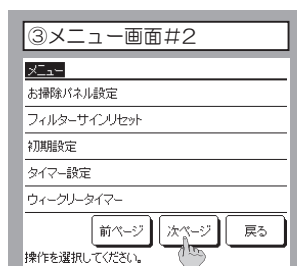
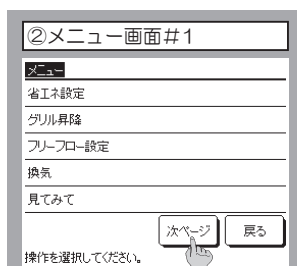
(2) 自動を選択すると、室温と外温に応じて、冷房・暖房自動切換運転を行います。



(2) CPU リセット

下記手順にてリモートコントローラよりCPUをリセットしてください。

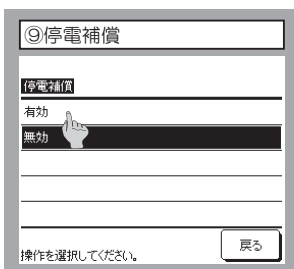
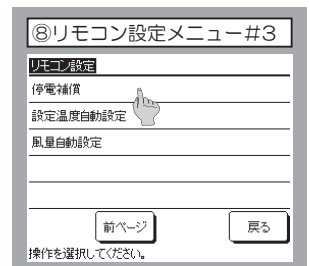
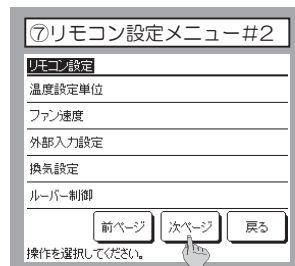
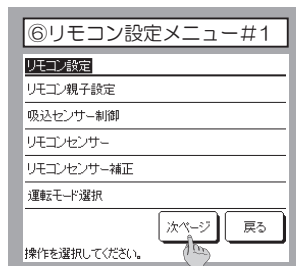
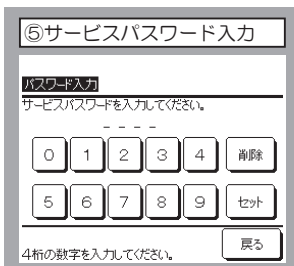
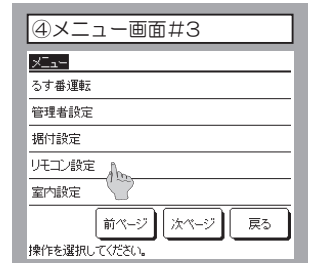
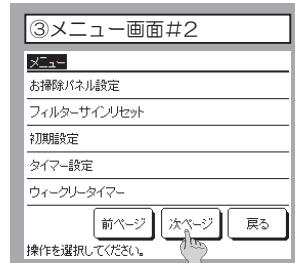
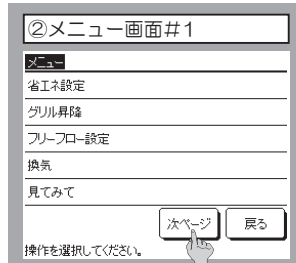
- (i) TOP画面上より「メニュー」「次ページ」「サービス・メンテナンス」と順にボタンをタッチすると「サービスパスワード入力」画面が表示されますので、サービスパスワードを入力し「セット」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「サービス・メンテナンス」画面が表示されますので、「次ページ」「特殊操作」「CPUリセット」と順にボタンをタッチしてください。接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット(停電復帰状態)されます。



(3) 停電保障機能

下記手順にてリモートコントローラより停電保障機能を有効設定してください。

- (i) TOP画面上より「メニュー」「次ページ」「リモコン設定」と順にボタンをタッチすると「サービスパスワード入力」画面が表示されますので、サービスパスワードを入力し「セット」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「リモコン設定」画面が表示されますので、「次ページ」「停電保障」「有効」と順にボタンをタッチしてください。運転中に停電した場合、停電復旧(電源投入後の制御終了)しだい、停電前の状態に戻ります。



- 常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後、記憶内容により運転を再開します。但しタイマーモードはキャンセルされますがウィークリータイマー設定は全曜日とも休日設定で復帰します。
復電後、時刻合わせを行い各曜日の休日設定を解除することにより、ウィークリータイマー設定が有効になります。

- 停電保障で記憶される内容は以下のとおりです。

注(1) ⑥、⑦項は停電保障有効・無効にかかわらず記憶されます。

- ① 停電時 運転中/停止中
時刻切タイマーモード、時間タイマーモードで運転中は、停止中を記憶します。(復電時タイマーモードはキャンセルされますが、ウィークリータイマー設定は全曜日が休日設定となります。)
- ② 運転モード
- ③ 風量モード
- ④ 室温設定
- ⑤ ルーバのオートスイング/停止
但し停止位置(4位置)はキャンセルされます。
- ⑥ 「お掃除パネル設定」「管理者設定」「据付設定」「リモコン設定」「室内設定」により設定された内容は室内ユニットが記憶します。
- ⑦ ウィークリータイマー設定(その他のタイマー設定は記憶しません。)

(4) 設定および表示内容（組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。）

表示内容		詳細内容
1. リモコンネットワーク		
1	複数室内機制御	リモコン1台（リモコンネットワーク内）に最大16台室内機を接続、制御できます。 室内機側にアドレス設定します。
2	親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン（含むワイヤレスオプション）を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。
2. TOP画面・SW操作		
1	メニュー	制御・設定・詳細確認等の項目を選択します。3～20項
2	運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿 を設定します。
3	設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。
4	風向	風向を設定します。 4位置／フリー
5	風量	風量を設定します。
6	タイマー設定	タイマー運転を設定します。
7	運転／停止SW	運転開始します。／停止します。
8	ハイパワーSW	ハイパワー運転を開始します。
9	省エネSW	省エネ設定で運転を開始します。
3. 省エネ設定		
1	切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ●設定時間は30～240分（10分単位）まで選択可能です。 ●設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。
2	ピークカットタイマー 管理者パスワード	最大能力を制限することで消費電力を削減します。 制御の開始時刻と終了時刻、能力制限率を設定します。 ●1日最大4パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●能力制限率は0・40～80%（20%単位）から選択可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。
3	設定温度自動復帰 管理者パスワード	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ●暖房モード／冷房モード他 各々設定可能です。 ●設定時間は20～120分まで選択可能です。 ●設定時間は10分単位で設定可能です。
4. グリル昇降		
1	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作] の設定が必要です。
2	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ●0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ●設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ●接続室内ユニット毎に設定できます。
3	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。 ●回収日を日付設定している場合は次回設定ができます。
5. フリーフロー設定		
	フリーフロー設定	各吹出口のルーバの作動範囲(上限位置・下限位置)を設定します。
6. 換気		
1	換気 換気機器を組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定] の設定が必要です。 ●換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。

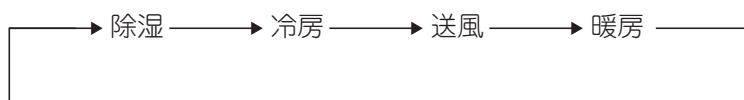
表示内容		詳細内容
7. 見てみて		
	見てみて	室内温度, 室外温度, 運転時間, 消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによって表示できない場合があります。
8. お掃除パネル設定		管理者パスワード
1	お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。
2	清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。
3	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。
4	ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。
5	ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。
9. フィルターサインリセット		
	フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。
	次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。
10. 初期設定		
1	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合, バックアップ電源により時計は動き続けます。
2	時刻表示設定	時刻表示のあり/なし, 12H/24H, AM/PM位置, を設定します。
3	サマータイム補正	現在時刻に対し, +1時間の補正を行います。
4	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。
5	バックライト	バックライトの有効/無効, 点灯時間を設定します。
6	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。
11. タイマー設定		
1	時間入タイマー	停止後, 運転させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
2	時間切タイマー	運転後, 停止させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。
3	時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
4	時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。
12. ウィークリー タイマー設定		
1	ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により, 無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
13. るす番運転		
1	るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時, お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度, 風量の設定が可能です。

表示内容		詳細内容
14. 管理者設定		管理者パスワード
1 操作制限設定		●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定][言語切換設定]
2 室外静音タイマー		静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。
3 設定温度の範囲設定		設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。
4 設定温度刻み切換		設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。
5 設定温度表示切換		設定温度の表示の仕方を切り換えます。
6 リモコン表示設定		リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示)のあり/なしを設定します。
7 管理者パスワード変更		管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。
15. 言語切換		リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語/Englishの選択が可能です。
16. 据付設定		サービスパスワード
1 据付日登録		据付日を登録した場合、点検日表示を行います。
2 サービス情報入力		リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。
3 試運転		試運転の開始/停止を制御できます。
	冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。
	お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合
	周波数固定運転	インバーター圧縮機の運転Hzを固定します。
4 グリル昇降操作設定		ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合
5 ダクト機静圧補正		機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。
6 自動アドレス変更		個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。
7 親室内機アドレス設定		個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。
17. リモコン機能設定		サービスパスワード
1 リモコン親子設定		リモコン親子設定の変更ができます。
2 吸込センサー制御		1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。 ●個別/親機/平均の選択が可能です。
3 リモコンセンサー		リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。
4 リモコンセンサー補正		リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能
5 運転モード選択		各運転モード毎に有効/無効を設定できます。
6 温度単位設定		設定温度の単位を設定できます。 ●℃/°Fの選択が可能です。
7 ファン速度		ファン速度選択が可能です。
8 外部入力設定		1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。
9 換気設定		換気ユニット組合せ制御が設定できます。
10 ルーバー制御		[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。
11 停電補償		停電復帰した場合の制御内容を設定できます。
12 設定温度自動設定		設定温度自動の有効/無効を選択できます。
13 風量自動設定		風量自動の有効/無効を選択できます。

表示内容		詳細内容
18.	室内機能設定	サービスパスワード
1	高天井設定	室内ユニットの風量タップを設定します。
2	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。
3	外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。
4	外部入力1方式	外部入力1の信号方式を換えられます。
5	外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。
6	外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。
7	暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。
8	吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。
9	冷房ファン制御	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
10	暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
11	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。
12	フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。
13	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。
14	冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
15	暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
16	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。
17	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。
18	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。
19	運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。
20	サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。
21	風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。
22	室内過負荷アラーム設定	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、過負荷アラーム信号を送信します。
19.	サービスメンテナンス	サービスパスワード
1	エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。
2	次回点検日	次の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。
3	運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。
4	点検表示	
	異常履歴表示	過去の異常履歴（点検コード・発生時間）を表示します。
	異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。
	異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。
	定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。
5	お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。
6	室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。
7	特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。
20.	困ったときは・・・	
1	連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。
2	サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。
21.	点検表示	
	点検表示確認	異常発生時の表示
22.	パソコン接続	
	USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。

(Ⅱ) RC-D4G リモコンの場合

(1) リモコンの運転モードスイッチ切換順



(2) CPU リセット

リモコンの **点検** **グリル昇降** ボタンを同時に押した場合に機能します。電源リセットと動作は同じです。

(3) 停電補償機能

- リモコン機能設定により「停電補償有効」の設定をすると有効となります。
- 常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後、記憶内容により運転を再開します。但しオートスイング停止位置、タイマーモードはキャンセルされますがウィークリータイマー設定は全曜日とも休日設定で復帰します。
復電後、時刻合わせを行い、各曜日の休日設定を解除することにより、ウィークリータイマーの設定が有効となります。
- 停電補償で記憶される内容は以下のとおりです。

注(1) ⑥、⑦、⑧項は停電補償有効・無効にかかわらず記憶され、静音モード設定は停電補償有効・無効にかかわらずキャンセルされます。

① 停電時 運転中／停止中

切時刻タイマーモード、時間タイマーモードで運転中は、停止中を記憶します。(復電時タイマモードはキャンセルされますが、ウィークリータイマー設定は全曜日が休日設定となります。)

② 運転モード

③ 風量モード

④ 室温設定

⑤ ルーバのオートスイング／停止

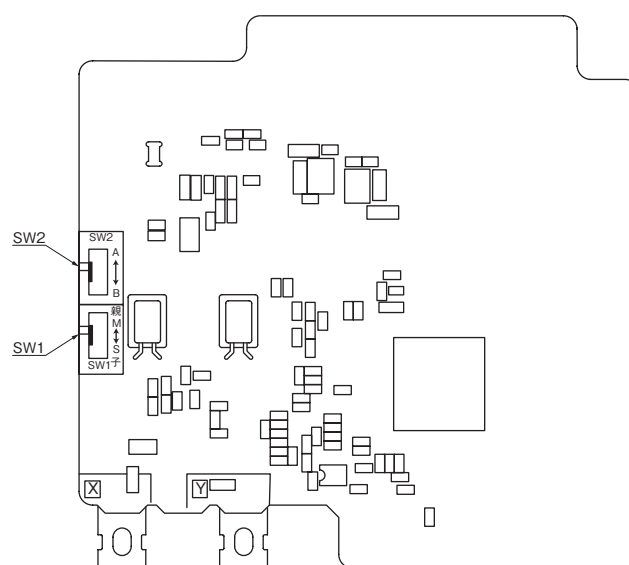
但し停止位置(4位置)はキャンセルされます。

⑥ リモコン機能設定により設定された「リモコン機能項目」(「室内機能項目」は室内ユニットが記憶します。)

⑦ 温度設定制御で設定した上限値、下限値。

⑧ 時間タイマ、ウィークリータイマー設定(その他のタイマー設定は記憶しません。)

リモコン基板の部品配置



■制御切換スイッチ(SW1)

スイッチ		機能
SW1	親	親リモコン
	子	子リモコン

注(1) SW2 は、通常使用しませんので、切換えないでください。

3 故障診断編の目次

1. トラブル項目と診断	3-2
2. リモコンによる異常運転データの確認	3-3

1. トラブル項目と診断

下記に記載する項目以外は、2014 年冷熱ハンドブック GHP 編をご覧ください。

1-1 異常表示内容〔ドレンアップキット（オプション）接続時〕

異常コードと内容及び考えられる故障原因

異常コード			内容	異常検出・判定	異常表示 までの 発生頻度	処理		診断・修理方法	
リモコン 表示	室外機基板					※1	※2	考えられる主な原因	診断・処置方法
	コード	サブコード							
E9	95	n (室内機 No.)	室内機ドレン水異常	1. 冷房・除湿運転中、圧縮機接続時にドレン水ありを検出した場合、または 2. 暖房運転で、ドレン水ありを検出した場合、または 3. 上記 1. 及び 2. 以外でドレン水ありを検出し、5 分後に再度ドレン水ありを検出した場合（室内機検出、ドレンスイッチ ON の場合ドレン水有り）	1 回	X	N	1. ドレン水フロートスイッチコネクタ接触不良 2. ドレン水フロートスイッチ不良 3. ドレン配管確認 4. ドレンポンプコネクタ外れ 5. ドレンポンプ不良 6. ドレンポンプハーネス断線	1. コネクタの接続確認 2. 配管の逆勾配・立ち上げ寸法の確認 3. ドレン配管確認

2. リモコンによる異常運転データの確認

異常発生時の運転データを記憶し、リモコンから異常運転データの確認ができます。

(1) RC-DX2 リモコンの場合

[操作手順]

①TOP画面より「メニュー」→「次ページ」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード」入力→「セット」→「点検表示」→「異常時運転データ表示」の順でタッチする。

②リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合は、以下の表示となります。

1. 異常がある場合:「データ読み込み中」の後、異常時の運転データが表示されます。

表示内容

- ・異常コード
- ・番号およびデータ項目

2. 異常がない場合:「異常なし」を表示し、本モードを終了します。

③リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の表示となります。

1. 異常がある場合:「室内機選択」画面で対象室内ユニットを選択→「データ読み込み中」の後、異常時の運転データが表示されます。

表示内容

- ・室内機 No.
- ・異常コード
- ・番号およびデータ項目

2. 異常がない場合:「異常なし」を表示し、本モードを終了します。

注(1)「室内機選択」画面で接続台数が1ページを超える場合は、「次ページ」を選択してください。

④ **運転／停止** ボタンを押すと、TOP画面に戻ります。

◎**設定の途中で、「戻る」をタッチすると、一回前の設定画面に戻ります。**

注(1) 異常運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

■**異常運転データ**(機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。)

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交換温度(ThI-R1)
06	室内熱交換温度(ThI-R2)
07	室内熱交換温度(ThI-R3)
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
21	外気温度
22	室外熱交換温度(Tho-R1)
23	室外熱交換温度(Tho-R2)
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT電流
30	SH制御値
31	実SH
32	実TDSH
33	圧縮機保護ステータスNo.
34	室外ファン速調
35	63H1ON/OFF
36	デフロスト ON/OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室外膨張弁開度(EEVC)
39	室外膨張弁開度(EEVH)

■**メンテナンスコード**

コード	内容
M1	お掃除パネル異常
M9	ドレンポンプ過電流検知

(2) RC-D4G リモコンの場合

〔操作手順〕

- ① **点検** ボタンを押します。表示が「運転データ表示▼」となります。
- ② **▼** ボタンを一度押して、「エラーデータ表示▲」に切換えます。
- ③ **セット** ボタンを押すと、異常運転データ表示モードに入ります。
- ④ リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合は、以下の表示となります。
 1. 異常履歴がある場合：エラーコードと「データ確認中」を表示します。
 「例」「E8」（エラーコード）
 「データ確認中」（データを読み込む間点滅表示）
 続いて、データが表示されます。⑧へお進みください。
 2. 異常履歴がない場合：「異常なし」を3秒間表示し、本モードを終了します。
- ⑤ リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の表示となります。
 1. 異常履歴がある場合：接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレス番号とその室内ユニットのエラーコードを表示します。
 「例」「E8」「内000▲」（点滅）
 2. 異常履歴がない場合：アドレス番号表示のみとなります。
- ⑥ **▲ ▼** ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
- ⑦ **セット** により確定します。（室内アドレスが点滅から点灯に変わります。）
 「例」「E8」
 「内000」（選択した室内アドレスを2秒間点灯）→「E8」
 「データ確認中」（データを読み込む間点滅表示）続いて、データが表示されます。
 異常履歴がない室内ユニットを選択した場合は、「異常なし」を3秒間表示し、室内アドレス表示に戻ります。
- ⑧ **▲ ▼** ボタンにより、異常運転データを確認できます。データ項目は下表をご覧ください。
 注(1) 機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
- ⑨ 室内ユニットを変更する場合は、**エアコンNo.** ボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
- ⑩ **運転／停止** ボタンを押すと、終了します。

◎設定の途中で、**リセット** ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

注(1) 異常運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。（子リモコンからの操作はできません。）

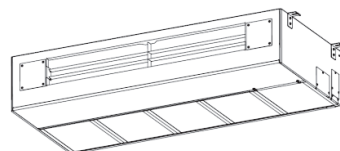
■異常運転データ

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交温度（ThI-R1）
06	室内熱交温度（ThI-R2）
07	室内熱交温度（ThI-R3）
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
21	外気温度
22	室外熱交温度（Tho-R1）
23	室外熱交温度（Tho-R2）
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT電流
30	SH制御値
31	実SH
32	実TDSH
33	圧縮機保護ステータスNo.
34	室外ファン速調
35	63H1 ON/OFF
36	デフロスト ON/OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室外膨張弁開度（EEVC）
39	室外膨張弁開度（EEVH）

4 据付編の目次

1. 室内ユニットの据付	4-2
2. 電気配線工事	4-14
3. リモコンの取付	4-22
4. リモコンによる機能設定	4-26
5. リモコンによる操作要領	4-52

1. 室内ユニットの据付



PFS012D001

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。

電気配線（室内）は、4-14ページをご覧ください。リモコンの取付方法は、4-22ページをご覧ください。

ワイヤレスキットの取付方法は、5-2ページをご覧ください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**⚠ 警告**、**⚠ 注意**に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**⚠ 警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**⚠ 注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**⊘ 絶対に行わない** **⚠ 必ず指示に従い行う**
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法等）をお客様に説明してください。
- この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書等をお渡しいただくよう依頼してください。

⚠ 警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。**⚠**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**⚠**
据付けに不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 小部屋に据付けの場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。（JRA GL-13）**⚠**
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付ける。
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。
- 設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。**⚠**
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電等の原因になります。
- 作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。**⚠**
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。**⚠**
強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。
- 台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。**⚠**
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。
- エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気等を入れない。**⊘**
空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**⚠**
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。 
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取り付ける。 カバーの取り付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 
- 据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 
- 配管、フレアナット、工具は R410A 専用のものを使用する。 既存 (R22) の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。 
- フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける。 フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。 
- ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。 
室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内機を腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。
- 据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取り付ける。 
冷媒配管を取り付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後、配管を外す前に圧縮機を停止する。 
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。
- オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。 
ご自分で取り付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
- 改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。 
修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。 
据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
- 室内機の修理・点検作業に際して「室内ユニット電源ブレーカ」を必ず落とす。点検・修理にあたって、室内ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 
- パネルやガードを外した状態で運転しない。 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。 
- 元電源を切った後に電気工事を行う。 
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。

注 意

- 耐油用エアコンは厨房や工場の油を吸い取る機器ではありません。 
油煙などの排出にはレンジフードなどの専用の排気装置を設けてください。
- アース(接地)を確実に行う。 
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になることがあります。
- 漏電遮断器は必ず取り付ける。 
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ(漏電遮断器・手元開閉器(開閉器＋ B 種ヒューズ)・配線遮断器)を使用する。 
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
-
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。
万一ガスがユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
-
- 腐食性ガス（亜硫酸ガス等）、可燃性ガス（シンナー、ガソリン等）の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。
熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
-
- 工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保する。
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。
-
- 洗濯室等、水の掛かる場所では使用しない。
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災等の原因になることがあります。
-
- 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。
保存物の品質低下等の原因になることがあります。
-
- 病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据付け、使用しない。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。
-
- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
-
- 次の場所への据付けは避ける。

・可燃性ガスの漏れる恐れがある所	・煙突の煙がかかる所
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所	・カーボン繊維や金属粉、パウダー等が浮遊する所
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場等）	・車両・船舶等移動するものへの設置
・酢酸や次亜塩素酸を大量に使用する所	・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所
・高周波を発生する機械を使用する所	・積雪の多い所
・海浜地区等塩分の多い所	・標高1000m以上の所
-
- 性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。
-
- 次の場所への室内機の据付けは避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。

・吸込口、吹出口に風の障害物がある所	・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）
・強度が不十分で振動が発生する所	・ドレンの排水がとれない所
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所	

性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。
-
- 理・美容院における設置は避けてください。
脱色剤などに混入される硫酸ガス、または酸性の溶液により、溶接部が腐食することがあります。
-
- エアコンから吹出した風が直接、火気に当たる場所への設置は止めてください。
不完全燃焼や火災等の原因になることがあります。
-
- エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。
湿度が80%以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。
湿度70%以上で長時間運転した場合も同様に室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。

- 食品の熱さましなどエアコンから吹出した風を直接当てる使用は止めてください。
露が滴下して品質低下の原因になります。

- 長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

- ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの進入を防止する。
溶接作業時などに発生するスパッタがユニットにあたった場合、断熱材等が損傷(ピンホール)して、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

- 冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れのないことを確認する。
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となることがあります。

- GHP[ガスヒートポンプ]の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

- ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。試運転時に排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

- 冷媒配管・ドレン配管の断熱は結露しないように確実に行う。不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。

- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。

- 製品の運搬は充分注意して行う。20kg 以上の製品は原則として2人以上で行ってください。
PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

- 梱包材の処理は確実に行う。梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。

- フィルターをはずしたまま運転しない。
内部に油・ゴミ等が詰まり、故障の原因になることがあります。

- 濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。

- エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

- 電源スイッチによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

- ドレンポンプを使用の場合は定期的に内部洗浄を実施する。
一年以上清掃を行わないと故障して排水できなくなる場合があります。

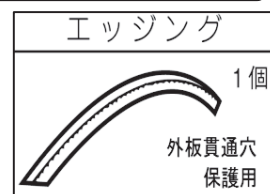
① 据付けのまえに

●据付けはこの据付説明書に従って正しく行ってください。

●次の項目を確認してください。

○機種・電源仕様 ○配管・配線・小物部品 ○付属品

付属品



本体吊り込み	冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金	パイプカバー		バンド	塩ビソケット	ホース	クランプ	断熱材
M10	太	細		VP25			
8 個	1 個	1 個	4 本	1 個	1 個	2 個	2 枚
吊ボルト用	ガス管断熱	液管断熱	パイプカバー	本体側接続	ドレン配管とホース接続		接続部断熱

② 室内ユニットの据付場所の選定

① 据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- ・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設を検討してください。
- ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
- ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
- ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
- ・侵入外気の影響のない所。
- ・直射日光の当たらない所。
- ・周囲の露点温度が23℃以下、相対湿度80%以下の所。

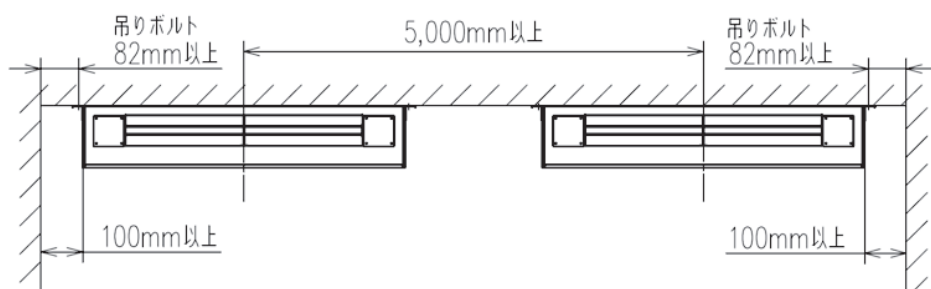
本ユニットはJIS 露付条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。天井埋込で据付ける際は、ユニット天面に断熱材を貼付ける等、必要に応じて結露対策をお願いします。

- ・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
- ・ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
- ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
- ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。(ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。)

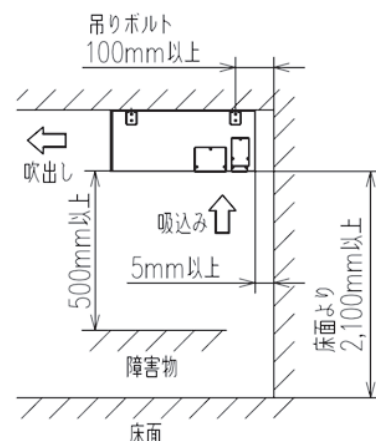
② 据付けようとする場所がユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、ユニット落下によるケガの原因になります。

③ 複数の室内ユニットを隣接して設置する場合は、ユニット間距離を5m以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース



吸込み側に十分な空間が無いと部分的に気圧が下がり、この影響を受けて 吹き出した風が引き込まれショートサーキット原因になることがあります。



③ 据付前の準備

●吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。

○システム天井(グリッド天井・ライン天井)の場合

吊り長さ(吊りボルト長さ)500mm以上又は天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。

○強度が十分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合

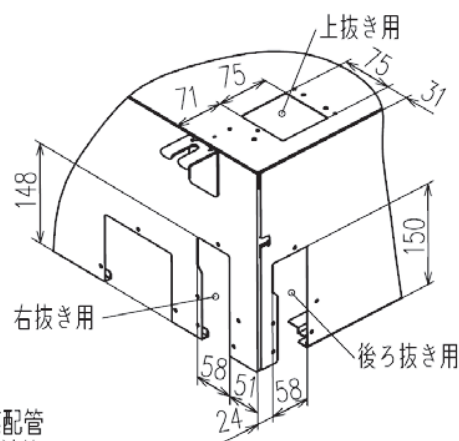
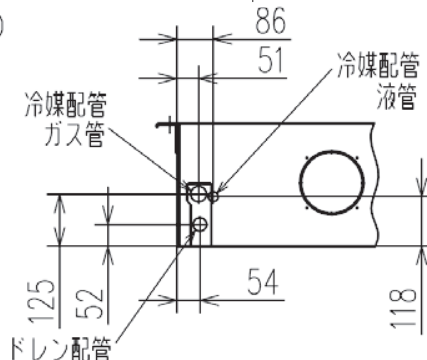
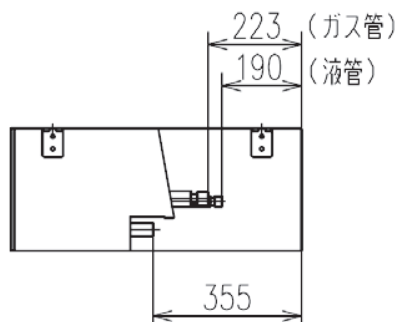
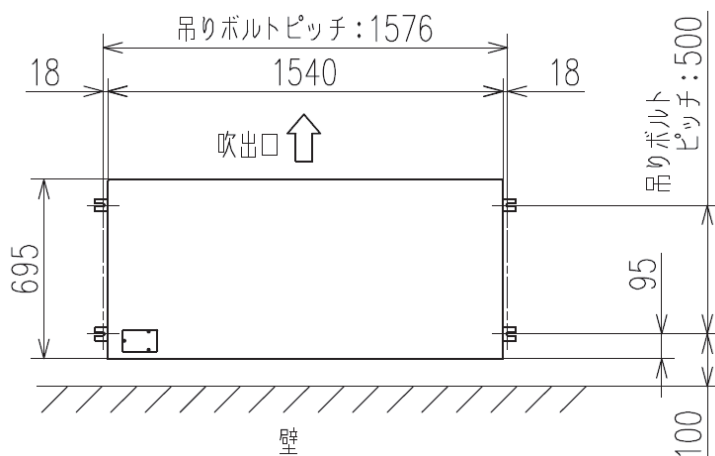
吊り長さ(吊りボルト長さ)1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。

●吊りボルト・ナット・バネ座金(M10 又は M8)を4組現地にて手配してください。

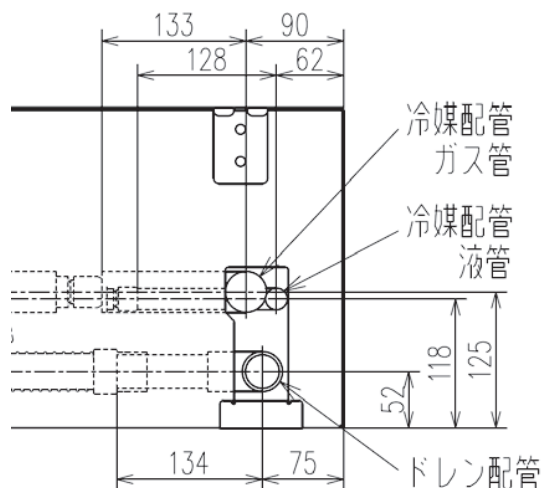
1本当たりの引抜強度は、1.25kN 以上になる方法で建物に固定してください。(吊ボルト長さ 1m以内の場合)

また、吊ボルト長さが1mを超える場合は、耐震計算等により強度確認を行ってください。

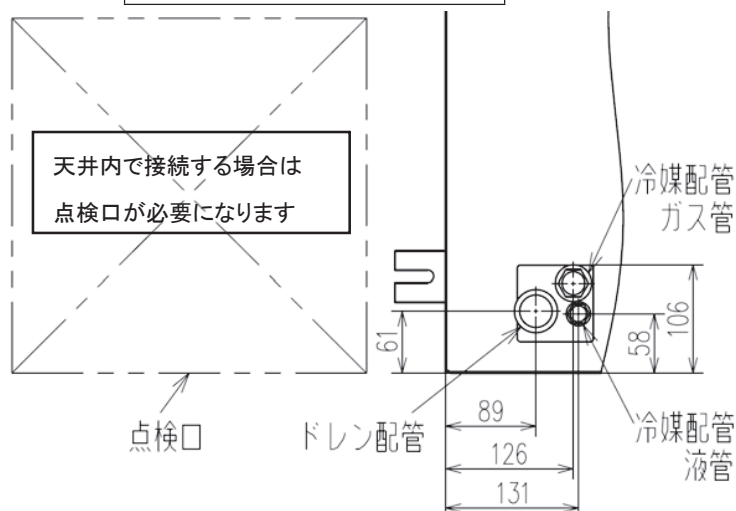
吊ボルトピッチ・各配管の位置



右側面へ配管を抜く場合の位置



天面へ配管を抜く場合の位置

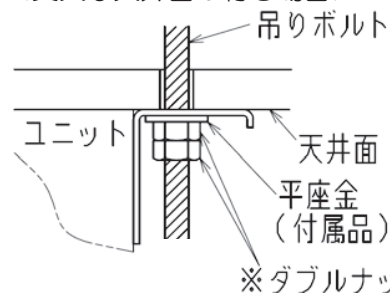


④ 室内ユニットの据付

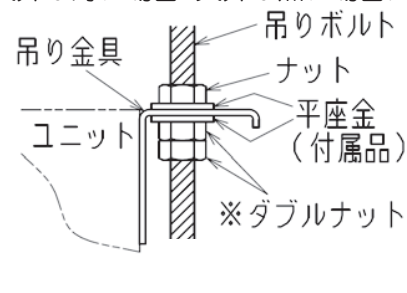
作業手順

1. 吊りボルト位置、配管穴位置を選定し、吊りボルトの設置と配管用の穴あけを行ってください。
2. 天井が無い場合・天井面が丈夫で無い場合は、吊金具の上側にもナットを入れてユニットが持ち上がらない様に上下から固定してください。

＜丈夫な天井面がある場合＞



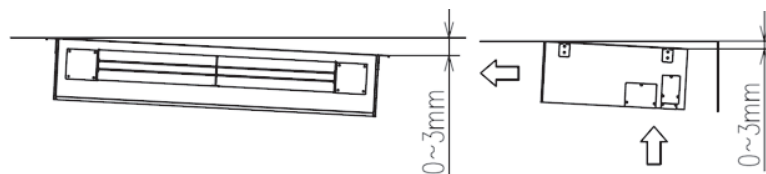
＜天井が薄い場合・天井が無い場合＞



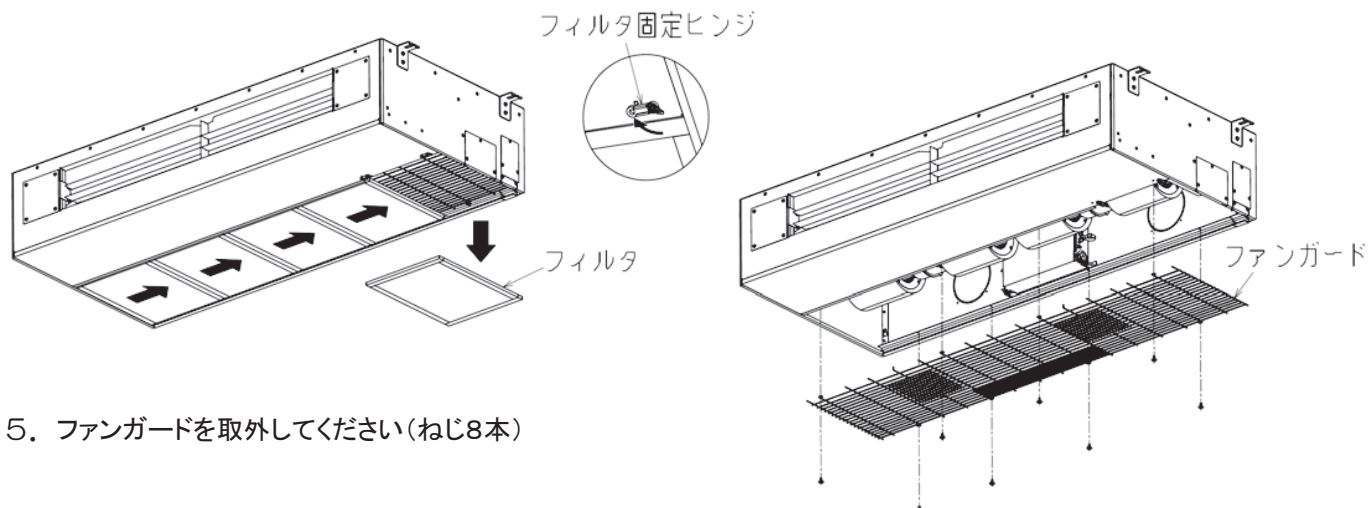
※ダブルナットで確実に固定してください。

3. ドレン水の流れをよくするためユニットを排水側に下り勾配を設け据付けてください。逆勾配にすると水が漏れる恐れがあります。

ドレンポンプを装着される場合は基準を超えてユニット傾斜を設けると、配管詰り等の万一の場合にドレン水があふれ出る原因になりますので厳守してください。



4. エアフィルタの取り外しは、配管側の一枚を固定のヒンジを回転させて外した後、残りを横にスライドしてください。



5. ファンガードを取外してください(ねじ8本)

⑤ 冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

- 冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは製品に付属されているもの又は JIS B 8607 2 種適合品を使用してください。既設配管再利用の可否および洗浄方法については、室外ユニットの説明書又はカタログ・技術資料で確認すること。

1)再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属されているものまたは JIS B 8607 2 種適合品を使用すること。

2)再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R410A 用のフレア加工をしてください。

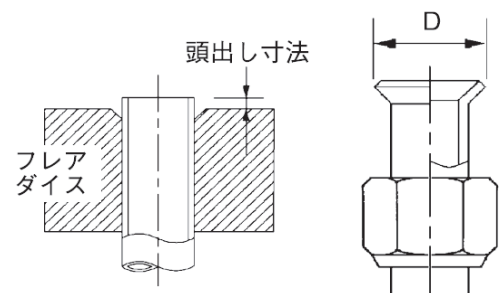
加工後 D 寸法を確認してください。フレア面にバリ・傷が無いことを確認してください。

フレアダイス

頭出し寸法

D

配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット 締付けトルク N・m
		リジッド（クラッチ式）			
		R410A 用	従来ツール		
9.52	0.8	0 ~ 0.5	0.7 ~ 1.3	12.8 ~ 13.2	34 ~ 42
15.88	1			19.3 ~ 19.7	68 ~ 82



- 冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管

（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。

また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化等の原因になります。

- R410A以外の冷媒は使用しないでください。

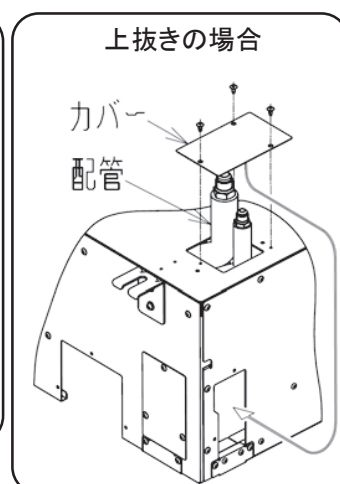
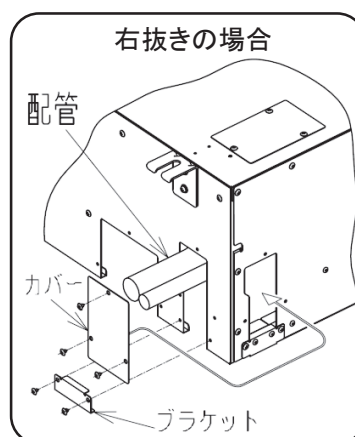
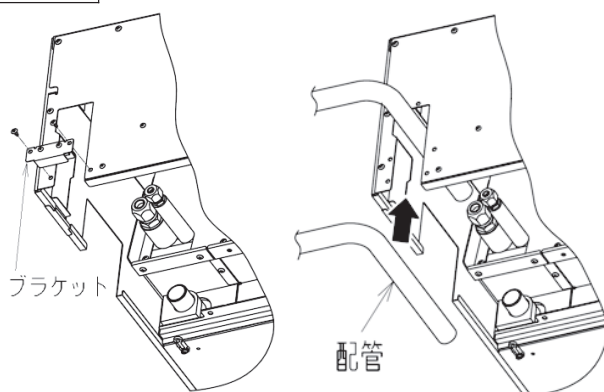
R410A以外（R22等）の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化等の原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂等の原因になります。

- 据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端とも ろう付する直前までシールしてください。冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入ると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

- 工具はR410A専用ツールを使用してください。

注意 同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、フレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

作業手順



1. 右抜き又は上抜きの場合、外した板金カバーを背面穴に取り付けてください。

2. 外板貫通穴にエッジング(付属品)をはめ込み保護してください。

3. 室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外す。

※ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。(このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)

●フレアナット飛びに注意してください。

(内部に圧力がかかっている場合があります。)

4. 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。

※ 配管の曲げは 4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。また、配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。

※フレア接続は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで前頁表の締付け力で締めてください。

5. 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締付ける。

●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

※配管は断熱しないと結露し水漏れします。

●ガス側配管の断熱材は耐熱 120℃以上のものを使用してください。

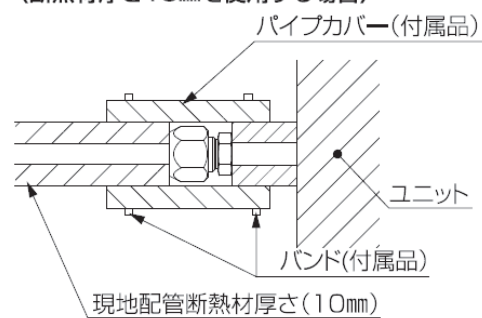
●高湿度雰囲気中使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。

天井内・壁内を通す場合、現地配管断熱材厚さ 20mm 以上を推奨します。

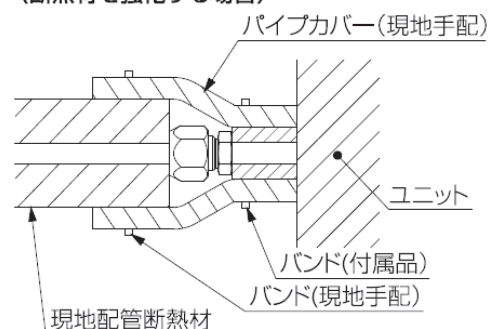
6. 冷媒は室外ユニットに充填されています。

室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

〈断熱材厚さ10mmを使用する場合〉



〈断熱材を強化する場合〉



⑥ ドレン配管

●ドレン配管の取出方向は、後向き、右向きがあります。

●ドレンポンプ(別売)を組み込み上向きすることができます。

注意事項

●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。

不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。

●ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスおよび可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。

室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。

また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。

●接続部から水漏れのないように確実に施工してください。

●水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。

●施工後、ドレンが排水されていることを、ユニットドレン口およびドレン配管最終出口部で確認してください。

●ドレン配管は下り勾配(1/100 以上)とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。

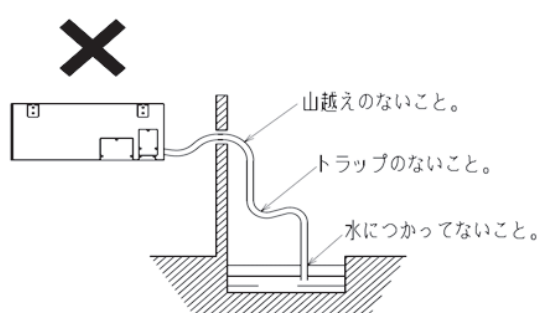
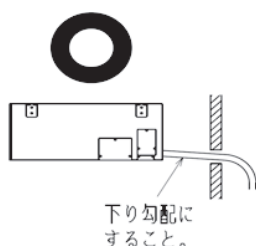
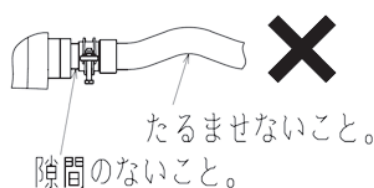
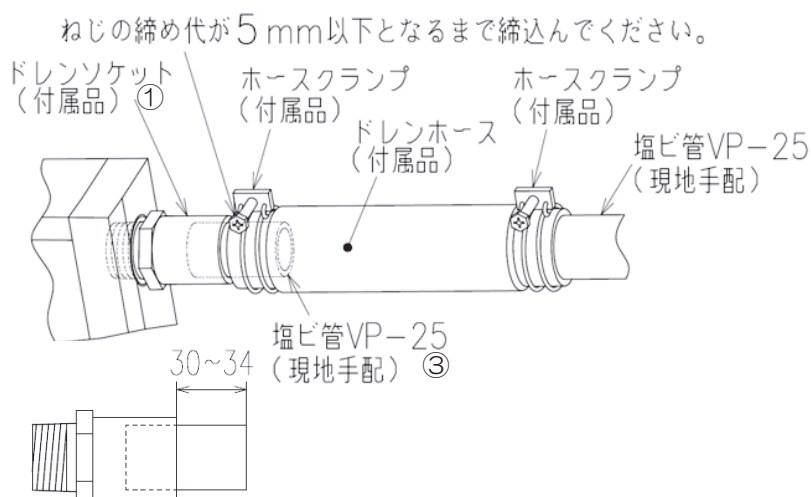
●試運転時に排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

作業手順

1. 付属の塩ビソケット①に塩ビ管 VP25
長さ 50～55mm②を接着。
(出代 30mm 以上)
2. 本体ドレンパンへ塩ビソケット①②を
ねじ込む(シールテープ等使用)。
3. 付属のドレンホースを塩ビ管②出代部分
に指し込み、付属のクランプで確実に
締付けてください。(接着剤使用不可)

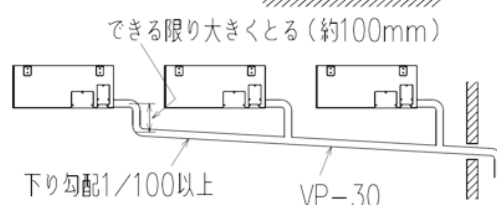
注意:・クランプはホース先端部より 5mm
程度のところに取り付け、ねじの締めが
5mm 以下となるまで締め込んでください。

4. ドレンホースは、ユニット内でたるませないよう
注意して勾配をとってください。
5. ドレンホースに市販の硬質塩ビパイプ一般管VP-25
(現地手配)を接続してください。(接着剤使用不可)
6. ドレン配管は下り勾配
(1/100以上)とし、途中山越えやト
ラップを作らないように施工してくだ
さい。



●複数台のドレン配管の場合、

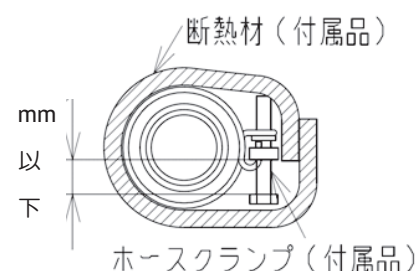
本体ドレン出口より約 100mm 下に集合管が
くるようにようにしてください。
また集合管はVP-30以上を使用してください。



7. ドレン配管の断熱施工を行ってください。

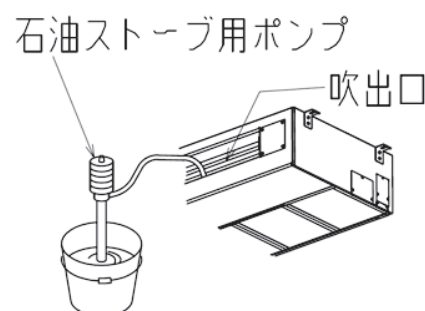
●ドレンホースクランプは付属の断熱材を使用して
断熱してください。

●高湿度の環境で使用する等、ドレン配管に結露する恐れがある場合は、
ドレン配管に断熱材を追加する等結露に対する配慮をしてください。



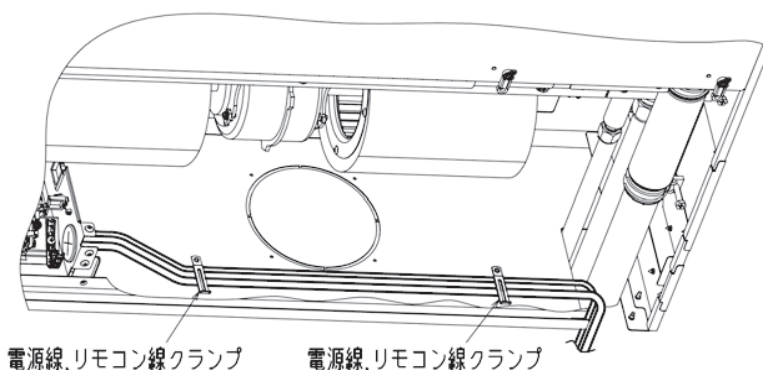
ドレン排水確認

- ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることと、
水漏れのないことを確認してください。
- 暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
- 内蔵ドレンポンプ(別売)使用時は、約 2000cc のドレン水が溜
ります。確認は約 4000cc の水を徐々に入れてください。
ドレンポンプ試運転は、リモコンからまたは室内コントローラ
SW7-1 の切替で強制運転ができます。
(確認後はスイッチの戻し忘れにご注意ください)

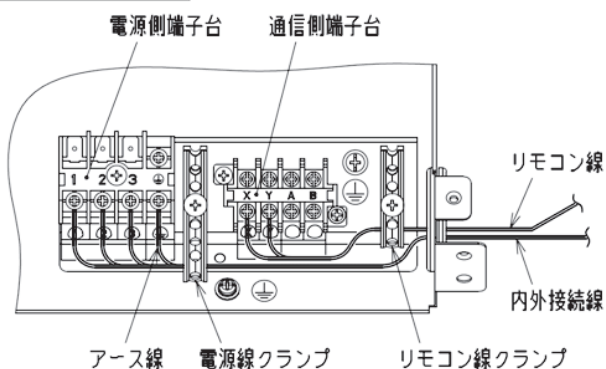


⑦ 電気配線取出し位置および電気配線接続

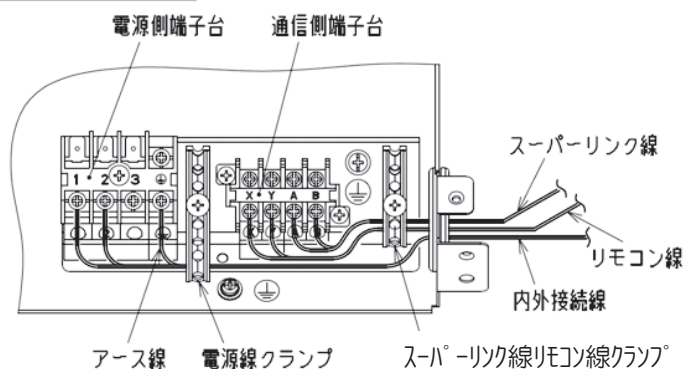
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電気配線工事説明に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
- 電源線と通信線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。



シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続



1. 冷媒配管穴から電源線をユニットに入れ板クランプを曲げて配線がたるみファンガードに接触しない様に固定してください。
2. 各配線を端子台に確実に接続してください。
3. 電源線と信号線を別々にクランプで固定してください。
4. コントロールボックスのカバーは、上側をボックス側に差し込み下面からねじ2本で固定してください。

⑧ スポットダクト取り付け要領

●専用のスポットダクト(別売): 1mを2本まで取り付けることができます。

1. 前面両側の四角いカバーを取り外した後、断熱材を丸く取り除いてください。

断熱材は、円状に切り込みがあり右図○印4箇所につながっています。

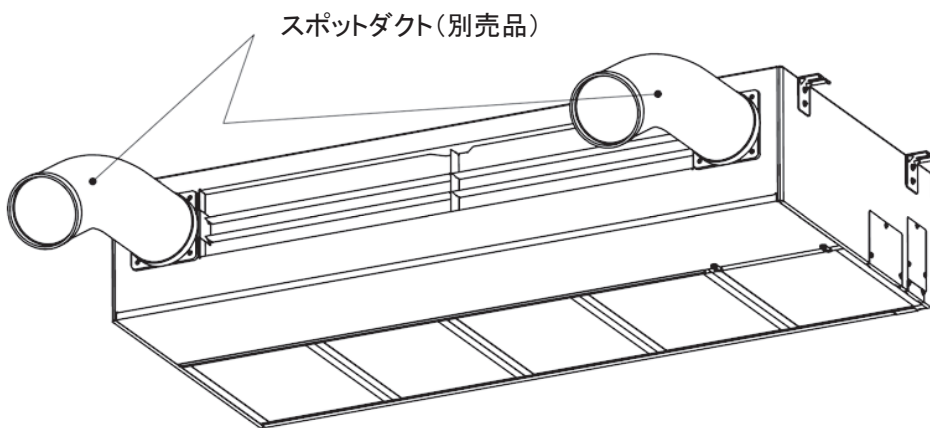
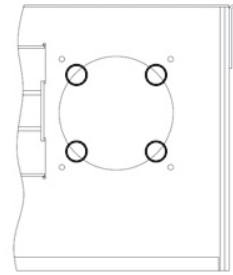
○印部内側をゆっくり押して打ち抜くことができます。

打ち抜いた断熱材は、ユニット内に忘れることなく確実に捨ててください。

2. 1本当たりねじ4本(カバーを取り付けていたねじ)で固定してください。

3. ダクトを曲げる時は、本体側パネルが変形しない様に支えながらゆっくり作業をしてください。

4. ダクトを前方に伸ばす場合など適宜ダクトの荷重を天井から支える様にして、本体側パネルの変形を防止してください。



スポットダクト(別売品)

(別売品)

品名: 吹出しダクト

品番: SAD-10B

仕様: φ125 1m

(伸長時約 1.4m)

1 本

●ダクトの周辺・下部には、濡れて困るものは置かないこと。

使用する環境によってはダクト表面が結露して露が滴下する場合があります。

⑨ 据付けのあとに

1. 配管貫通穴のすき間を埋めて、小動物の侵入を防止してください。

2. 取り外したファンガード(ねじ8本)を元通りに取り付けてください。

3. 取り外したエアフィルタを元通りに取り付けてください。

⑩ ユニット据付工事完了後のチェック項目

●ユニット据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

2. 電気配線工事

PSB012D997A

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「**△警告**」「**△注意**」の意味

△警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
△注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。 絶対に行わない  必ず指示に従い行う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

△警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。感電、故障や動作不良の原因になります。

△注意

- アース（接地）を確実に行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（☐は工場出荷時の設定）

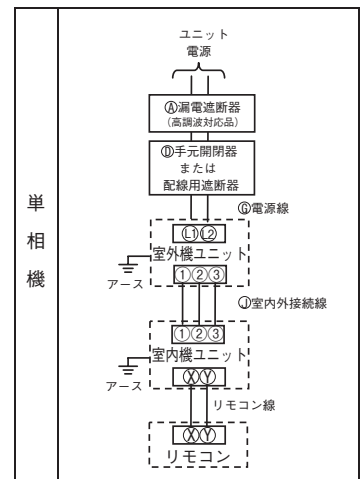
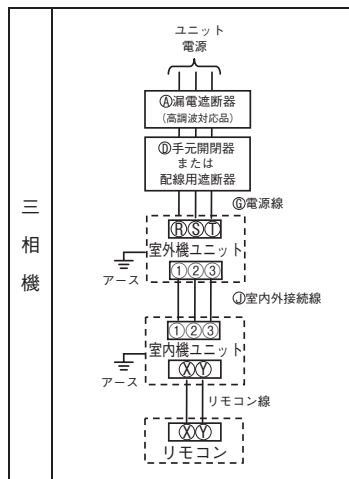
スイッチNo.	制御内容
SW2	室内アドレス(0-Fh)
SW5-1	親/子切換(ブルーラル/子機設定)
SW5-2	
SW6-1~4	機種容量
SW7-1	ON 運転チェック・ドレンポンプ試運転
	OFF 通常運転

①電源・室内外配線の接続

- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
 - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニットへ接続してください。
 - ③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。 注：電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
- 配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。
- 室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。（万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。）
- 天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- リモコン用端子台には、AC200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、リモコン側端子台に接続してください。室内外接続線①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
 - ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。
 - ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。
- 補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認すること。

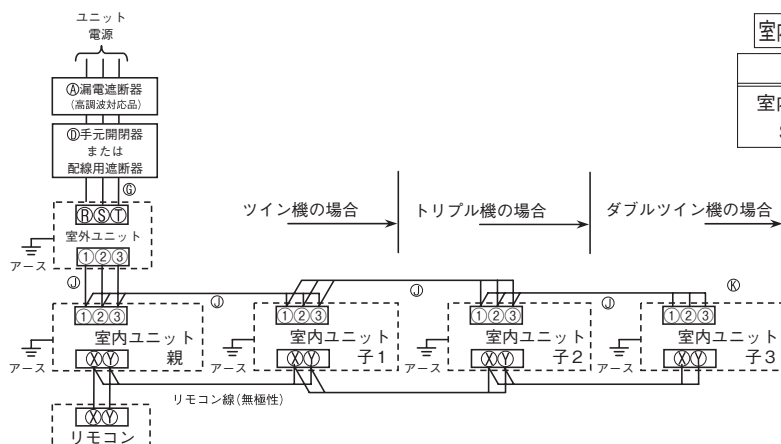
シングル機の結線

- ①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。
- ※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。



ツイン・トリプル・ダブルツイン機の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③及び⑧⑨の同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上のロータリスイッチSW2により、同一冷媒系統すべての室内ユニットを同一アドレスに設定してください。
- ③子室内ユニットは、室内基板上のアドレススイッチSW5-1、SW5-2により、子1～子3に設定してください。
- ④電源投入後、リモコンの「エアコンNo」ボタンを押すと室内ユニットアドレスが表示されますので、▲ ▼ ボタンで接続されている室内ユニットアドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。



室内ユニットの親・子設定方法（工場出荷時「親」設定）

室内ユニット	親	子1	子2	子3
室内基板	SW5-1	OFF	OFF	ON
SW	SW5-2	OFF	ON	OFF

②リモコンの取付け（別売部品）

●次の位置へ取付けないでください。

- 直射日光の当たる所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- 取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

①リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。

②リモコン線は、 $0.3\text{mm}^2 \times 2$ 心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。（現地手配）

③リモコン線の総延長は600mです。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm^2 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

- 100～200m以内・・・ $0.5\text{mm}^2 \times 2$ 心
- 300m以内・・・ $0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心
- 400m以内・・・ $1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心
- 600m以内・・・ $2.0\text{mm}^2 \times 2$ 心

④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。

⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。

⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

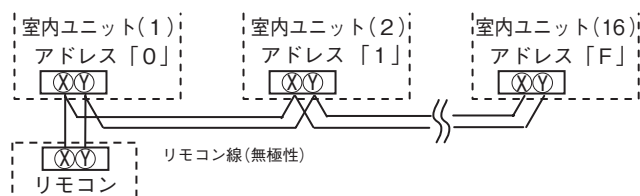
1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

①1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。

同一モード、同一室温設定で運転します。

②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線に渡り配線してください。

③室内基板上的ロータリスイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。



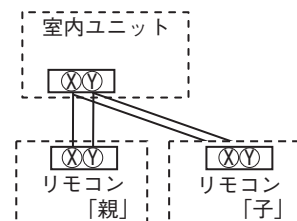
複数リモコン使用時の親子設定

室内1台（又は1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン＋ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

○注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



③リモコンからの操作・確認方法

ecoタッチリモコンから操作

- 1 リモコン系統内の接続ユニットの接続台数を確認します。
ツイン・トリプル・ダブルツイン接続の子機を確認します。

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]

- 2 リモコン系統内の接続ユニットの接続を個別に確認します。
ツイン・トリプル・ダブルツイン接続の親子機の確認はできません。

停止中、[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]
⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]
⇒[個別送風運転]

- 3 親子リモコン設定

[メニュー]⇒[次頁]⇒[リモコン設定]⇒[パスワード]⇒
[リモコン親子設定]

- 4 運転データの確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワ
ード]⇒[運転データ表示]

- 5 点検表示の確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワ
ード]⇒[点検表示]

- 6 リモコンからの冷房試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]
⇒[冷房試運転]⇒[開始]

- 7 リモコンからのドレンポンプ試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]
⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]

標準リモコンから操作

エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、
▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台ずつ確認し
てください。

停止中、エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示され
ますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台
選択⇒[運転切換]を押すと送風運転します。

子リモコンの切換えスイッチ（SW1）を「子」に設定してく
ださい

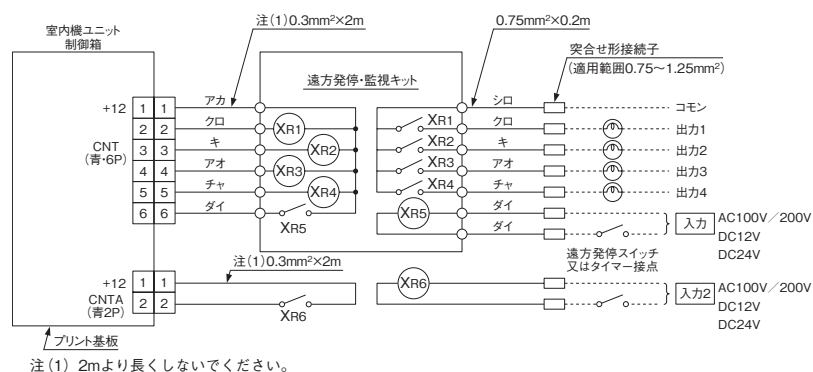
[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室
内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台
選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択

[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示▲⇒
[セット]⇒データ確認中⇒データ表示

- ①[運転/停止]を押して、運転します。
- ②[運転切換]により、「冷房」を選択します。
- ③[試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」と
なります。
- ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房
試運転を開始します。表示は、「冷房試運転」となります。

- ①[試運転]を3秒以上押します。表示が「冷房試運転▼」と
なります。
- ②[▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。
- ③[セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。
表示：「セットで停止」

④室内基板CNTコネクタの機能



- XR1~4はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
- XR5は、DC12、24VまたはAC100、200V
リレー（オムロン製MY2F相当品）
- CNTコネクタ（現地側）メーカー、形式
コネクタ：モレックス製 5264-06
端子：モレックス製 5263T
- 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますので
ご利用ください。
- CNTAコネクタは、FDT他に搭載く仕様書で確認願いま
す>（現地側）メーカー、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製 XAP02V-1-E
端子：日本圧着端子JST製 SXA-01T-P0.6

出力1	エアコン運転出力(エアコンON時XR1=ON)
出力2	暖房出力
出力3	サーモON出力(サーモON時XR3=ON)
出力4	エアコン点検出力(エアコン点検時XR4=ON)
入力	出荷時 XR5 OFF⇒ON エアコン運転
	XR5 ON⇒OFF エアコン停止
※現地切換により、機能・制御が変わります。	
入力2 ※ (FDT他)	出荷時 XR6 OFF⇒ON エアコン運転
	XR6 ON⇒OFF エアコン停止
現地切換により、機能・制御が変わります。	

※室内機能設定参照

⑤リモコンからの操作・設定

A : ecoタッチリモコン付属の取扱説明書を参照してください。
 B : ecoタッチリモコン付属の据付工事説明書を参照してください。
 C : インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。
 ○ : ecoタッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
 △ : ecoタッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
 ※1 RC-DX1、RC-DX1Gには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク			
1 複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内機を接続 制御できます。 室内機側にアドレス設定します。		○
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスオプション)を接続できます。 片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2. TOP画面・SW操作			
1 メニュー	制御・設定・詳細確認等の項目を選択します。3～20項	A	
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3 設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	A	○
4 風向	風向を設定します。 4位置／フリー	A	○
5 風量	風量を設定します。	A	○
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A	○
7 運転／停止SW	運転開始します。／停止します。	A	○
8 ハイパワーSW	ハイパワー運転を開始します。	A	
9 省エネSW	省エネ設定で運転を開始します。	A	
3. 省エネ設定			
1 切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ●設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ●設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2 ピークカットタイマー 管理者パスワード	最大能力を制限することで消費電力を削減します。 制御の開始時刻と終了時刻、能力制限率を設定します。 ●1日最大4パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●能力制限率は0・40～80%(20%単位)から選択可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。	A	
3 設定温度自動復帰 管理者パスワード	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ●暖房モード／冷房モード他 各々設定可能です。 ●設定時間は20～120分まで選択可能です。 ●設定時間は10分単位で設定可能です。	A	△
4. グリル昇降			
1 ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の設定が必要です。	A	○
2 降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ●0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ●設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ●接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
3 ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。 ●回収日を日付設定している場合は次回設定ができます。	A	
5. フリーフロー設定			
フリーフロー設定	各吹出口のルーバの作動範囲(上限位置・下限位置)を設定します。	A	○
6. 換気			
1 換気 換気機器を組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定] の設定が必要です。 ●換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。	A	○

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
7. 見てみて			
見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによって表示できない場合があります。	A	
8. お掃除パネル設定	管理者パスワード		
1 お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。	A	
2 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
3 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
4 ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
5 ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
9. フィルターサインリセット			
1 フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。	A	○
2 次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
10. 初期設定			
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。	A	△
2 時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。	A	
3 サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	A	
4 コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
5 バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	
6 ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。		
11. タイマー設定			
1 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
2 時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。	A	△
3 時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
4 時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。	A	△
5 タイマー設定内容確認	各タイマー設定内容を一覧できます。	A	
12. ウィークリータイマー設定			
1 ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△ △ △
13. るす番運転			
1 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時、お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。	A	

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
14. 管理者設定	管理者パスワード		
1 操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定][言語切換設定※1]	A	△
2 室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。	A	△
3 設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
4 設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。	A	
5 設定温度表示切換※1	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
6 リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示※1)のあり/なしを設定します。	A	○ △
7 管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
15. 言語切換※1	リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語/Englishの選択が可能です。	A	
16. 据付設定	サービスパスワード		
1 据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。	B	
2 サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当※1以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。	B	
3 試運転	試運転の開始/停止を制御できます。		
冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。	B	○
ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。		○
お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合		
周波数固定運転	インバーター圧縮機の運転Hzを固定します。		○
4 グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
5 ダクト機静圧補正※1	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
6 自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
7 親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
17. リモコン機能設定	サービスパスワード		
1 リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
2 吸込センサー制御※1	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。 ●個別/親機/平均の選択が可能です。	B	
3 リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。	B	△
4 リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能	B	△
5 運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	B	△
6 温度単位設定※1	設定温度の単位を設定します。 ●℃/°Fの選択が可能です。	B	
7 ファン速度	ファン速度選択が可能です。	B	○
8 外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。	B	○
9 換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
10 ルーバー制御	[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。	B	○
11 停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
12 設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	B	
13 風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	B	

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
18. 室内機能設定	サービスパスワード		
1 高天井設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
2 フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
3 外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。	B	○
4 外部入力1方式	外部入力1の信号方式を換えられます。	B	○
5 外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。	B	
6 外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。	B	
7 暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。	B	△
8 吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	B	△
9 冷房ファン制御※1	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
10 暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
11 フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
12 フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
13 ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
14 冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
15 暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
16 暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
17 送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
18 外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
19 運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。	B	
20 サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
21 風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
22 室内過負荷アラーム設定※1	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CNT-5)から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
19. サービスメンテナンス	サービスパスワード		
1 エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
2 次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	AB	○
3 運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
4 点検表示			
異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。	B	△
異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。	B	○
異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。	B	
定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。	B	○
5 お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	
6 室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
7 特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。	B	△
20. 困ったときは…			
1 連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2 サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。	A	
21. 点検表示			
点検表示確認	異常発生時の表示	A	△
22. パソコン接続			
USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

3. リモコンの取付

(1) RC - DX2 リモコンの場合

(a) 据付場所

据付方式 「スイッチボックスを使用」, 「壁面に直接据付」

配線方向 「背面」, 「上面中央」, 「上面左」

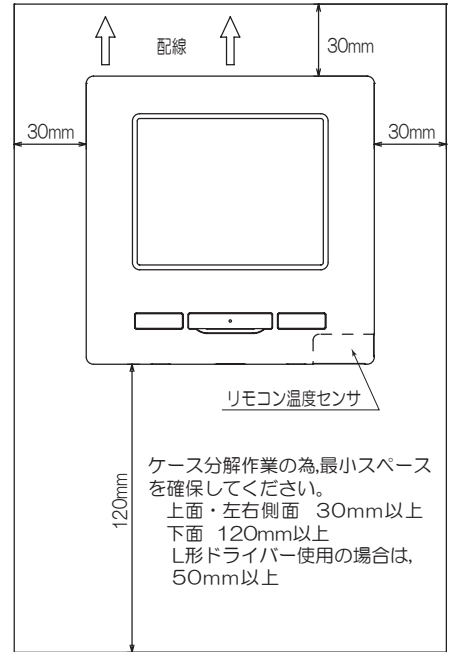
据付場所選定の注意事項

- 1) 据付面が平らで強度を有すること。
リモコンケースが変形しないこと。
- 2) リモコンが正確な室内温度を検知できる所
リモコンの温度センサーを使用して室内温度を検知する場合は、必ず守ってください。
 - ・リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に設置してください。
 - ・リモコンは、熱源の影響を受けない場所に設置してください。
 - ・リモコンは、ドアの開閉による室外空気の影響を受けない場所に設置してください。
- 3) 直射日光やエアコンから吹き出した風が直接あたる場所
- 4) 壁面温度と室内空気温度の差がでない場所
- 5) ラクリーナパネルを採用される場合は、グリルの昇降が確認しやすい場所。

お願い

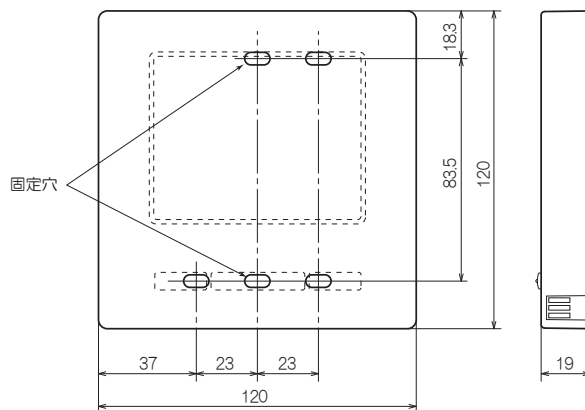
- ・リモコン設置壁面付近の温度と実際の室温と差が大きい場所に据付ないでください。検知した室温と実際の室温に差がでることでトラブルの原因になります。
リモコンの検知温度補正は、検知温度全体を補正するため差を解消することはできません。
- ・直射日光のあたる場所、周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けないこと。
日焼け・変形・誤作動・故障の原因になります。

設置スペース

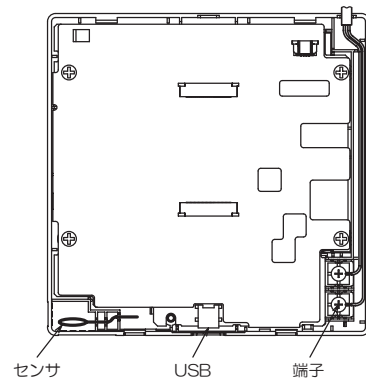


(b) 据付・配線工事

正面から見た取り付け寸法



裏面から見た基板面



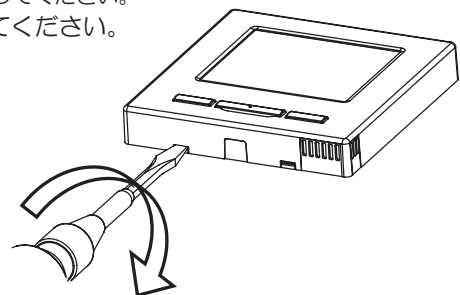
1) リモコンの上下ケースの分離

- ・リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を挿し込んで軽くねじって外してください。

注(1) 取り外した上ケースは、水分・ゴミが付かない様に注意してください。

2) リモコン端子X, Yと室内ユニットの端子X, Yを接続してください。

配線X, Yの極性はありません。

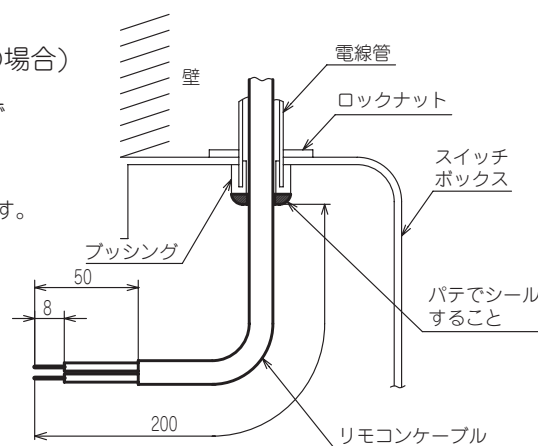


スイッチボックスを使用する場合（配線方向「背面」の場合）

- 1) スwitchボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。

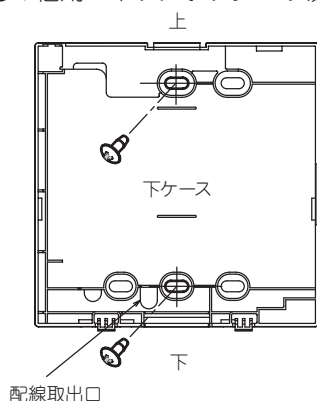
注(1) リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。

露・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

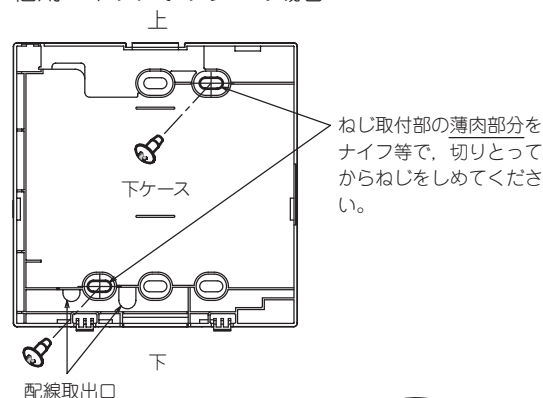


- 2) 下ケースに配線を通した後、スイッチボックスに2箇所固定してください。

● 1 個用スイッチボックスの場合



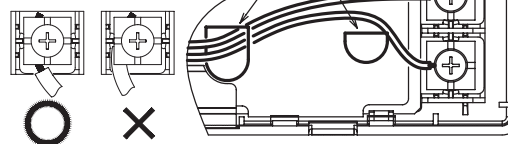
● 2 個用スイッチボックスの場合



- 3) 斜め2箇所固定の場合は、ケース薄肉部をきり欠いてください。
- 4) リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
- 5) リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。

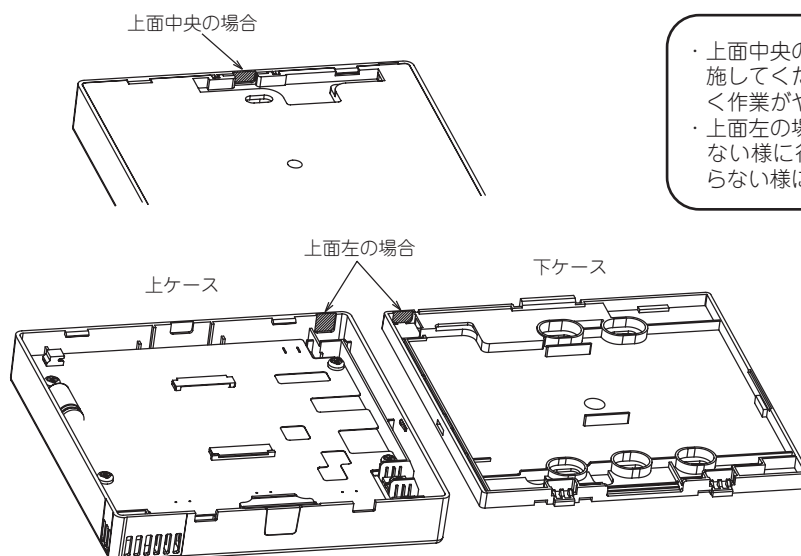
注(1) 配線接続時のご注意

リモコンケース内を通る配線は 0.5mm^2 以下とし、シースをかみこまない様に接続してください。
配線接続は、手締め($0.7\text{N}\cdot\text{m}$ 以下)で行ってください。
電動ドライバを使用すると、故障や変形の原因になることがあります。



スイッチボックスを使用しない場合（配線取出「上面中央」「上面左」の場合）

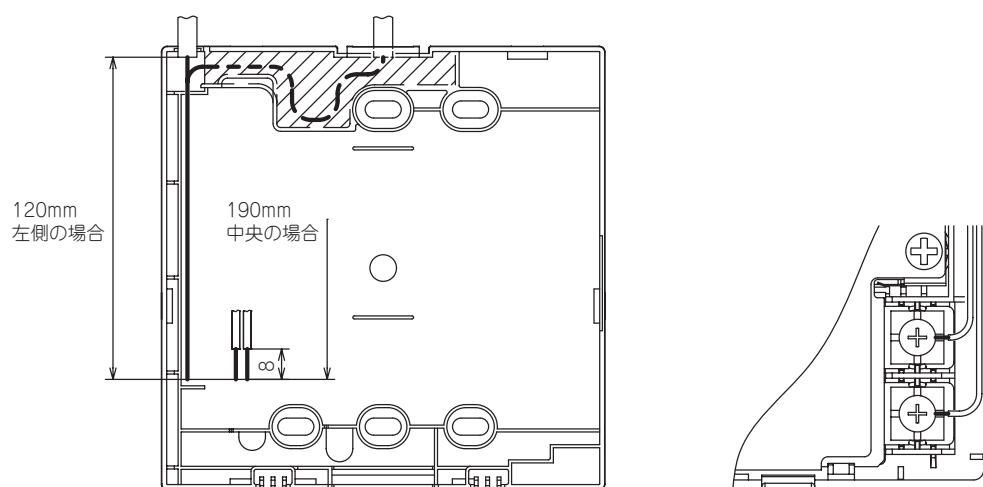
- 1) ケース薄肉部を配線太さに合わせ切欠いてください。



- ・上面中央の場合は、上下ケース分解前に実施してください。基板内部への影響が少なく作業がやり易くなります。
- ・上面左の場合は、基板内部への影響を与えない様に行い、切り取った破片が内部に残らない様に注意してください。

注(1) 切欠き部が大きいと、水分・ホコリ・虫の浸入の原因になります。必要に応じてパテ等で封止してください。

- 2) リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で平らな面に固定してください。
- 3) 上面中央の場合はケース背面に配線を通してください。(斜線部分)
- 4) リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
- 5) リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。



リモコンコードを延長する場合の注意

最大総延長600m

- リモコンコードは $0.3\text{mm}^2 \times 2$ 心です。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm^2 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。

100～200m以内	 $0.5\text{mm}^2 \times 2$ 心
300m以内	 $0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心
400m以内	 $1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心
600m以内	 $2.0\text{mm}^2 \times 2$ 心

(2) RC-D4G リモコンの場合

(a) 取付場所の選定

リモコンを下記の場所に設置しないでください。

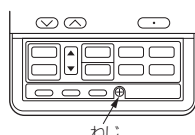
(リモコンの故障や変形の原因になることがあります)

- 1) 直射日光の当たる場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気の多い所・水の掛かる所
- 4) 取付面が発熱・結露する場所
- 5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- 6) 取付面に凹凸がある所

(b) 取付要領

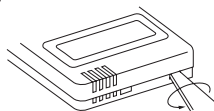
1) 露出取付の場合

- a) リモコンの蓋を開け、スイッチ下部のねじを必ず外してください。



b) リモコンの上ケースをはずしてください。

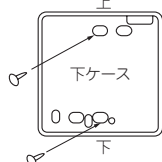
- リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじると、容易にはずれます。



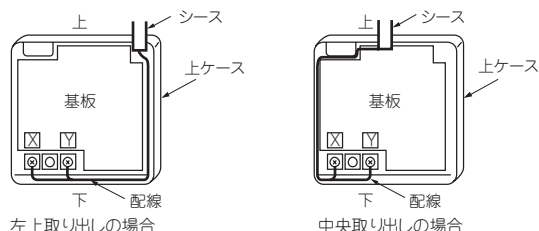
- c) リモコンコードの取出し方向は、上部左上または、中央から可能です。リモコン下ケースの上方の薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。



- d) リモコンの下ケースを付属の木ねじ2本で平らな壁に取り付けます。

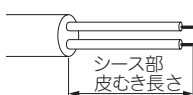


- e) リモコンコードを端子台に接続してください。リモコンの端子(X,Y)と室内ユニットの端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません) 取出し方向によって、配線経路は下図の通りとなります。



- リモコン内部のリモコンコードは、0.3mm²(推奨)～最大0.5mm²以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

左上取り出しの場合	中央取り出しの場合
X配線：215mm	X配線：170mm
Y配線：195mm	Y配線：190mm



- f) リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。

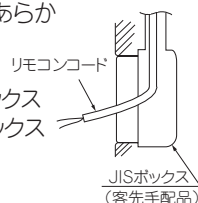
- g) 露出取付けの場合は、リモコンコードがたるまないようにコードクランプ等で壁面に固定します。

2) 埋込取付の場合

- a) JISボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。

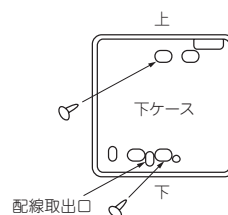
[使用可能なJISボックス]

- JIS C 8340 1個用スイッチボックス
- 2個用スイッチボックス

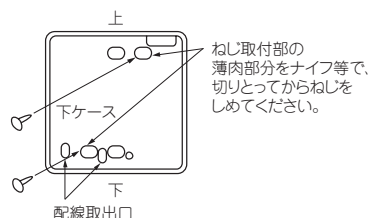


- b) M4ねじ2本(推奨長さ12～16mm)を用意して、下ケースをJISボックスに取り付けてください。

1個用スイッチボックスの場合

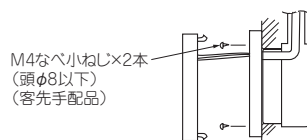


2個用スイッチボックスの場合



- c) リモコンコードを端子台に接続してください。リモコンの端子(X,Y)と室内ユニットの端子(X,Y)とを接続してください。(X,Yの極性はありません) 取出し方向およびリモコン内部配線については、露出取付の項をご覧ください。

- d) リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通り取付け、外したねじで固定してください。



リモコンコードを延長する場合の注意

最大総延長600m

- リモコンコードは0.3mm²×2心です。

延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。

- 100～200m以内………0.5mm²×2心
- 300m以内………0.75mm²×2心
- 400m以内………1.25mm²×2心
- 600m以内………2.0mm²×2心

4. リモコンによる機能設定

(1) RC - DX2 リモコンの場合

(a) 室内ユニットの機能や用途に合わせ、リモコンより機能設定をすることができます。

リモコンより設定可能な項目は下記の通りです。

(b) 機能設定のながれ(画面タッチ操作により行なう)

TOP画面より → 「メニュー」 → 各項目へ

(c) 機能設定のクリア

TOP画面より → 「メニュー」 → 「サービス・メンテナンス」 → 「特殊操作」 → 「初期化設定」を選択することにより、接続されているリモコン・室内ユニットの設定データが初期値(工場出荷時)になります。

(d) 詳細については、次ページ以降をご覧ください。

1) 画面の流れ



2) 機能設定一覧

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

設定および表示項目		詳細内容
1. リモコンネットワーク		
1	複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内機を接続、制御できます。 室内機側にアドレス設定します。
2	親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスオプション)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。
2. TOP画面・SW操作		
1	メニュー	制御・設定・詳細確認等の項目を選択します。3～20項
2	運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿 を設定します。
3	設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。
4	風向	風向を設定します。 4位置／フリー
5	風量	風量を設定します。
6	タイマー設定	タイマー運転を設定します。
7	運転／停止SW	運転開始します。／停止します。
8	ハイパワーSW	ハイパワー運転を開始します。
9	省エネSW	省エネ設定で運転を開始します。
3. 省エネ設定		
1	切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ●設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ●設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。
2	ピークカットタイマー 管理者パスワード	最大能力を制限することで消費電力を削減します。 制御の開始時刻と終了時刻、能力制限率を設定します。 ●1日最大4パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●能力制限率は0・40～80%(20%単位)から選択可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。
3	設定温度自動復帰 管理者パスワード	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ●暖房モード／冷房モード他 各々設定可能です。 ●設定時間は20～120分まで選択可能です。 ●設定時間は10分単位で設定可能です。
4. グリル昇降		
1	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作] の設定が必要です。
2	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ●0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ●設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ●接続室内ユニット毎に設定できます。
3	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。 ●回収日を日付設定している場合は次回設定ができます。
5. フリーフロー設定		
	フリーフロー設定	各吹出口のルーバの作動範囲(上限位置・下限位置)を設定します。
6. 換気		
1	換気 換気機器を組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定] の設定が必要です。 ●換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。

設定および表示項目		詳細内容
7.	見てみて	
	見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによって表示できない場合があります。
8.	お掃除パネル設定	管理者パスワード
1	お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。
2	清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。
3	清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。
4	ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。
5	ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。
9.	フィルターサインリセット	
	フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。
	次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。
10.	初期設定	
1	時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。
2	時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。
3	サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。
4	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。
5	バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。
6	ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。
11.	タイマー設定	
1	時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
2	時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。
3	時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切換が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
4	時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切換が可能です。
12.	ウィークリー タイマー設定	
1	ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
13.	るす番運転	
1	るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時、お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。

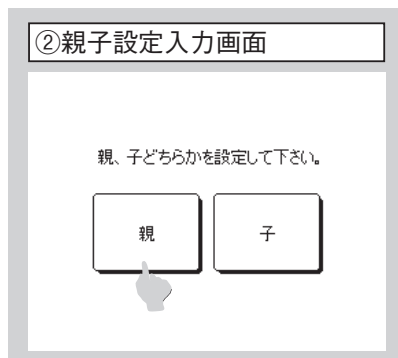
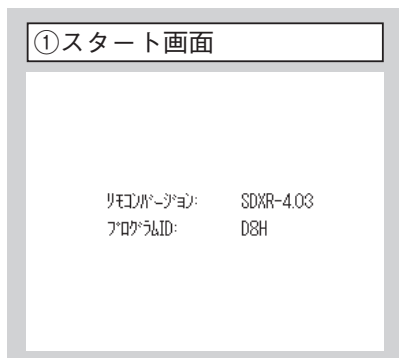
設定および表示項目	詳細内容
14. 管理者設定	管理者パスワード
1 操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定][言語切換設定]
2 室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。
3 設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。
4 設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。
5 設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切り換えます。
6 リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示)のあり/なしを設定します。
7 管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。
15. 言語切換	リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語/Englishの選択が可能です。
16. 据付設定	サービスパスワード
1 据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。
2 サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。
3 試運転	試運転の開始/停止を制御できます。
冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。
ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。
お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合
周波数固定運転	インバーター圧縮機の運転Hzを固定します。
4 グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合
5 ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。
6 自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。
7 親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。
17. リモコン機能設定	サービスパスワード
1 リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。
2 吸込センサー制御	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。 ●個別/親機/平均の選択が可能です。
3 リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。
4 リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能
5 運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。
6 温度単位設定	設定温度の単位を設定できます。 ●℃/°Fの選択が可能です。
7 ファン速度	ファン速度選択が可能です。
8 外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。
9 換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。
10 ルーバー制御	[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。
11 停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。
12 設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。
13 風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。

設定および表示項目		詳細内容
18.	室内機能設定	サービスパスワード
1	高天井設定	室内ユニットの風量タップを設定します。
2	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。
3	外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。
4	外部入力1方式	外部入力1の信号方式を換えられます。
5	外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。
6	外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。
7	暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。
8	吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。
9	冷房ファン制御	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
10	暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
11	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。
12	フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。
13	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。
14	冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
15	暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
16	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。
17	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。
18	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。
19	運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。
20	サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。
21	風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。
22	室内過負荷アラーム設定	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、過負荷アラーム信号を送信します。
19.	サービスマンテナンス	サービスパスワード
1	エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。
2	次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。
3	運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。
4	点検表示	
	異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。
	異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。
	異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。
	定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。
5	お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。
6	室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。
7	特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。
20.	困ったときは・・・	
1	連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。
2	サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。
21.	点検表示	
	点検表示確認	異常発生時の表示
22.	パソコン接続	
	USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。

1. 電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

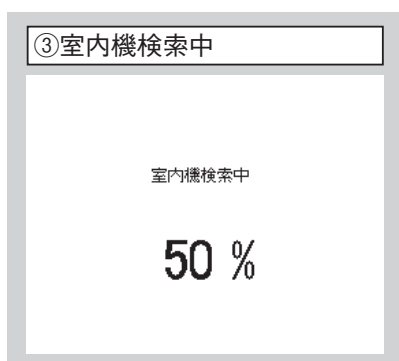
- (1) 親子が設定されていない場合、①⇒②親子入力画面を表示します。
枠で囲まれた「親」「子」どちらかをタッチしてください。 初期設定作業を開始します。
誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。
- (2) リモコンの親子が設定されている場合、⑥設定継続確認画面を表示します。
- (3) ecoタッチリモコン2個の親子の場合、1個目を「親」で設定開始すると2個目は自動で「子」になります。



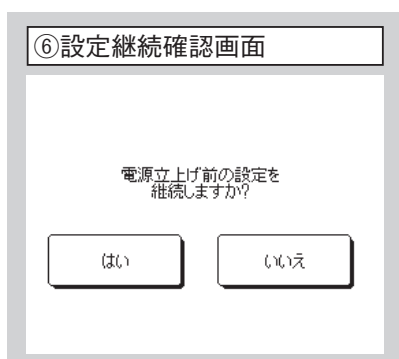
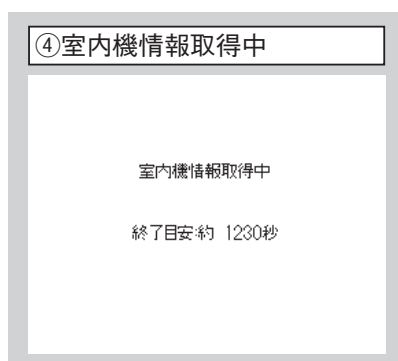
「親」⇒③⇒④⇒⑤
「子」⇒①⇒⑧⇒⑤

ご注意

リモコン 1 台の場合は、「親」をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。
複数リモコンの場合は、片方の設定で、設定作業を開始します。

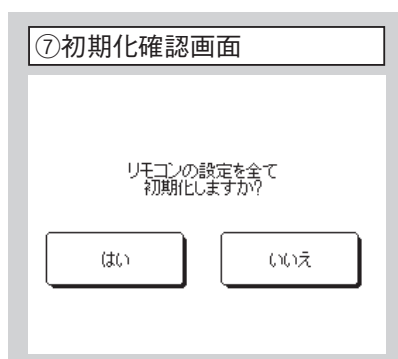


通信が 10 分間確定しない場合、赤 LED が点滅します。



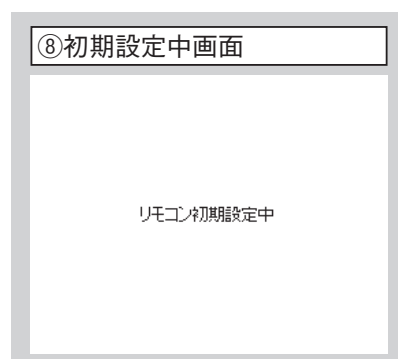
「はい」 継続 ⇒⑧⇒⑤
「いいえ」 変更 ⇒⑦

表示 15 秒間タッチされない場合は「はい」継続を認識して⑤画面に変わります



「はい」⇒①⇒②
「いいえ」⇒⑥

初期化すると出荷状態に戻ります。



ラクリーナパネルを採用のお客様へ

【2. 据付設定 ⑦グリル昇降操作設定】を行ってください。

2. 据付設定 試運転

TOP画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ 据付設定

① TOP 画面

16:14(月)

冷房
設定温度
23.0℃
風向

タイマー設定
停止しています。
変更はパネルをタッチしてください。

メニュー

[メニュー] ボタンをタッチしてください。

②メニュー画面 # 1

メニュー

省エネ設定
グリル昇降
フリーフロー設定
換気
見てみて

次ページ 戻る

操作を選択してください。

③メニュー画面 # 2

メニュー

お掃除パネル設定
フィルターサインリセット
初期脂設定
タイマー設定
ウィークリータイマー

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

④メニュー画面 # 3

メニュー

るす番運転
管理者設定
据付設定
リモコン設定
室内設定

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

[据付設定] ボタンをタッチしてください。

⑤サービスパスワード入力

パスワード入力

サービスパスワードを入力してください。

0 1 2 3 4 削除
5 6 7 8 9 セット

4桁の数字を入力してください。 戻る

サービスパスワードは9999です。

⑥据付設定メニュー # 1

据付設定

据付日登録 ←8
サービス情報入力 ←9
試運転 ←12
グリル昇降操作 ←17
ダクト機静圧補正 ←18

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑦据付設定メニュー # 2

据付設定

自動アドレス変更 ←19
親室内機アドレス設定 ←21
バックアップ制御 ←22

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑧据付日登録

据付日登録

▲ ▲ ▲
2010/1/1
▼ ▼ ▼

年月日を設定してください。 セット 戻る

[▲] [▼] で設定してください。
[セット] で登録されます。

⑨サービス情報入力

サービス情報入力

連絡先名 ←10
連絡先TEL ←11

戻る

操作を選択してください。

お客様がサービスを依頼される際の
連絡先を入力してください。

⑩連絡先名登録

連絡先名

カナ 英字 数字 漢字

A B C D E F G H I
J K L M N O P Q R

削除 次 戻る

名称を入力してください。

連絡先名を半角26文字相当以内
で入力し、[セット] ボタンをタッ
チしてください。

⑪連絡先TEL登録

連絡先TEL

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 9 9 9 -

0 1 2 3 4 削除
5 6 7 8 9 セット

電話番号を入力してください。 戻る

連絡先電話番号を13文字以内で
入力し、[セット] ボタンをタッチ
してください。

⑫試運転

試運転

冷房試運転 ←13
ドレンポンプ試運転 ←14
お掃除試運転 ←15
周波数固定運転 ←16

戻る

操作を選択してください。

試運転は、冷房運転中及び停止中に操
作可能です。周波数固定運転は、運転
中及び停止中に操作可能です。

2. 据付設定 試運転（つづき）

⑬冷房試運転

冷房試運転

開始

開始をタッチすると
冷房5℃で30分間試運転します。
30分経過後は、TOP画面で運転/停止、
運転モード、設定温度を変更すると
試運転を終了します。

戻る

室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を30分間5℃に下げて運転します。

⑭ドレンポンプ試運転

ドレンポンプ試運転

運転 停止

操作を選択してください。

戻る

ドレンポンプのみで運転が可能です。

⑮お掃除試運転

お掃除試運転

フィルタ清掃
ブランク清掃

戻る

操作を選択してください。

フィルタ自動清掃機能付 お掃除パネルを組合せの場合に操作できます。
お掃除パネルの説明書をご覧ください。

ラクリーナパネル設定

⑯周波数固定運転

周波数固定運転

▲ ▲ ▲ ▲ 開始
0 1 0 . 0 Hz 解除
▼ ▼ ▼ ▼

操作を選択してください。

戻る

インバータ室外ユニットの運転周波数を固定する事ができます。
[開始] ボタンより開始します。
室外ユニットにより有効に制御できない場合があります。

⑰グリル昇降操作設定

グリル昇降操作

無効
有効50Hz
有効60Hz

操作を選択してください。

戻る

自動昇降パネルを組合せに関する設定を行ってください。
組合せの際は、据付場所電源周波数をタッチしてください。

⑱ダクト静圧補正

ダクト静圧補正

▲ ▼ AUTO
10 Pa セット
▼ ▲

▲▼で補正值の変更ができます。

戻る

機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットに組み合わせの場合に操作できます。
機外静圧を選択し、[セット]をタッチしてください。
[AUTO] ボタンを選択し、[セット]をタッチすると、室内ユニットが自動で静圧設定を行います。
※機種により自動静圧設定ができない機種もあります。

⑲自動アドレス変更

自動アドレス変更

確定

室内機No.	室外機No.
000 ⇒ 001	00 ⇒ 01
001	00 ⇒ 01
002	00
003 ⇒ 004	00
004	01
005	01

変更 次ページ 戻る

変更する室内機を選択してください。

⑳自動アドレス変更

自動アドレス変更

室内機 No.2 接続室外機 No.0

003 ▲ ▼ 01 ▲ ▼ セット

▲▼でアドレスを選択してください。

戻る

㉑親室内機アドレス設定

親室内機アドレス設定

127 ▲ ▼ 解除 セット

▲▼でアドレスを選択してください。

戻る

個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。
室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して
[変更] をタッチすると右の新アドレス入力画面に変わります。
[セット] をタッチすると左画面に戻り新アドレスが表示されます。
[確定] をタッチすると登録されます。

個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ、冷房・暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

2. 据付設定 試運転 (つづき)

②バックアップ制御

バックアップ制御

ローテーション

キャパシティバックアップ

フォルトバックアップ

操作を選択してください。

1 台のリモコンに室内ユニット 2 台 (2 グループ) が接続されている時に、以下の制御が可能です。

- ①ローテーション：2 台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
- ②キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を 1 台⇔2 台へ切り換えます。
- ③フォルトバックアップ：室内ユニット 2 台中 1 台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう 1 台の室内ユニットが運転を開始します。

[有効 / 無効] を選択し ([無効] をタッチすると [有効] に変わります。)、[登録] ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。

③ローテーション詳細設定

運転切換時間設定

100 時間

▲▼で時間を選択してください。

ローテーションの運転を切り換える時間を設定します。

10 ~ 990 時間の間で 10 時間刻みで設定可能です。設定後バックアップ制御画面に戻って [登録] をタッチしてください。

④キャパシティバックアップ詳細設定

運転開始温度差設定

5℃

▲▼で温度の変更ができます。

キャパシティバックアップの 1 台⇔2 台を切り換える設定温度と室温の温度差を設定します。

2 ~ 5℃の間で 1℃刻みで設定可能です。設定後バックアップ制御画面に戻って [登録] をタッチしてください。

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバックアップ制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内機 2 台 (2 グループ) の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内機が先に運転開始します。

お知らせ

日常使用に関する下記設定は、取扱説明書・技術資料を参照してください。

初期設定

時刻設定 時刻表示設定 サマータイム補正 コントラスト バックライト ブザー音

省エネ設定

切忘れタイマー ピークカットタイマー 温度設定自動復帰

フリーフロー設定

タイマー設定

時間入 時間切 時刻入 時刻切 タイマー設定内容の確認 ウィークリータイマー

るす番運転

管理者設定

操作制限設定 室外清音タイマー設定 設定温度の範囲設定 温度設定刻み切換 設定温度表示切換
リモコン表示設定 管理者パスワード

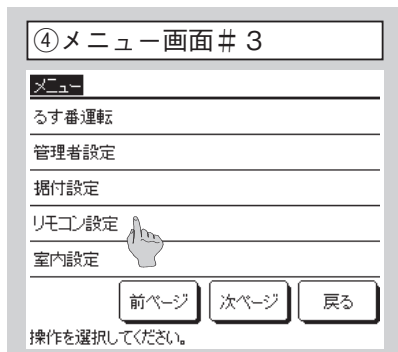
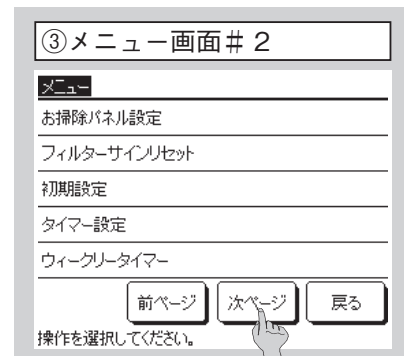
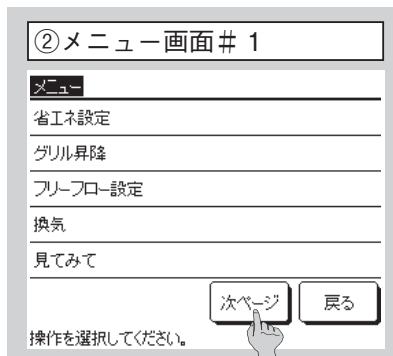
3. リモコン機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

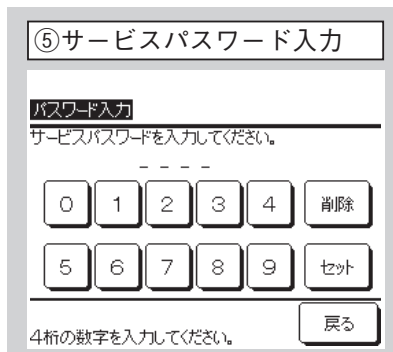
TOP 画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ リモコン設定



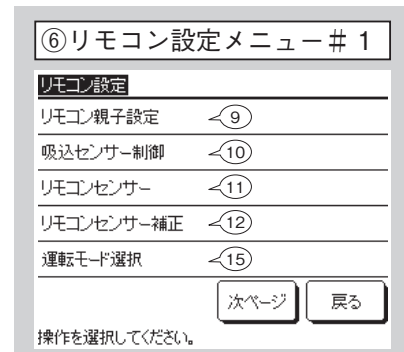
【メニュー】ボタンをタッチしてください。



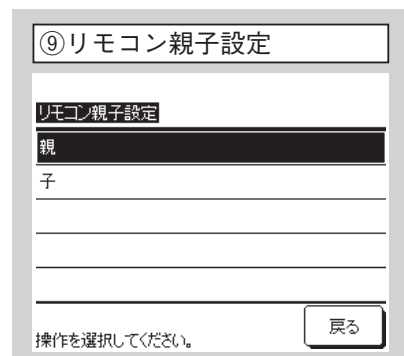
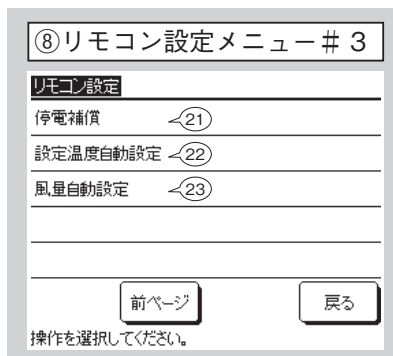
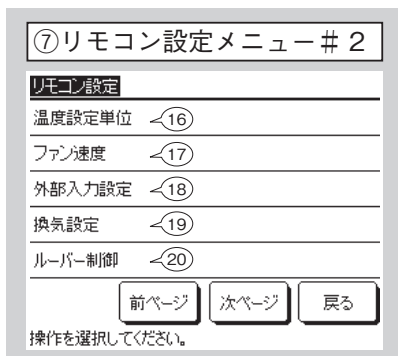
【リモコン設定】ボタンをタッチしてください。



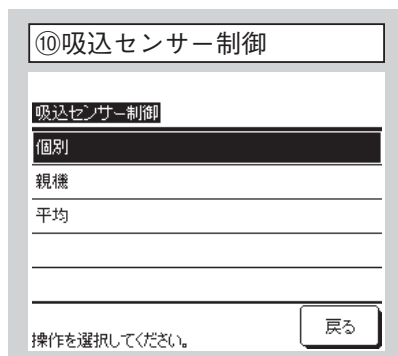
サービスパスワードは 9999 です。



選択した画面に移ります。



リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。



室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。
1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

① 個別：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーフラル接続されている場合はプルーフラル親機の吸込温度を基準とします。

② 親機：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。

1 台のリモコンに、プルーフラル接続が複数接続されている場合は、プルーフラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。

③ 平均：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

3. リモコン機能設定 (つづき)

⑪ リモコンセンサー

リモコンセンサー

無効

有効

有効(暖房のみ)

有効(冷房のみ)

操作を選択してください。

戻る

お知らせ

リモコンセンサー有効中

(1) 室温表示は、リモコンセンサー検知温度になります。

⑫ リモコンセンサー補正

リモコンセンサー補正

冷房時補正 <⑬

暖房時補正 <⑭

操作を選択してください。

戻る

室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。

[無効] 本体側センサーになります。

[有効] リモコン側センサーになります。

[有効(暖房のみ)] 暖房中リモコン側、暖房以外で運転中は本体側になります。

[有効(冷房のみ)] 暖房以外で運転中はリモコン側、暖房中本体側になります。

リモコンセンサー検知温度の補正ができます。

[冷房時補正] ⇒ ⑬ 画面へ

[暖房時補正] ⇒ ⑭ 画面へ

⑬ 冷房時補正

冷房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1℃

▲

▼

セット

戻る

冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。

－3～＋3の範囲で設定します。

⑭ 暖房時補正

暖房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

0℃

▲

▼

セット

戻る

暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。

－3～＋3の範囲で設定します。

⑮ 運転モード

運転モード選択

自動	無効	有効
冷房	無効	有効
暖房	無効	有効
除湿	無効	有効

設定を選択してください。

セット

戻る

各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。

冷房又は暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

⑯ 温度設定単位

温度設定単位

℃

°F

操作を選択してください。

戻る

設定温度の単位を設定します。

⑰ ファン速度

ファン速度

4速

3速

2速(急-弱)

2速(急-強)

1速

操作を選択してください。

戻る

ファン速度選択の変更が可能です。

室内ユニットにより対応できない場合があります。

⑱ 外部入力方式

外部入力設定

個別

全台

操作を選択してください。

戻る

1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnTの入力の適用範囲が設定されます。

[個別] CnT入力された室内ユニットのみに適用されます。

[全台] リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

3. リモコン機能設定 (つづき)

①⑨換気設定	
換気設定	
無効	☒
連動	☐
単独操作	☐
操作を選択してください。	
戻る	

換気組合せが設定されます。
[無効] 接続無し
[連動] エアコン運転／停止に、換気も連動します。
[単独操作] メニューから換気を選択により換気単独で運転／停止します

②⑩ルーバー制御	
ルーバー制御	
4位置停止	☒
フリー停止	☐
操作を選択してください。	
戻る	

[4 位置停止] 吹出ルーバーを 4 段階で設定可能
[フリー停止] リモコン SW 操作直後の位置に停止します。

②⑪停電補償	
停電補償	
有効	☐
無効	☒
操作を選択してください。	
戻る	

運転中に停電した場合、
[有効] 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。
[無効] 停電復旧後、停止します。

②②設定温度自動	
設定温度自動設定	
有効	☐
無効	☒
操作を選択してください。	
戻る	

[有効] 室温設定画面から自動の選択が可能になります。
[無効] 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

②③風量自動設定	
風量自動設定	
有効	☐
無効	☒
操作を選択してください。	
戻る	

[有効] 風量設定画面から自動の選択が可能になります。
[無効] 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

4. 室内機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP 画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ 室内設定

① TOP 画面

16:14(月)

冷房
設定温度
23.0℃
風向
タイマー設定
停止しています。
変更はパネルをタッチしてください。

[メニュー] ボタンをタッチしてください。

②メニュー画面 # 1

メニュー
省エネ設定
グリル昇降
フューロー設定
換気
見てみて
次ページ 戻る
操作を選択してください。

③メニュー画面 # 2

メニュー
お掃除パネル設定
フィルターサインリセット
初期設定
タイマー設定
ウィークリータイマー
前ページ 次ページ 戻る
操作を選択してください。

④メニュー画面 # 3

メニュー
るす番運転
管理者設定
据付設定
リモコン設定
室内設定
前ページ 次ページ 戻る
操作を選択してください。

⑤サービスパスワード入力

パスワード入力
サービスパスワードを入力してください。
- - - -
0 1 2 3 4 削除
5 6 7 8 9 セット
戻る
4桁の数字を入力してください。

[室内設定] ボタンをタッチしてください。

サービスパスワードは 9999 です。

⑥室内機選択

室内機選択
メニュー
000 001 002 003
004 005 006 007
全台 次ページ 戻る
室内機No.を選択してください。

⑦室内機選択 2

室内機選択
メニュー
008 009 010 011
012 013 014 015
全台 前ページ 戻る
室内機No.を選択してください。

⑧室内設定メニュー 1

データ読込中です。しばらくお待ちください。
⌚

複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
[アドレス] 各室内ユニット毎に個別設定されます。
[全台] 全台同一設定されます。

室内ユニットからデータ受信後⑨へ

⑨室内設定メニュー # 1

室内設定
高天井設定 <14
フィルターサイン <15
外部入力1設定 <16
外部入力1方式切換 <17
外部入力2設定 <18
次ページ 戻る
操作を選択してください。

⑩室内設定メニュー # 2

室内設定
外部入力2方式切換 <19
暖房室温補正 <20
吸込温度補正 <21
冷房ファン制御 <22
暖房ファン制御 <23
前ページ 次ページ 戻る
操作を選択してください。

⑪室内設定メニュー # 3

室内設定
フロスト防止温度 <24
フロスト防止制御 <25
ドレンポンプ運転 <26
冷房ファン残留運転 <27
暖房ファン残留運転 <28
前ページ 次ページ 戻る
操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

4. 室内機能設定 (つづき)

⑫室内設定メニュー # 4

室内設定

暖房ファン間欠 <29>
送風サーモ運転 <30>
外調機設定 <31>
運転モード自動設定 <32>
サーモ判定切換 <37>

前ページ

次ページ

戻る

操作を選択してください。

⑬室内設定メニュー # 5

室内設定

風量自動切換 <39>
室内過負荷アラーム <40>

前ページ

戻る

操作を選択してください。

⑭高天井設定

高天井設定

標準

高天井1

高天井2

戻る

操作を選択してください。

室内ユニットの風量タップを設定します。組合せ室内ユニットにより対応しない場合があります。

⑮フィルターサイン

フィルターサイン

表示なし

設定1

設定2

設定3

設定4

戻る

操作を選択してください。

フィルターサイン点灯時間を設定します。

	標準	FDTお掃除
表示なし	無し	無し
設定 1	180Hr	1,00Hr
設定 2	600Hr	2,000Hr
設定 3	1,000Hr	2,500Hr
設定 4	1,000Hr後 運転停止	2,500Hr後 運転停止

⑯外部入力1設定

外部入力1設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

戻る

操作を選択してください。

室内ユニット CnT 入力時の制御を設定します。
詳細は、技術資料を参照願います。

⑰外部入力1方式

外部入力1方式切換

レベル入力

パルス入力

戻る

操作を選択してください。

室内ユニット CnT への入力信号方式を設定します。
詳細は、技術資料を参照願います。

⑱外部入力2設定

外部入力2設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

戻る

操作を選択してください。

外部入力2を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。
詳細は、技術資料を参照願います。

⑲外部入力2方式

外部入力2方式切換

レベル入力

パルス入力

戻る

操作を選択してください。

⑳暖房室温補正

暖房室温補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+2.0℃

▲

▼

セット

戻る

暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃ / +1℃ / +2℃ / +3℃

㉑吸込温度補正

吸込温度補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1.5℃

▲

▼

セット

戻る

本体吸込センサー検知温度を補正します。
-2℃ / -1.5℃ / -1℃ / 0℃ /
+1℃ / +1.5℃ / +2℃

㉒冷房ファン制御

冷房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

戻る

操作を選択してください。

冷房サーモ OFF 中のファン速度設定
[弱風] 弱風運転
[設定風量] サーモ ON 中と同風量
[間欠] 2分 Lo(ULo) 運転 / 5分停止
[停止] 停止

4. 室内機能設定 (つづき)

②③暖房 ファン制御

暖房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

操作を選択してください。

戻る

暖房サーモ OFF 中のファン速度設定
 [弱風] 弱風運転
 [設定風量] サーモ ON 中と同風量
 [間欠] 2 分 Lo (ULo) 運転 / 5 分停止
 [停止] 停止

②④フロスト防止温度

フロスト防止温度

温度 低

温度 高

操作を選択してください。

戻る

フロスト防止制御温度の切替ができます。

②⑤フロスト防止制御

フロスト防止制御

有効

無効

操作を選択してください。

戻る

フロスト防止制御後、ファン速度が
 [有効] アップします。
 [無効] 変化しません。

②⑥ドレンポンプ運転

ドレンポンプ運転

通常

暖房時連動運転

暖房 / 送風時連動運転

送風時連動運転

操作を選択してください。

戻る

[通常] 冷房・除湿時に運転
 [暖房時連動] 通常 + 暖房
 [暖房 / 送風時連動] 全運転中
 [送風時連動] 通常 + 送風

②⑦冷房ファン残留運転

冷房ファン残留運転

なし

設定 1

設定 2

設定 3

操作を選択してください。

戻る

冷房運転、停止又はサーモOFF後の
 残留時間を設定します。
 設定 1 : 0.5 時間
 設定 2 : 2 時間
 設定 3 : 6 時間

②⑧暖房ファン残留運転

暖房ファン残留運転

なし

設定 1

設定 2

設定 3

操作を選択してください。

戻る

暖房運転、停止又はサーモOFF後の
 残留時間を設定します。
 [設定 1] 0.5 時間
 [設定 2] 2 時間
 [設定 3] 6 時間

※残留時間が異なる場合があります。

②⑨暖房ファン間欠

暖房ファン間欠

非連動

20分停止5分送風

5分停止5分送風

操作を選択してください。

戻る

暖房運転、停止又はサーモOFF後の
 ファン制御を設定します。
 [非連動] 停止
 [20分停止 5分送風] 25分毎に条件
 チェックして 5 分送風
 [5分停止 5分送風] 10分毎に条件
 チェックして 5 分送風

③⑩送風サーモ運転

送風サーモ運転

無効

有効

操作を選択してください。

戻る

サーキュレーター運転として使用する場合
 [無効] 送風時連続運転
 [有効] 送風時リモコンと本体の温度
 差を見て送風運転 / 停止します。

③⑪外調機設定

外調機設定

圧力制御標準

圧力制御切替

操作を選択してください。

戻る

マルチシステムにて、外調機の場合
 に設定します。
 [圧力制御標準] 通常
 [圧力制御切替] 運転中の室内ユ
 ニットが全て、この設定の場合、
 圧力制御値が変わります。

4. 室内機能設定 (つづき)

③② 運転モード自動設定

運転モード自動設定

自動1・2・3切替 (33)

自動1関連設定 (34)

自動2関連設定 (35)

自動3関連設定 (36)

戻る

操作を選択してください。

③③ 自動1・2・3切替

自動1・2・3切替

自動1

自動2

自動3

戻る

操作を選択してください。

自動運転、冷房／暖房切替方式を3方式から選択できます。
各方式の条件を設定をします。

③④ 自動1関連設定

自動1関連設定

冷房切替温度 (37)

暖房切替温度 (38)

戻る

操作を選択してください。

設定温度－冷房切替温度
＜室内吸込温度の場合
⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切替温度
＞室内吸込温度の場合
⇒運転モード：暖房

冷房／暖房の切替温度を設定します。
切替わり温度は1～4℃の範囲で
設定できます。

③⑤ 自動2関連設定

自動2関連設定

冷房切替温度 (37)

暖房切替温度 (38)

冷房室外温度 (39)

暖房室外温度 (40)

戻る

操作を選択してください。

「設定温度－冷房切替温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切替温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房

冷房／暖房の切替温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

③⑥ 自動3関連設定

自動3関連設定

冷房室外温度 (39)

暖房室外温度 (40)

冷房室内温度 (41)

暖房室内温度 (42)

戻る

操作を選択してください。

「設定した冷房室内温度＜室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度＜室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：冷房

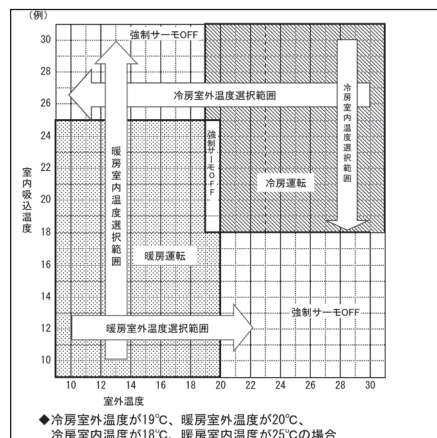
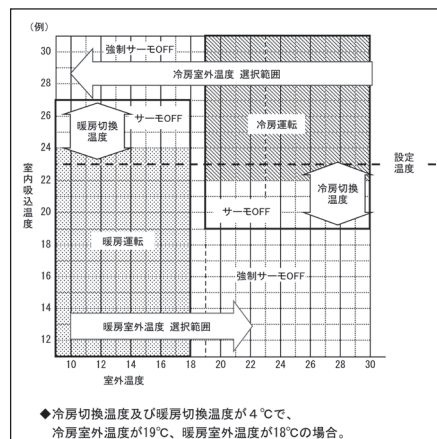
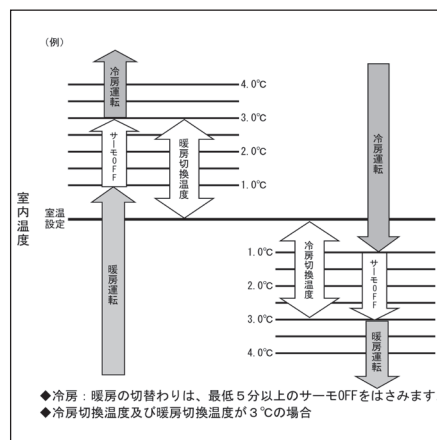
「設定した暖房室内温度＞室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度＞室外吸込温度」の場合
⇒運転モード：暖房

冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

自動1：設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切替わります。

自動2：設定温度と室温の温度差及び外気温度で冷房／暖房が切替わります。

自動3：室温及び外気温度で、冷房／暖房が切替わります。



4. 室内機能設定（つづき）

③⑦冷房切換温度

冷房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動 1、自動 2 で冷房切換温度を設定します。
1 ～ 4℃の範囲で設定できます。

③⑧暖房切換温度

暖房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動 1、自動 2 で暖房切換温度を設定します。
1 ～ 4℃の範囲で設定できます。

③⑨冷房室外温度

冷房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

18℃

▲

▼

セット

戻る

自動 2、自動 3 で冷房室外温度を設定します。
10 ～ 30℃の範囲で設定できます。

④⑩暖房室外温度

暖房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

20℃

▲

▼

セット

戻る

自動 2、自動 3 で暖房室外温度を設定します。
10 ～ 22℃の範囲で設定できます。

④⑪冷房室内温度

冷房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

22℃

▲

▼

セット

戻る

自動 3 で冷房室内温度を設定します。
18 ～ 30℃の範囲で設定できます。

④⑫暖房室内温度

暖房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

24℃

▲

▼

セット

戻る

自動 3 で暖房室内温度を設定します。
10 ～ 30℃の範囲で設定できます。

④③サーモ判定切換

サーモ判定切換

通常制御/室外温度制御 (44)

室外温度_冷房補正 (45)

室外温度_暖房補正 (46)

戻る

操作を選択してください。

④④通常制御／室外温度制御

通常制御/室外温度制御

通常制御

室外温度制御

戻る

操作を選択してください。

室温制御、サーモ ON / OFF 切換方式・条件の設定
 [通常制御] 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。
 [室外温度制御] 外気温度±補正值と室内温度でサーモ判定します。室温設定は無効となります。

4. 室内機能設定（つづき）

④⑤ 室外温度 _ 冷房補正

室外温度_冷房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です。

2℃

▲

▼

セット

戻る

④⑥ 室外温度 _ 暖房補正

室外温度_暖房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です。

3℃

▲

▼

セット

戻る

④⑦ 風量自動切換

風量自動切換

自動1

自動2

操作を選択してください。

戻る

室外温度と冷房／暖房補正值によりサーモ判定します。

(a) 室外温度 _ 冷房補正：冷房中にサーモ判定します。

室内温度 > (室外温度 - 冷房補正值) でサーモ ON します。

冷房補正值は 0 ～ 10℃ で設定できます。

(b) 室外温度 _ 暖房補正：暖房中にサーモ判定します。

室内温度 < (室外温度 + 暖房補正值) でサーモ ON します。

暖房補正值は 0 ～ 5℃ で設定できます。

風量自動の切換範囲を設定

[自動 1] 急⇄強⇄弱

[自動 2] P 急⇄急⇄強⇄弱

④⑧ 室内過負荷アラーム設定

室内過負荷アラーム

キャンセル

▲

▼

7℃

セット

▲▼で温度の変更ができます。

戻る

運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。

5. サービス・メンテ方法

TOP 画面 ⇒ メニュー⇒ 次ページ⇒ サービス・メンテナンス

① TOP 画面

16:14(月)

メニュー

冷房
設定温度
23.0℃
風向
タイマー設定
停止しています。
変更はパネルをタッチしてください。

[メニュー] ボタンをタッチしてください。

②メニュー画面 # 1

メニュー

省エネ設定
グリル昇降
フリーフロー設定
換気
見てみて

次ページ 戻る

操作を選択してください。

③メニュー画面 # 2

メニュー

お掃除パネル設定
フィルターサインリセット
初期設定
タイマー設定
ウィークリータイマー

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

④メニュー画面 # 3

メニュー

るす番運転
管理者設定
据付設定
リモコン設定
室内設定

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

⑤メニュー画面 # 4

メニュー

サービス・メンテナンス
言語切替設定
困ったときは・・・

前ページ 戻る

操作を選択してください。

[サービス・メンテナンス] ボタンをタッチしてください。

⑥サービスパスワード入力

パスワード入力

サービスパスワードを入力してください。

0 1 2 3 4 削除
5 6 7 8 9 セット

4桁の数字を入力してください。 戻る

サービスパスワードは9999です。

⑦サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス

エアコンNo.表示 (9)
次回点検日 (11)
運転データ表示 (13)
点検表示 (21)
お掃除パネル点検 (32)

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑧サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス

室内設定保存 (33)
特殊操作 (36)

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑨エアコン No. 表示

個別送風

エアコンNo.表示

室内機No.	室内機名称	室外機No.
000		
001		
002		
003		
004		
005		
006		

次ページ 戻る

8 台以上接続の場合は、次ページ以降に表示が出来ます。室内ユニット選択後 [個別送風] ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。

⑩個別送風運転

個別送風の運転

送風の運転 運転 停止

動作を選択してください。 戻る

[運転] をタッチすると、送風運転開始。
[停止] をタッチすると、送風運転停止。

⑪次回点検日

次回点検日

年 月 日
2010 / 1 / 1

設定なし セット 戻る

年月日を設定してください。

次回点検日を入力すると、点検月の運転開始/停止時メッセージが表示されます。表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。
[設定なし] をタッチするとメッセージは表示されません。

⑫点検メッセージ

ご使用期間 0年7ヶ月
次回の点検 2010年8月頃
連絡先名 ミヅウ
連絡先TEL 000-000-0000

5. サービス・メンテ方法 (つづき)

⑬ 運転データ画面 1

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
01 運転モード	冷房	✓		
02 設定温度	28℃	✓		
03 吸込温度	26℃	✓		
04 リモコン温度	29℃			
05 室内熱交温度1	10℃			

選択表示 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑭ 運転データ画面 2

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
06 室内熱交温度2	10℃			
07 室内熱交温度3	10℃			
08 室内ファン速度	5速			
09 要求周波数	51.2Hz			
10 アバ-周波数	32Hz			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑮ 運転データ画面 3

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
11 室内EEV開度	256P			
12 室内運転時間	100H			
13 吹出	21℃			
21 外気温度	22℃			
22 室外熱交温度1	29℃			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

運転データが表示されます。[全更新] タッチで全データが更新されます。

データを自動更新させて表示したい場合、6項目まで選択できます。6項目選択後、[選択表示] ボタンをタッチすると⑳の画面に変わります。

⑯ 運転データ画面 4

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
23 室外熱交温度2	29℃			
24 コイル回転数	51.2Hz			
25 高圧圧力	1.2MPa			
26 低圧圧力	0.20MPa			
27 吐出管温度	76℃			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑰ 運転データ画面 5

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
28 ドロ-下温度	27℃			
29 電流	8A			
30 SH制御	48℃			
31 SH	48℃			
32 TDSH	48℃			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑱ 運転データ画面 6

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
33 保護制御	No.1			
34 室外ファン速度	5速			
35 63H1	ON			
36 アバト	ON			
37 コイル運転時間	100H			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑲ 運転データ画面 7

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
38 室外EEV1開度	512P			
39 室外EEV2開度	512P			

選択表示 前ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

㉑ 運転データ個別表示画面

運転データ	
運転モード	冷房
設定温度	28℃
吸込温度	29℃
リモコン温度	28℃
室内熱交温度1	10℃
室内熱交温度2	15℃

戻る

㉒ 点検表示メニュー

点検表示	
異常履歴表示	㉑
異常時運転データ表示	㉓
異常時運転データ消去	㉒
定期点検リセット	㉑

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

㉑ 異常履歴表示 (例)

異常履歴表示			消去
時刻	室内機	異常コード	
2011/01/19 PM 6:57	014	E16	
2011/01/19 PM 6:57	015	E15	
2011/01/19 PM 6:57	012	E14	

戻る

㉓ 異常時運転データ表示 1

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード	E09 室外機
項目	データ		
01 運転モード	冷房		
02 設定温度	28℃		
03 吸込温度	26℃		
05 室内熱交温度1	10℃		
06 室内熱交温度2	10℃		

次ページ 戻る

㉔ 異常時運転データ表示 2

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード	E09 室外機
項目	データ		
07 室内熱交温度3	10℃		
08 室内ファン速度	5速		
09 要求周波数	51.2Hz		
10 アバ-周波数	32Hz		
11 室内EEV開度	256P		

前ページ 次ページ 戻る

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。
[消去] ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

異常発生直前の運転データが表示されます。

5. サービス・メンテ方法（つづき）

②⑤ 異常時運転データ表示 3

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード	E09	室外機
項目	データ			
12	室内運転時間	100H		
13	吹出	21°C		
21	外気温度	22°C		
22	室外熱交換温度1	29°C		
23	室外熱交換温度2	29°C		

前ページ 次ページ 戻る

②⑥ 異常時運転データ表示 4

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード	E09	室外機
項目	データ			
24	コファ回転数	512Hz		
25	高圧圧力	1.2MPa		
26	低圧圧力	0.20MPa		
27	吐出管温度	76°C		
28	ドーム下温度	27°C		

前ページ 次ページ 戻る

②⑦ 異常時運転データ表示 5

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード	E09	室外機
項目	データ			
29	電流	8A		
30	SH制御	48°C		
31	SH	3°C		
32	TOSH	48°C		
33	保護制御	No.1		

前ページ 次ページ 戻る

異常発生直前の運転データが表示されます。

②⑧ 異常時運転データ表示 6

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード	E09	室外機
項目	データ			
34	室外ファン速度	5速		
35	63HI	ON		
36	デフロスト	ON		
37	コファ運転時間	100H		
38	室外EEV1開度	512P		

前ページ 次ページ 戻る

②⑨ 異常時運転データ表示 7

異常時運転データ表示

室内機	000	異常コード	E09	室外機
項目	データ			
39	室外EEV2開度	512P		

前ページ 戻る

③⑩ 異常時運転データ消去

異常時運転データ消去

はい

操作を選択してください。

戻る

異常時運転データが消去されます。

③⑪ 定期点検リセット

定期点検リセット

定期点検をリセットしますか？

はい

設定を選択してください。

戻る

定期点検リセット操作により、時間カウンタがリセットされます。

③⑫ お掃除パネル点検

お掃除パネル点検

駆動部個別点検

位置認識指令

位置合わせ制御

点検お掃除運転

戻る

操作を選択してください。

フィルタ自動清掃パネル組込みの場合。お掃除パネル説明書を参照ください。

③⑬ 室内設定保存

室内設定保存

室内設定を保存

室内設定自動保存 ←③⑭

保存データの転送 ←③⑮

戻る

操作を選択してください。

[室内設定を保存] リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。
[室内設定自動保存] 毎日の自動保存時刻を設定します。
[保存データの転送] リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

③⑭ 室内設定自動保存

室内設定自動保存

設定時刻に室内設定を自動保存します。

▲ AM 0:00 セット

設定なし

戻る

▲▼で時間を選択し、セットを押してください。

毎日の自動保存時刻を設定します。
[設定なし]を選択すると、自動保存は行いません。

③⑮ 室内機選択

室内機選択

000 001 002 003
004 005 006 007

次ページ

戻る

室内機No.を選択してください。

転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

お知らせ

室内機基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？

リモコンに室内機設定を保存しておくと、[保存データの転送]により、保存されたデータを室内機に書込まれます。

5. サービス・メンテ方法（つづき）

③⑥ 特殊操作

特殊操作

室内機アドレス消去

CPUリセット

初期化設定

タッチパネル調整 ←③⑦

戻る

操作を選択してください。

[室内機アドレス消去] マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。

[CPU リセット] 接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。

[初期化] 接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。

[タッチパネル調整] 表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

③⑦ タッチパネル調整

タッチパネル調整

調整開始

戻る

調整開始をタッチしてください。

選択した画面に移ります。

③⑧ タッチパネル調整画面 #1

右下の「+」をタッチしてください。

+

③⑨ タッチパネル調整画面 #2

左上の「+」をタッチしてください。

+

④⑩ タッチパネル調整画面 #3

+

+

+

「+」をタッチして位置を確認してください。

+

キャンセル

やり直し

確定

+

表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

画面の指示にそって、[+] マーク中心をタッチしてください。

[確定] で終了します。

(2) RC-D4G リモコンの場合

- (a) 室内ユニットの機能や用途に合わせ、リモコンより機能設定をすることができます。
リモコンより設定可能な項目は下記の通りです。
「○」印の設定内容が工場出荷時の設定です。
「※」印の項目は接続する室内ユニット及び室外ユニットにより工場出荷時に自動設定されます。

(b) 機能設定のながれ

開始：エアコン停止状態で「セット」 + 「運転切換」 ボタンを同時に3秒押します。

確定：「セット」 ボタンを押します。

戻る：「リセット」 ボタンを押します。

選択：「▲」「▼」 ボタンを押します。

終了：「運転／停止」 ボタンを押します。

注(1) 設定の途中でも終了しますが、設定が完了していない場合は無効になります。

①【リモコン機能】

機能番号A	機能内容B	設定内容C	出荷時設定	
01	クルル昇降設定	昇降無効	○	
		有効50Hz地区		←50Hz地区で使用の場合。
		有効60Hz地区		←60Hz地区で使用の場合。
02	自動運転設定	自動運転有効	※	←自動運転不可
		自動運転無効		
03	温度設定	温度設定有効	○	
		温度設定禁止		←温度設定ボタンの操作禁止
04	運転切換	運転切換有効	○	
		運転切換禁止		←運転切換ボタンの操作禁止
05	運転／停止	運転／停止有効	○	
		運転／停止禁止		←運転／停止ボタンの操作禁止
06	風量切換	風量切換有効	※	←風量調整ボタンの操作禁止
		風量切換禁止		
07	風向切換	風向切換有効	※	←風向調整ボタンの操作禁止
		風向切換禁止		
08	タイマー	タイマー有効	○	
		タイマー禁止		←タイマー操作禁止
09	リモコンセンサ設定	リモコンセンサ無効	○	
		リモコンセンサ有効		
		リモコンセンサ+3.0℃		←リモコンセンサ有効、且つ+3.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ+2.0℃		←リモコンセンサ有効、且つ+2.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ+1.0℃		←リモコンセンサ有効、且つ+1.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ-1.0℃		←リモコンセンサ有効、且つ-1.0℃温度補正する。
		リモコンセンサ-2.0℃		←リモコンセンサ有効、且つ-2.0℃温度補正する。
10	停電補償設定	停電補償無効	○	
		停電補償有効		
11	換気設定	換気なし	○	
		換気連動		←室内基板CNDIに換気機器を接続すると、室内ユニットの運転に連動し、換気機器の運転／停止を行います。
		換気連動なし		←室内基板CNDIに換気機器を接続すると、換気ボタンの操作により、換気機器が単独で運転／停止を行います。
12	温度範囲設定	表示変更有り	○	←温度設定範囲を変更した場合、設定温度表示は制御に追従し変化します。
		表示変更無し		←温度設定範囲を変更した場合、設定温度表示は制御に追従せず、設定した温度のままとなります。
13	室内ファン	3速HI-ME-LO	※	←ファン風量が、急-強-弱の3速、又はP急-急-強-弱の4速となります。
		2速HI-LO		←ファン風量が、急-弱の2速となります。
		2速HI-ME		←ファン風量が、急-強の2速となります。
		1速		←ファン風量が1速のみで固定されます。
14	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止	※	←ルーバの停止位置は、4位置より選択します。
		ルーバフリー停止		←ルーバの停止位置は、任意の位置に停止します。
15	冷専／ヒートポン	ヒートポン	※	
		冷専		
16	外部入力設定	一台運転	○	←室内基板CNTに外部入力すると、その室内ユニットが単独で外部入力に従い運転します。
		全台同一運転		←室内CNTに外部入力すると、同一リモコンネットワークの全台が、外部入力に従い運転します。
17	室温表示設定	室温表示無し	○	
		室温表示有り		←通常の運転表示において、風量表示の代わりに室温を表示します。
18	暖房準備表示	表示有り	○	
		表示無し		←暖房準備表示を出さないようにします。

注(1) ルーバ制御設定を変更する場合は、②室内機能04番「ルーバ制御設定」も変更してください。

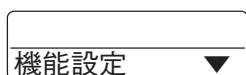
②【室内機能】

機能番号 A	機能内容 B	設定内容 C	出荷時設定	
02	高天井設定	標準	※	←機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。
		高天井1		
		高天井2		
03	フィルターサイン設定	表示なし		
		設定1	○	←180時間でフィルターサインを表示します。
		設定2		←600時間でフィルターサインを表示します。
		設定3		←1000時間でフィルターサインを表示します。
		設定4		←1000時間でフィルターサインを表示し、その後24時間経過したら強制停止します。
04	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止	※	←ルーバの停止位置は、4位置より選択します。
		ルーバフリー停止		←ルーバの停止位置は、任意の位置で停止します。
05	外部入力切換	レベル入力	○	
		パルス入力		
06	運転許可／禁止	無効	○	
		有効		←運転許可／禁止制御を有効にします。
07	緊急停止	無効	○	
		有効		←同一室外ユニットに接続された全室内ユニットを緊急停止させる時に使用します。遠方発停端子「CNT-6」から停止信号が入った場合、全室内ユニットが緊急停止します。
08	暖房室温補正	補正なし	○	
		室温補正+1.0℃		←暖房時の設定温度を+1.0℃補正します。
		室温補正+2.0℃		←暖房時の設定温度を+2.0℃補正します。
		室温補正+3.0℃		←暖房時の設定温度を+3.0℃補正します。
09	吸込温度補正	吸込補正+2.0℃		←室内ユニットの吸込温度を+2.0℃補正します。
		吸込補正+1.5℃		←室内ユニットの吸込温度を+1.5℃補正します。
		吸込補正+1.0℃		←室内ユニットの吸込温度を+1.0℃補正します。
		補正なし	○	
		吸込補正-1.0℃		←室内ユニットの吸込温度を-1.0℃補正します。
		吸込補正-1.5℃		←室内ユニットの吸込温度を-1.5℃補正します。
		吸込補正-2.0℃		←室内ユニットの吸込温度を-2.0℃補正します。
10	暖房ファン制御	弱風	○	←暖房サーモOFF時、弱風で運転します。
		設定風量		←暖房サーモOFF時、設定風量で運転します。(電気集塵機を取付けた場合は「設定風量」に設定してください。)
		間欠		←暖房サーモOFF時、間欠運転します。
		停止		←暖房サーモOFF時、ファンは停止します。(リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は、設定しないでください。)
11	フロスト防止温度	温度 高		
		温度 低	○	
12	フロスト防止制御	ファン制御有効	○	←フロスト防止制御時に、室内ファンタップを上げます。
		ファン制御無効		
13	ドレンポンプ	標準	○	←冷房 除湿時ドレンポンプON
		暖房		←冷房 除湿+暖房時ドレンポンプON
		暖房 送風		←冷房 除湿+暖房+送風時ドレンポンプON
		送風		←冷房 除湿+送風時ドレンポンプON
14	冷房ファン運転	連動なし	○	←冷房停止または冷房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
		0.5時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
		1時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後、1時間ファン残留運転する。
		6時間		←冷房停止または冷房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。
15	暖房ファン運転	連動なし	○	←暖房停止または暖房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
		0.5時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
		2時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後、2時間ファン残留運転する。
		6時間		←暖房停止または暖房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。
16	暖房ファン間欠	連動なし	○	
		20休5送風		←暖房停止または暖房サーモOFF後、ファンは20分OFF5分弱風の間欠運転。
		5休5送風		←暖房停止または暖房サーモOFF後、ファンは5分OFF5分弱風の間欠運転。
17	外機制御	圧力制御標準	※	←吸気処理室内ユニットを接続すると、圧力制御切換に自動的に設定されます。
		圧力制御切換		

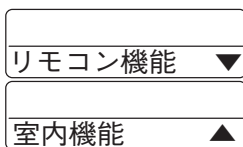
注(1) ルーバ制御設定を変更する場合は、①リモコン機能14番「ルーバ制御設定」も変更してください。

(c) 機能設定の仕方

- 1) エアコンを停止させて、**セット**と**運転/停止**ボタンを同時に長押しする。
表示が「機能設定 ▼」となります。



- 2) **セット** ボタンを押す。
3) 設定したい内容が【リモコン機能】か【室内機能】かを確認する。
4) ▲または▼ボタンを押す。
【リモコン機能▼】又は【室内機能▲】を選びます。

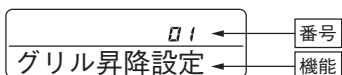


- 5) **セット** ボタンを押す。

- 6) 【リモコン機能】を選んだ場合

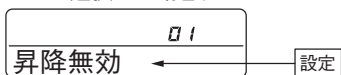
- ① 「データ確認中」(約2秒間点滅表示)

「01 グリル昇降設定」と表示が切り換わります。

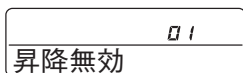


- ② ▲または▼ボタンを押す。
リモコン機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので、機能を選びます。

- ③ **セット** ボタンを押す。
選択した機能の、現在の設定が表示されます。
(例)「昇降無効」 ← 「01 グリル昇降設定」を選択した場合。



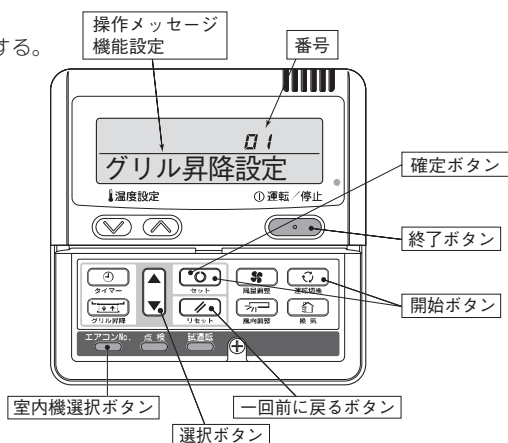
- ④ ▲または▼ボタンを押す。
設定を選びます。



- ⑤ **セット** ボタンを押す。
「設定完了」が表示され、設定が完了します。その後、「番号と機能」の表示に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。
終了する場合は、7)へお進みください。



- 7) **運転/停止** ボタンを押します。
設定を終了します。



- 6) 【室内機能】を選んだ場合

- ① 「データ確認中」(データを読み込む間約2~23秒点滅)

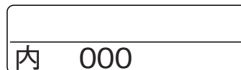
「01 お掃除自動」と表示が切り換わります。

②へお進みください。

(注意)

- (1) 室内ユニットをリモコンに複数台接続している場合は、下記表示となります。

「内 000」(点滅) ← 接続されている室内ユニットの最も若い番号を表示。

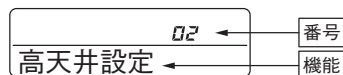


- (2) ▲または▼ボタンを押す。
設定したい室内ユニットの番号を選びます。
「全台▼」を選択すると、全台同一の設定ができます。

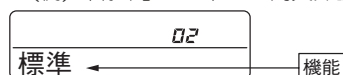
- (3) **セット** ボタンを押す。

- ② ▲または▼ボタンを押す。
室内機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので、機能を選びます。

(例)



- ③ **セット** ボタンを押す。
選択した機能の、現在の設定が表示されます。
(例)「標準」 ← 「02 高天井設定」を選択した場合。



- ④ ▲または▼ボタンを押す。設定を選びます。

- ⑤ **セット** ボタンを押す。
「設定完了」が表示され、設定が完了します。その後、「番号と機能」の表示に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。終了する場合は、7)へお進みください。



※室内ユニット複数台接続時、**エアコンNo.** ボタンを押すと室内ユニット選択表示(例「内 000」)に戻りますので、室内ユニットを換えて設定する場合は、同じ要領で設定してください。

・設定の途中で、**運転/停止** ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
・設定途中で、**リセット** ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。
・セット内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されています。

《現在設定の確認方法》

上記操作により、「番号と機能」を選び、**セット** ボタンを押した時に、最初に表示される「設定」が、現在設定されている内容です。
(但し、「全台▼」を選んだ場合は、室内番号の最も若い機種の設定が表示されます。)

(d) リモコン設定温度範囲の変更

工場出荷時の設定温度範囲は、運転モードによって異なり下記のようになっています。

暖房時：18～28℃

暖房以外(冷房、送風、除湿、自動)：20～30℃

1) リモコンから、設定温度の上限及び下限を設定することができます。

- ・ 上限値設定…暖房運転時に有効。20～30℃の範囲で設定可能です。
- ・ 下限値設定…暖房以外（自動、冷房、送風、除湿）時に有効。18～26℃の範囲で設定可能です。

本機能により、上限及び下限を設定した場合、下記制御となります。

a) 機能設定モードの【リモコン機能】⑫温度範囲設定が〈表示変更有り〉のとき(工場出荷時設定)

〔上限値を設定すると〕

- ① 暖房時、リモコンから上限値より高い温度が設定された場合：
30分間設定値温度で運転し、その後自動的に上限値温度を送信します。リモコン表示もそれに付随します。
- ② 暖房時、上限値以下の温度が設定された場合：
設定温度を送信します。

〔下限値を設定すると〕

- ① 暖房以外の運転モードのとき、リモコンから下限値より低い温度が設定された場合：
30分間設定温度で運転し、その後自動的に下限値温度を送信します。リモコン表示もそれに付随します。
- ② 暖房以外の運転モードのとき、下限値以上の温度が設定された場合：
設定温度を送信します。

b) 機能設定モードの【リモコン機能】⑫温度範囲設定が〈表示変更無し〉のとき

〔上限値を設定すると〕

- ① 暖房時、リモコンから上限値より高い温度が設定された場合：
上限値を送信します。但し、リモコン表示はそれに付随せず、設定した温度のままです。
- ② 暖房時、上限値以下の温度が設定された場合：
設定温度を送信します。

〔下限値を設定すると〕

- ① 暖房以外の運転モードのとき、リモコンから下限値より低い温度が設定された場合：
下限値を送信します。但し、リモコン表示はそれに付随せず、設定した温度のままです。
- ② 暖房以外の運転モードのとき、下限値以上の温度が設定された場合：
設定温度を送信します。

2) 上限値、下限値の設定方法

a) エアコンを停止させて、**セット**と**運転切換** ボタンを同時に3秒以上押します。

表示が「機能設定▼」となります。

b) **▼** ボタンを一度押し、「温度範囲▲」表示に切替えます。

c) **セット** ボタンを押して、温度範囲設定モードに入ります。

d) **▲▼** ボタンにより、「上限設定▼」又は「下限設定▲」を選びます。

e) **セット** ボタンを押して確定します。

f) 「上限設定▼」を選んだ場合（暖房時に有効となります）

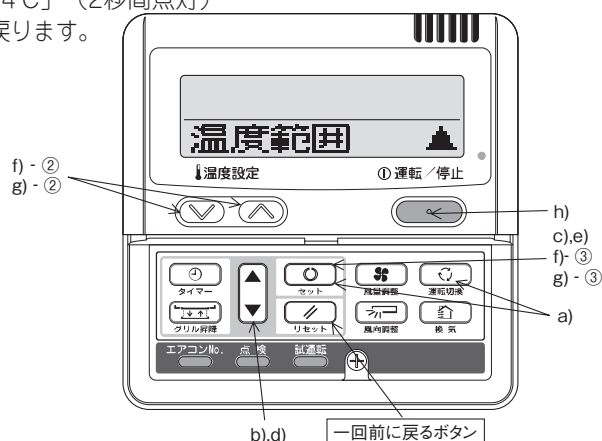
- ① 表示：「VΛで設定」→「上限28℃VΛ」
- ② 温度設定 **△▽** ボタンにより、上限値を選びます。表示例：「上限26℃VΛ」（点滅）
- ③ **セット** ボタンを押して確定します。表示例：「上限26℃」（2秒間点灯）
確定した上限値を2秒間点灯後、表示は「上限設定▼」に戻ります。

g) 「下限設定▲」を選んだ場合（冷房、除湿、送風時に有効となります。）

- ① 表示：「VΛで設定」→「下限20℃VΛ」
- ② 温度設定 **△▽** ボタンにより、下限値を選びます。表示例：「下限24℃VΛ」（点滅）
- ③ **セット** ボタンを押して確定します。表示例：「下限24℃」（2秒間点灯）
確定した下限値を2秒間点灯後、表示は「下限設定▲」に戻ります。

h) **運転/停止** ボタンを押して、終了します。

・設定の途中で**運転/停止** ボタンを押しても終了します。
但し、設定が完了していない内容は無効となりますので、
ご注意ください。
・設定の途中で、**リセット** ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。



5. リモコンによる操作要領

(1) ドレンポンプ強制運転〔ドレンアップキット（オプション）接続時〕

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。

リモコンを次の手順で操作してください。

(a) RC-DX2 リモコンの場合

(i) ドレンポンプ試運転の開始

- ① TOP画面の「メニュー」より「メニュー画面#3」→「据付設定」を選択し、「サービスパスワード」を入力します。
- ② 「据付設定メニュー#1」より「試運転」を選択し、「ドレンポンプ試運転」と順に選択すると「運転」／「停止」画面が表示されます。
- ③ 「運転」を選択するとドレンポンプ試運転を開始します。

(ii) ドレンポンプ運転の解除

画面の「停止」を選択または、リモコンの「運転／停止」ボタンを押すとドレンポンプ試運転を解除し、エアコンは停止状態となります。

(b) RC-D4G リモコンの場合

(i) ドレンポンプ強制運転の開始

- ① 「試運転」ボタンを3秒以上押します。「冷房試運転 ▼」となります。
- ② ▼ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転 ◆」を表示させます。
- ③ 「セット」ボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。
表示：「セットで停止」

(ii) ドレンポンプ運転の解除

- ① 「セット」ボタン又は、「運転／停止」ボタンを押すと、ドレンポンプ強制運転を解除します。
エアコンは停止状態となります。

注(1) リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作は出来ません。)

(2) 試運転

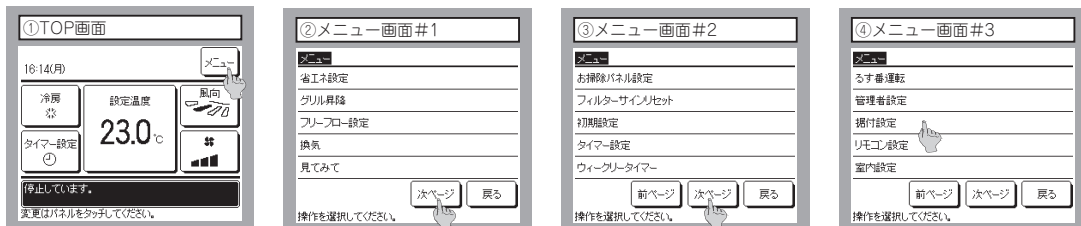
(a) リモコンからの試運転

(i) 冷房試運転操作

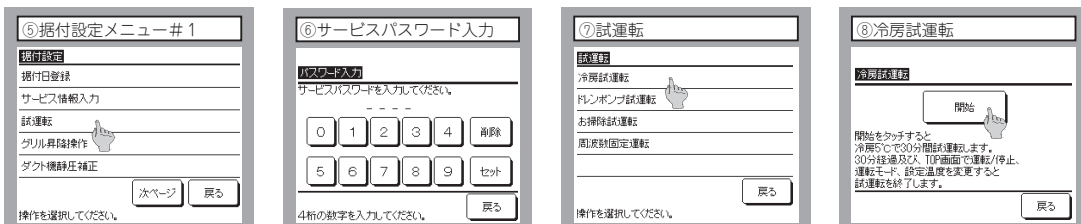
1) RC-DX2 リモコンの場合

a) 冷房試運転の開始

- ① TOP画面の「メニュー」より→「次ページ」→「メニュー画面#3」より「据付設定」を選択します。



- ② 「据付設定メニュー#1」画面から「試運転」を選択し、サービスパスワードを入力します。
「試運転」画面から「冷房試運転」を選択します。
「冷房試運転」画面から「開始」ボタンをタッチしてください。冷房試運転を開始します。



b)冷房試運転の解除

下記のいずれかの操作が行われたとき、冷房試運転は解除され「冷房試運転中」の表示は消灯します。

- ① 運転／停止スイッチが押されたとき。
- ② 温度設定が変更されたとき。
- ③ 冷房以外のモードに変えたとき。
- ④ 冷房試運転開始より、30分経過したとき。

2) RC-D4G リモコンの場合

リモコンを次の手順で操作してください。

a) 冷房試運転の開始

- ① 運転／停止 ボタンを押して、運転します。
- ② 運転切換 ボタンにより、「冷房」を選択します。
- ③ 試運転 ボタンを3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。
- ④ 「冷房試運転 ▼」の表示で、セット ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は、「冷房試運転」となります。

b) 冷房試運転の解除

下記のいずれかの操作が行われたとき、冷房試運転は解除され、「冷房試運転」表示は消灯します。

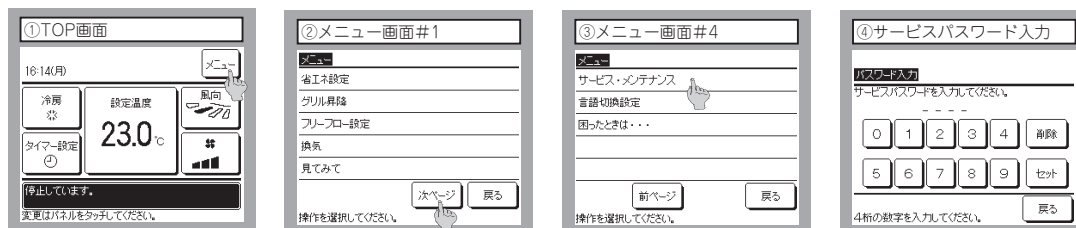
- ① 運転／停止 ボタンが押されたとき。
- ② 温度設定 △ ボタンが押されたとき。
- ③ 運転切換 ボタンにより冷房以外のモードに変えたとき。
- ④ 冷房試運転開始より、30分経過したとき。

(ii) 運転データの確認方法

リモコン操作により、運転データの確認ができます。

1) RC-DX2 リモコンの場合

- ① TOP画面の「メニュー」より→「次ページ」→「メニュー画面#4」より「サービス・メンテナンス」を選択し、サービスパスワードを入力します。



- ② 「サービス・メンテナンス」画面より「運転データ表示」を選択すると、運転データが表示されます。
 - ・ 運転データ画面の切換は、「次ページ」または「前ページ」のボタンをタッチしてください。運転データの内容については、下表の運転データ一覧表をご覧ください。
 - ・ 運転データを更新したい場合は、「全更新」のボタンをタッチしてください。
 - ・ 運転データを6項目選択して表示可能です。「選択表示」のボタンをタッチ後、運転データを6項目を選択してから「全更新」→「選択表示」の順にボタンをタッチしてください。「運転データ個別表示画面」が表示されます。



2) RC-D4G リモコンの場合

〔操作手順〕

- ① **点検** ボタンを押します。表示が「運転データ表示 ▼」となります。
- ② 「運転データ表示 ▼」の表示で、**セット** ボタンを押します。
- ③ リモコンに接続されている室内ユニットが 1 台の場合、
「データ確認中」表示となり、（データを読み込む間点滅表示）
その後、運転データの 01 番が表示されます。⑦ 番へお進みください。
- ④ リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、
接続されている室内ユニット中で、最も小さい室内アドレスが表示されます。
〔例〕「室内機選択」（1 秒間点灯）「内 000 ▲」（点滅）
- ⑤ **▲ ▼** ボタンで、表示したい室内アドレス選びます。
- ⑥ **セット** により確定します。（室内アドレスが点滅から点灯に変わります。）
「内 001」（選択した室内アドレスを 2 秒間点灯）

↓

「データ確認中」（データを読み込む間点滅表示）

その後、運転データの 01 番が表示されます。

- ⑦ **▲ ▼** ボタンにより、現在の運転データを確認できます。
表示される項目は右記の通りです。

注(1) 機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。

- ⑧ 室内ユニットを変更する場合は、**エアコン No.** ボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
- ⑨ **運転／停止** ボタンを押すと、終了します。

◎ **設定の途中で、リセット ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。**

注(1) 運転データの確認は、リモコン 2 台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です（子リモコンからの操作はできません。）

運転データ一覧表

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
04	リモコンセンサ温度
05	室内熱交温度 (ThI-R1)
06	室内熱交温度 (ThI-R2)
07	室内熱交温度 (ThI-R3)
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
21	外気温度
22	室外熱交温度 (Tho-R1)
23	室外熱交温度 (Tho-R2)
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT 電流
30	SH 制御値
31	実 SH
32	実 TDSH
33	圧縮機保護ステータス No.
34	室外ファン速調
35	63H1 ON/OFF
36	デフロスト ON/OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室内膨張弁開度 (EEVC)
39	室内膨張弁開度 (EEVH)

(3) RC-DX2 リモコンと RC-D4G リモコンの機能比較

- A : ecoタッチリモコン付属の取扱説明書を参照してください。
 B : ecoタッチリモコン付属の据付工事説明書を参照してください。
 C : インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。
 ○ : ecoタッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
 △ : ecoタッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX2	RC-D4G
1.リモコンネットワーク				
1	複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内機を接続 制御できます。室内機側にアドレス設定します。		○
2	親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスオプション)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP画面・SW操作				
1	メニュー	制御・設定・詳細確認等の項目を選択します。3～20項	A	
2	運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3	設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	A	○
4	風向	風向を設定します。 4位置／フリー	A	○
5	風量	風量を設定します。	A	○
6	タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A	○
7	運転／停止SW	運転開始します。／停止します。	A	○
8	ハイパワーSW	ハイパワー運転を開始します。	A	
9	省エネSW	省エネ設定で運転を開始します。	A	
3.省エネ設定				
1	切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ●設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ●設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2	ピークカットタイマー 管理者パスワード	最大能力を制限することで消費電力を削減します。 制御の開始時刻と終了時刻、能力制限率を設定します。 ●1日最大4パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●能力制限率は0.40～80%(20%単位)から選択可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。	A	
3	設定温度自動復帰 管理者パスワード	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ●暖房モード／冷房モード他 各々設定可能です。 ●設定時間は20～120分まで選択可能です。 ●設定時間は10分単位で設定可能です。	A	△
4.グリル昇降				
1	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の設定が必要です。	A	○
2	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ●0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ●設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ●接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
3	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。 ●回収日を日付設定している場合は次回設定ができます。	A	
5.フリーフロー設定				
	フリーフロー設定	各吹出口のルーバの作動範囲(上限位置・下限位置)を設定します。	A	○
6.換気				
1	換気 換気機器を組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定] の設定が必要です。 ●換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。	A	○

設定および表示項目	詳細内容	RC-DX2	RC-D4G
7. 見てみて			
見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	
8. お掃除パネル設定	管理者パスワード		
1 お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。	A	
2 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
3 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
4 ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
5 ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
9. フィルターサインリセット			
1 フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。	A	○
2 次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
10. 初期設定			
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。	A	△
2 時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。	A	
3 サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	A	
4 コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
5 バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	
6 ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。		
11. タイマー設定			
1 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
2 時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。	A	△
3 時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
4 時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。	A	△
5 タイマー設定内容確認	各タイマー設定内容を一覧できます。	A	
12. ウィークリータイマー設定			
1 ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△ △ △
13. るす番運転			
1 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時、お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。	A	

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX2	RC-D4G
14.	管理者設定	管理者パスワード		
1	操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定][言語切換設定]	A	△
2	室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。	A	△
3	設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
4	設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。	A	
5	設定温度表示切換※1	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
6	リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示)のあり/なしを設定します。	A	○ △
7	管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
15.	言語切換※1	リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語/Englishの選択が可能です。	A	
16.	据付設定	サービスパスワード		
1	据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。	B	
2	サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。	B	
3	試運転	試運転の開始/停止を制御できます。		
	冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。	B	○
	ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。		○
	お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合		
	周波数固定運転	インバーター圧縮機の運転Hzを固定します。		○
4	グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
5	ダクト機静圧補正※1	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
6	自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
7	親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
17.	リモコン機能設定	サービスパスワード		
1	リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
2	吸込センサー制御※1	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。 ●個別/親機/平均の選択が可能です。	B	
3	リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。	B	△
4	リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能	B	△
5	運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	B	△
6	温度単位設定※1	設定温度の単位を設定します。 ●℃/°Fの選択が可能です。	B	
7	ファン速度	ファン速度選択が可能です。	B	○
8	外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。	B	○
9	換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
10	ルーバー制御	[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。	B	○
11	停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
12	設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	B	
13	風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	B	

設定および表示項目		詳細内容	RC-DX2	RC-D4G
18.	室内機能設定	サービスパスワード		
1	高天井設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
2	フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
3	外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。	B	○
4	外部入力1方式	外部入力1の信号方式を換えられます。	B	○
5	外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。	B	
6	外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。	B	
7	暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。	B	△
8	吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	B	△
9	冷房ファン制御※1	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
10	暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
11	フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
12	フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
13	ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
14	冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
15	暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
16	暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
17	送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
18	外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
19	運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。	B	
20	サーモ判定切替	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
21	風量自動切替	風量自動運転における自動切替範囲を設定できます。	B	
22	室内過負荷アラーム設定※1	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CNT-5)から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
19.	サービスメンテナンス	サービスパスワード		
1	エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
2	次回点検日	次の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	AB	○
3	運転データ表示	室内ユニット＋室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
4	点検表示			
	異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。	B	△
	異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。	B	○
	異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。	B	
	定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。	B	○
5	お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	
6	室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
7	特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。	B	△
20.	困ったときは..			
1	連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2	サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。	A	
21.	点検表示			
	点検表示確認	異常発生時の表示	A	△
22.	パソコン接続			
	USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

5 別売部品編の目次

1. ワイヤレスキット (RCN-KIT3G)	5-2
2. コンパクトリモコン (RCH-D3)	5-4

1. ワイヤレスキット (RCN-KIT3G)

PJZ012D059

⚠警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

- ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。
 - (1)直射日光の当たる場所
 - (2)発熱器具の近く
 - (3)湿気の多い所・水の掛る所
 - (4)取付面が発熱・結露する場所
 - (5)油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
 - (6)取付面に凹凸がある所
 - (7)室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
- ワイヤレスキット上ケースを取り外したまま放置しない。
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。

お願い

- ・取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかたをご指導ください。
- ・ワイヤレスリモコンの取扱説明書は、室内ユニット又は室外ユニットに付属されております。
- ・本ワイヤレスキットに付属の説明書と合せてご覧ください。

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

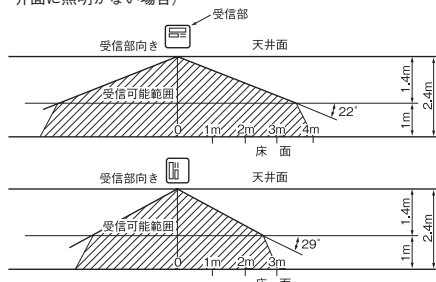
① 受光アダプタ	1	① リモコン用ホルダー	1
② 配線 (3m)	1	② 同上用木ねじ	2
③ パーツセット (A)	1	③ リモコン用電池	2
④ パーツセット (B)	1	④ 受光アダプタ用ねじ	2
⑤ パーツセット (C)	1	⑤ バンド	1
⑥ ワイヤレスリモコン	1	⑥ クランプ	5
⑦ 取扱説明書	1	⑦ 同上用ねじ	5
		⑧ 受光部取付用ブラケット	1
		⑨ 同上用ねじ	2
		⑩ 取付金具	2
		⑪ JISボックス取付用ねじ	2

② ワイヤレスリモコンの操作距離

(1) 天井面に取付けた場合

① 標準的受信距離

条件 受信部照度 **300ルクス** (一般事務所で受信アダプタ周辺1m以内の天井面に照明がない場合)

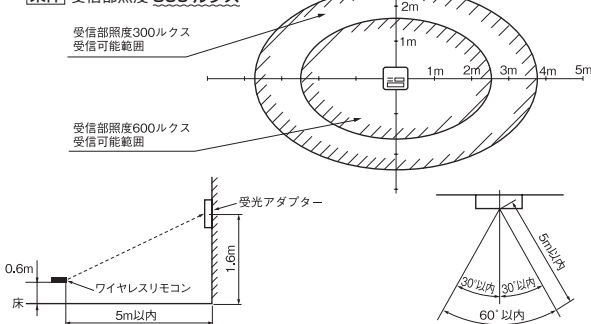


② 平面から見た時の受信部照度と受信距離の関係

条件 天井高さ2.4m、床面より1mの高さより、リモコン操作をした場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が2倍になると受信距離は2/3となる。

(2) 壁面に取付けた場合

条件 受信部照度 **800ルクス**



③ 受光アダプタ取付

天井あるいは、壁面 (以後あわせて壁面と呼ぶこととします) への取付け方法として、下記3種類の取付けが可能です。設置場所に応じて選んでください。

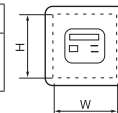
《取付け方法》

- (A) 壁面への木ねじによる直接取付け
- (B) JIS ボックス (現地手配) による取付け
- (C) 付属ブラケットによる取付け

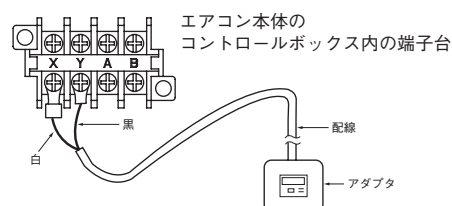
(1) 壁面への穴あけ (壁面開口)

取付用の穴を付属配線 (3m) で接続可能な壁面位置に、下表の寸法にてあけてください。

(A) 壁面への木ねじによる直接取付け	88mm (H) × 101mm (W)
(B) JIS ボックスによる取付け	108mm (H) × 108mm (W)
(C) 付属ブラケットによる取付け	



(2) 受光アダプタ用配線



⚠注意

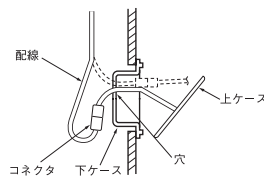
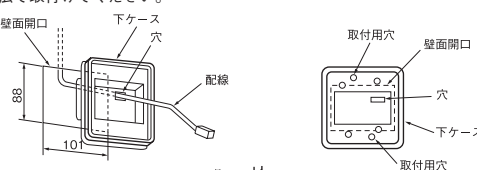
配線を端子台 200V に接続しないこと。プリント基板が焼損します。

(3) 受光アダプタ取付け

側面についているねじをはずし、上ケースと下ケースに分割してください。
下記4種 (A) ~ (D) のうちのいずれかの方法により取付けてください。

(A) 壁面への木ねじによる直接取付け

▷壁面が木製などのもので、直接木ねじにより取付けても強度的に問題のない場合にこの方法で取付けてください。



- ① 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ② 下ケースを壁面開口にはめてください。この時、下ケース後面凸部と壁面開口とのすきまは両側ともできるだけ等しくなる様にしてください。
- ③ 上図2ヶ所の取付用穴を用いて付属の木ねじにより下ケースを壁に固定してください。(他の4ヶ所の穴は使用しません)
- ④ 配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。
- ⑤ 接続したコネクタを①項にて配線を通した下ケースの穴より裏側へ出してください。
- ⑥ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじをしめてください。

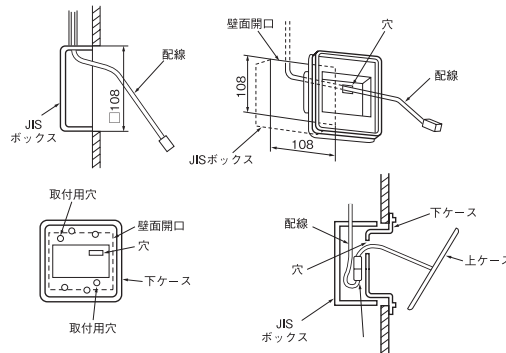
(B) JIS ボックスによる取付け (JIS ボックス: 現地手配)

① JIS ボックスと配線をあらかじめ設置しておきます。

〔使用可能 JIS ボックス〕

JIS C 8435 埋込用四角アウトレットボックス中浅形

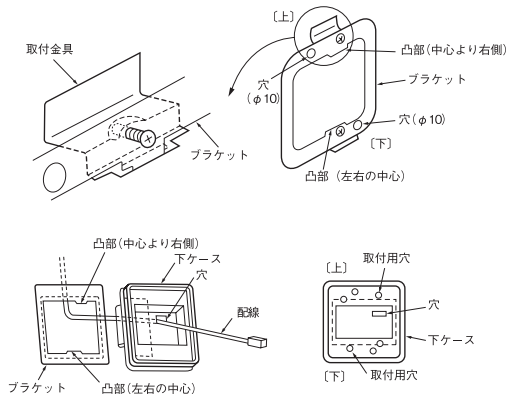
JIS C 8340 中形四角アウトレットボックス



- ② 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ③ 上図2ヶ所の取付け用穴を用いて付属しているねじにより下ケースは JIS ボックスに固定してください。(他の4ヶ所の穴は使用しません)
- ④ 配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。
- ⑤ 接続したコネクタを②項にて配線を通した下ケースの穴より、下ケースと JIS ボックスの間へ入れてください。
- ⑥ 上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじをしめてください。

C 付属ブラケットによる取付け

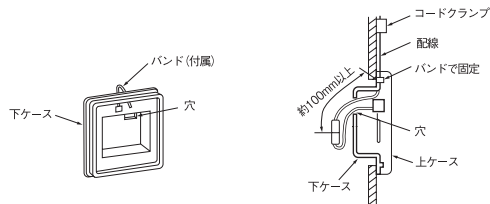
石膏ボード(7~18mm)などに取付ける場合は、この方法により取付けてください。より薄い壁面に取付ける場合は別途、松下電工製取付金具(WN3990:3~7mm用)を手配願います。



- ①上図の様に付属ブラケットの凸部(2カ所)に取付金具を引掛け、ねじにより仮止めてください。(ブラケットには上下および表裏があります。上下凸部の位置およびブラケットにあるφ10の穴と取付金具の取付面との位置関係を上図にてご確認ください。)
- ②壁面開口より取付金具の端部を壁面裏側へ入れ、さらにねじをしめてブラケットを壁面に固定してください。
- ③配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ④下ケースをブラケットにはめ込み、上図2カ所の取付用穴を用いて下ケースをブラケットに固定してください。(他の4カ所の穴は使用しません)
- ⑤以降(A)の①~⑥を参照して取付けてください。

D 配線露出取付

配線を露出させて取付ける場合は下記の通りに行なってください。



- ①上ケース側面の薄肉部をニッパー、ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。(この部分に配線を通します。)
- ②下ケースの配線取出部の穴に付属のバンドを通します。
- ③3項の受光アダプタ取付方法(A~C)のいずれかの方法に従い、下ケースを壁面に固定してください。ただし、配線は下ケースの穴に通さないでください。
- ④バンドでの固定部から配線のコネクタの先端までの長さを100mm以上とした状態でバンドにより配線を固定してください。(ただし、JISボックスにより下ケースを取付けた場合は約100mmとしてください。)
- ⑤配線と上ケースより出ている配線をコネクタにより接続してください。
- ⑥接続したコネクタおよび不要な配線を下ケースの穴より裏側へ出してください。
- ⑦上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ねじをしめてください。
- ⑧配線は付属のコードクランプで適宜固定してください。

4 リモコン

リモコンホルダーの据付

お願い

次の位置は避けてください。

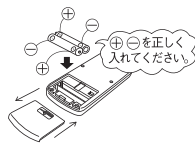
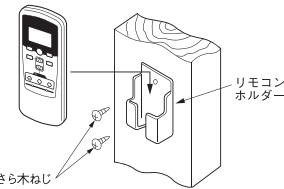
- 1) 直射日光の当たる場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気の多い所・水のかかる所
- 4) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
- 5) 取付面に凹凸がある所

ホルダー取り付け時の注意

- ・垂直になるよう、調節してください。
- ・ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・土壁等へは取り付けしないでください。

電池の入れ方

- ①裏ボタンを外します。
- ②乾電池を入れます。(単四2本)
- ③裏ボタンを取り付けます。



5 冷房試運転操作

- 安全を確認して元電源を投入してください。
- 受信部バックアップスイッチを押しながらリモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付けの結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

A 混信による誤動作を防ぐ方法 ①②両方を実施

他の家電製品と混信する場合又は、2個の受光アダプタが近接して混信する場合に設定します。

①ワイヤレスリモコンの設定変更

【風向】 ボタンを押しながらリセットボタンを押すか電池投入をすると設定が混信防止設定へ切り換わります。

【ご注意】 ※一度電池を取り外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

②受光アダプタ基板の改修

SW1-1をOFF(切換)にしてください。

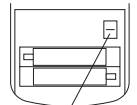
B フィルター自動昇降機能への対応方法

フィルター自動昇降機能が装備された室内機に対応させる場合に設定します。ワイヤレスリモコンの設定変更

次の①②いずれかの方法によりリモコン設定を変更してください。

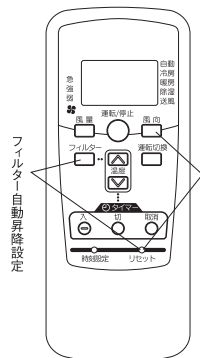
- ① **【フィルター】** ボタンを押しながら、リセットボタンを押すか電池投入すると設定がフィルター自動昇降対応となります。
 - ② リモコン裏ボタンを外し、ジャンパー線を切断すると、フィルター自動昇降モード有効に切り換わります。
- (設定を実施すると、フィルター自動昇降モード時、ディスプレイに「**フィルター**」と表示されます。)

【ご注意】 ※①の方法により設定した場合、一度電池を取り外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。



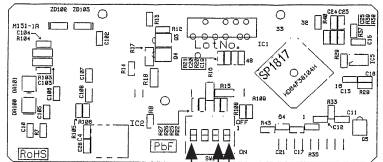
フィルター自動昇降設定ジャンパー線

●ワイヤレスリモコン



※上記(A)と(B)のワイヤレスリモコンの設定を同時に行う場合は、**【風向】** ボタン及び**【フィルター】** ボタンを同時に押しながら、リセットボタンを押すか電池投入をしてください。

●受光アダプタ基板



SW1-4 (室内機停電補償) SW1-1 (混信防止) SW1-2 (親/子切換)

SW1-1	混信による誤動作防止	※ ON: 通常 OFF: 切換
SW1-2	受信部の親子切換	※ ON: 親 OFF: 子
SW1-4	室内機停電補償	ON: 有効 ※ OFF: 無効

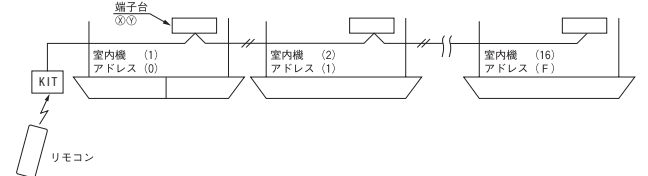
※出荷時設定

C 1リモコンによる複数台室内ユニット制御方法

室内ユニット最大16台まで接続可能です。

- ①各室内ユニット間を2心の渡り線にて配線してください。渡り線については下記を参照願います。
- ②店舗シリーズの場合: 室内基板上のロータリースイッチ SW2 により、リモコン通信アドレスを重複しないように「0」~「F」に設定してください。

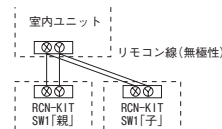
渡り線の太さと、長さの制限(最大総長600m)	
標準	0.3mm ² ×100m以内 0.5mm ² ×200m以内 0.75mm ² ×300m以内 1.25mm ² ×400m以内 2mm ² ×600m以内



- ③ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合: 室内基板上のロータリースイッチ SW1、SW2、ディップスイッチ SW5-2 により、リモコン通信アドレスを重複しないように「000」~「127」設定してください。

D 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(又は1グループ)に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

2. コンパクトリモコン (RCH-D3)

PJZ012D068

室内機の据付説明書と共にお読みください。

△警告

- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

△注意

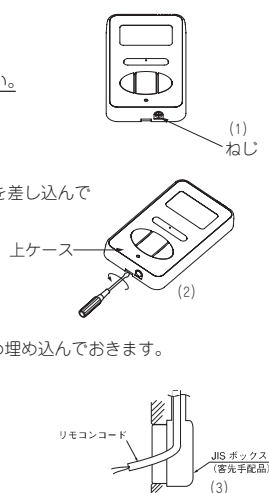
- 下記の様な所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
(1) 直射日光の当たる場所 (4) 取付面が発熱・結露する場所
(2) 発熱器具の近く (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(3) 湿気の多い所・水の掛る所 (6) 取付面に凹凸がある所
- リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱または梱包袋に入れて保護してください。

付属品	リモコン本体、木ねじ (φ3.5 × 16) 2本
客先手配品	リモコンコード (2心) (※2. リモコンコードを延長する場合の注意)を参照ください。 [埋込取付の場合] JISボックス、M4ねじ (2本) [露出取付の場合] コードクランプ (適時)

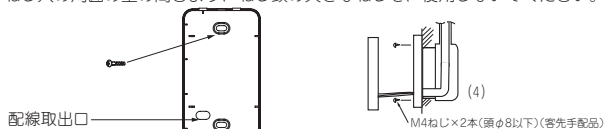
1. 取付要領

埋込取付の場合

- リモコンの下面のねじを必ず外してください。
- リモコンの上ケースを外してください。
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。
- JISボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。
[使用可能 JIS ボックス]
JIS C 8336 1 個用スイッチボックス



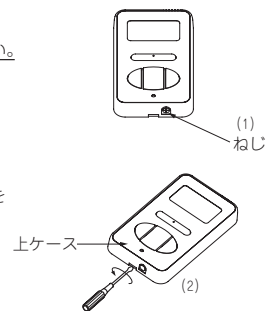
- M4ねじ2本 (推奨長さ 12~16mm) を用意して、下ケースを JIS ボックスに取り付けてください。
ねじ穴の周囲の壁の高さより、ねじ頭の大きなねじを、使用しないでください。



- リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子 (X, Y) と室内機の端子 (X, Y) とを接続してください。(X, Yの極性はありません。)
- リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取り付け、外したねじで固定してください。

露出取付の場合

- リモコンの下面のねじを必ず外してください。

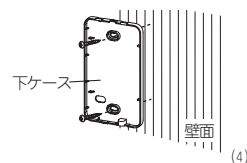


- リモコンの上ケースを外してください。
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。

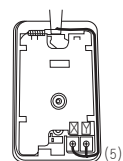
- リモコンコードの取り出し方向は、上部中央から可能です。
リモコン上ケースの上方の薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。



- リモコンの下ケースを付属の木ねじ2本で平らな壁に取り付けます。



- リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子 (X, Y) と室内機の端子 (X, Y) とを接続してください。(X, Yの極性はありません。)
配線経路は右図の通りとなります。



リモコンケース内を通る配線は、0.3mm² (推奨) ~最大 0.5mm² 以下としてください。
また、シース部を皮むきしてください。
各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

X 配線 : 160mm
Y 配線 : 150mm



- リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取り付け、外したねじで固定してください。
- 露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないように、コードクランプ等で壁面に固定します。

2. リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長 600m

- リモコンコードは 0.3mm² × 2 心です。
延長距離が 100m を超える場合は、下記サイズに変更してください。
但し、リモコンケース内を通る配線は 0.3mm² (推奨) ~最大 0.5mm² 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しない様な処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のない様確実に行ってください。
100~200m 以内 0.5mm² × 2 心
300m 以内 0.75mm² × 2 心
400m 以内 1.25mm² × 2 心
600m 以内 2.0mm² × 2 心

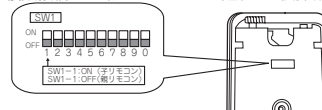
3. 複数リモコン使用時の親子設定

- 室内機 1 台 (又は 1 グループ) に対して最大 2 個までのリモコンを接続でき



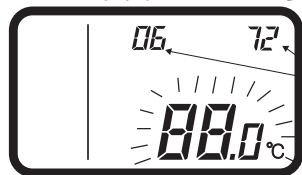
- 子リモコンの切換スイッチ SW1-1 を「子(ON)」に設定してください。工場出荷時は「親」(OFF)設定です。

(注) ・リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。
・親リモコンを室温検知させる位置に取り付けてください
・リモコンを複数接続した場合、エアコンの運転は、後操作したリモコンに従います。



4. 電源投入時の表示

- (1) 電源投入時、最初の2秒間全点灯した後、下記表示となります。
リモコンLCD上部に表示される番号は、ソフトウェアの管理番号を表示させているものであり、異常コードの表示ではありません。



ソフトウェア管理番号
(左記記号は一例です。
別の番号が出る場合もあります。)

- (2) その後、リモコンと室内機の通信が確定するまで、リモコンには、「88.0℃」が点滅します。
- (3) 室内機1台（又は1グループ）に、1個のリモコンを接続する場合は、必ず親リモコン（出荷時設定）としてください。
子リモコンにすると通信ができません。
- (4) リモコンと室内機の通信ができない状態が30分程度続くと、「E」表示がでます。
室内機及び室外機の配線、及びリモコンの親子設定等をご確認願います。



5. 吸込温度の確認方法

リモコン操作により、吸込温度の確認ができます。

- (1) **エアコンNoボタンを5秒以上押す。**
温度設定表示部に、「88」が点滅します。
(データを読み込む間約2秒間点滅)



↓
その後、吸込温度を表示します。

(例) 吸込温度：「27℃」(点灯)

(注) 吸込温度は、通常の場合室内機の吸込温度を表示しますが、リモコンセンサ有効の場合は、リモコンセンサ検知温度が表示されます。

- (2) **運転/停止ボタンを押す。**
終了します。

【リモコンセンサが無効で、一つのリモコンに複数台の室内機が接続されている場合】

- (1) **エアコンNoボタンを5秒間押す。**
室内機No表示部：「U 000」(点滅)
(接続されている室内機の、最も若い番号を表示。)



- (2) **TEMP△またはTEMP▽ボタンを押す。**
室内機の番号を選びます。

- (3) **MODEボタンを押す。**
室内機Noを確定します。

(例) 室内機No表示部：「U 000」

温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間約2～10秒間点滅)

その後、吸込温度を表示します。**エアコンNOボタン**を押すと、室内機選択表示(例「U 000」)に戻ります。

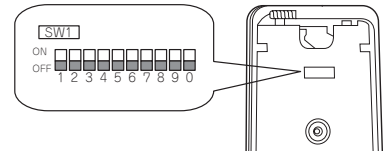
- (4) **運転/停止ボタンを押す。**
終了します。

6. 機能設定

リモコンと室内機の各機能は、リモコンと室内機を接続した際に、標準的な使い方である初期設定に自動的に設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更はいりません。但し、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。設定内容は記録して保管してください。

(1) 基板上の切換スイッチによる機能設定項目

スイッチNo	設定	設定内容	初期設定	スイッチNo	設定	設定内容	初期設定
SW1-1	ON	子リモコン		SW1-5	ON	「温度設定」ボタン禁止	
	OFF	親リモコン	○		OFF	「温度設定」ボタン有効	○
SW1-2	ON	リモコンセンサ有効		SW1-6	ON	「風量調整」ボタン禁止	※注1
	OFF	リモコンセンサ無効	○		OFF	「風量調整」ボタン有効	※注1
SW1-3	ON	「運転切換」ボタン禁止		SW1-7	ON	停電補償有効	
	OFF	「運転切換」ボタン有効	○		OFF	停電補償無効	○
SW1-4	ON	「運転／停止」ボタン禁止		SW1-8、9、0	ON	未使用	
	OFF	「運転／停止」ボタン有効	○		OFF	未使用	



- ・子リモコンはSW1-1以外は設定無効です。
- ・風量1速の室内機は「風量調整」ボタン有効にはできません。

(2) ボタン操作による機能設定項目

分類	機能番号	機能	設定番号	設定	初期設定	備考
リモコン機能	01	室内ファン速度	01	ファン速度3速	※注1	ファン風量が、急-強-弱の3速となります。
			02	ファン速度2速(Hi-Lo)	※注1	ファン風量が、急-弱の2速となります。
			03	ファン速度2速(Hi-Me)		ファン風量が、急-強の2速となります。
			04	ファン1速	※注1	ファン風量が1速のみで固定されます。
	03	冷房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ+3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+3.0℃温度補正する。
			03	リモコンセンサ+2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+2.0℃温度補正する。
			04	リモコンセンサ+1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+1.0℃温度補正する。
			05	リモコンセンサ-1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-1.0℃温度補正する。
			06	リモコンセンサ-2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-2.0℃温度補正する。
			07	リモコンセンサ-3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-3.0℃温度補正する。
	04	暖房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ+3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+3.0℃温度補正する。
			03	リモコンセンサ+2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+2.0℃温度補正する。
			04	リモコンセンサ+1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+1.0℃温度補正する。
			05	リモコンセンサ-1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-1.0℃温度補正する。
			06	リモコンセンサ-2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-2.0℃温度補正する。
			07	リモコンセンサ-3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-3.0℃温度補正する。
室内機能	05	換気設定	01	換気接続なし	○	
			02	エアコンと連動		シングル機は室内基板CNT、マルチ機は室内基板CNDに換気機器を接続すると、室内機の運転に連動し、換気機器の運転／停止を行います。
	06	「自動」運転設定	01	「自動」運転有効	※注1	
			02	「自動」運転無効	※注1	「自動」運転不可
	07	運転許可／禁止	01	無効	○	
			02	有効		運転許可／禁止制御を有効にします。
	08	外部入力切替	01	レベル入力	○	
			02	パルス入力		
	09	高天井設定	01	標準	注2	
			02	高天井1	注2	
			03	高天井2	注2	
	10	冷房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	冷房停止後、ファン残留運転なし。
			02	0.5時間		冷房停止後、0.5時間ファン残留運転する。
			03	1時間		冷房停止後、1時間ファン残留運転する。
			04	6時間		冷房停止後、6時間ファン残留運転する。
	11	暖房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	暖房停止、または暖房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
			02	0.5時間		暖房停止、または暖房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
			03	2時間		暖房停止、または暖房サーモOFF後、2時間ファン残留運転する。
			04	6時間		暖房停止、または暖房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。
	12	暖房室温補正	01	補正なし	○	
			02	室温補正+3.0℃		暖房時の設定温度を+3.0℃補正します。
			03	室温補正+2.0℃		暖房時の設定温度を+2.0℃補正します。
			04	室温補正+1.0℃		暖房時の設定温度を+1.0℃補正します。
	13	暖房ファン制御	01	弱風	○	暖房サーモOFF時、弱風で運転します。
			02	設定風量		暖房サーモOFF時、設定風量で運転します。電気集塵機を取り付けた場合は「設定風量」に設定してください。
			03	間欠運転		暖房サーモOFF時、間欠運転します。
			04	停止		暖房サーモOFF時、ファンは停止します。リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は、設定しないでください。
	14	吸込温度補正	01	補正なし	○	
			02	吸込温度補正+2.0℃		室内機の吸込温度を+2.0℃補正します。
			03	吸込温度補正+1.5℃		室内機の吸込温度を+1.5℃補正します。
			04	吸込温度補正+1.0℃		室内機の吸込温度を+1.0℃補正します。
			05	吸込温度補正-1.0℃		室内機の吸込温度を-1.0℃補正します。
			06	吸込温度補正-1.5℃		室内機の吸込温度を-1.5℃補正します。
			07	吸込温度補正-2.0℃		室内機の吸込温度を-2.0℃補正します。

注1：「※」印の初期設定は、接続される室内機及び室外機により異なり、下記の通り自動判別されます。

スイッチNo 機能番号	機能	設定	機種
SW1-6	風量調整	「風量調整」ボタン禁止	室内ファン風量切換えが1速のみの機種
		「風量調整」ボタン有効	室内ファン風量切換えが2速又は3速の機種
		ファン速度3速	室内機ファン風量3速の機種
リモコン機能 01	室内ファン速度	ファン速度2速(Hi-Lo)	室内機ファン風量2速の機種
		ファン速度2速(Hi-Me)	
		ファン1速	室内ファン風量切換えが1速のみの機種
リモコン機能 06	「自動」運転設定	「自動」運転有効	「自動」モード選択可能な機種
		「自動」運転無効	「自動」モードの無い機種

注2：高天井設定時のファンタップ

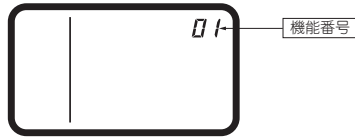
ファンタップ	室内風量設定		
	急-強-弱	急-弱	急-強
標準	Hi-Me-Lo	Hi-Lo	Hi-Me
高天井1・2	UHi-Hi-Me	UHi-Me	UHi-Hi

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。

注3：ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、室内機能設定は親室内ユニット・子室内ユニット
各々設定してください。但し、「07 運転許可／禁止」「08 外部入力切替」は親室内ユニットのみ
で設定可能です。

7. ボタン操作による機能設定の仕方

- (1) エアコンを停止させて、**[エアコンNo]**と**[MODE]**ボタンを同時に長押しする。
右上に、機能番号「01」が点滅します



- (2) **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。
機能番号を選択します。

- (3) **[MODE]**ボタンを押す。
機能番号を確定する。

- (4) **【リモコン機能（01～06）を選んだ場合】**

- ① 選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。

(例)

機能番号：「01」（点灯）

設定番号：「01」（点滅）



- ② **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。
設定番号を選択します。

- ③ **[MODE]**ボタンを押す。

設定が完了します。

確定した機能番号と、設定番号をデータを送信する間約
3～20秒間点灯します。

(例)

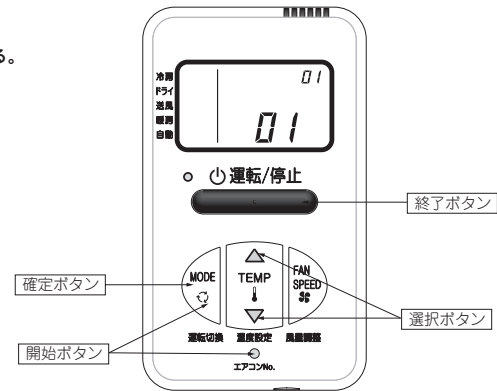
機能番号：「01」（3～20秒間点灯）

設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、
続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。
終了する場合は、(5)へお進みください。

- (5) **運転/停止**ボタンを押す
設定を終了します。



【室内機能（07～14）を選んだ場合】

- ① 温度設定表示部に、「88」が点滅します。

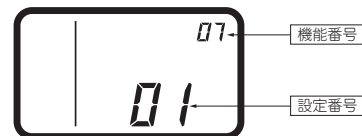
(データを読み込む間約2～10秒点滅)

その後、選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。

(例)

機能番号：「07」（点灯）

設定番号：「01」（点滅）



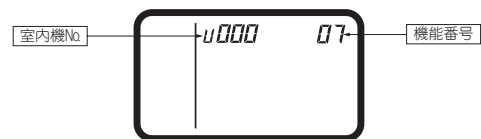
- ② へお進みください。

【注意】

- a. 一つのリモコンに、室内機を複数台接続している場合は、下記表示となります。

室内機No表示部：「U 000」（点滅）

(接続されている室内機の、最も若い番号を表示。)



- b. **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。

設定したい室内機の番号を選びます。

「U ALL」を選択すると、全台同一の設定ができます。

- c. **[MODE]**ボタンを押す。

室内機Noを確定します。

温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間約2～10秒点滅)

[エアコンNo]ボタンを押すと室内機選択表示(例「U 000」点滅)に戻ります。

- ② **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。
設定番号を選択します。

- ③ **[MODE]**ボタンを押す。

設定が完了します。

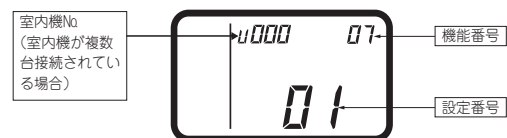
確定した室内機No、機能番号、設定番号をデータを送信する間約3～20秒間点灯します。

(例)

室内機No：「U 000」（3～20秒間点灯）

機能番号：「07」（3～20秒間点灯）

設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、続けて設定する場合は、
同じ要領で設定してください。終了する場合は、(5)へお進みください。

- ・設定の途中で、**運転/停止**ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- ・設定内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されております。

【現在設定の確認方法】

上記操作により、「機能番号」を選び、**[MODE]**ボタンを押した時に、最初に表示される「設定番号」が、現在設定されている内容です。
(但し、「U ALL」(全台)を選んだ場合は、室内機Noの最も若い機種の設定番号が表示されます。)

三菱重工業株式会社 冷熱事業部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地
三菱重工冷熱株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。